データ管理設備

EzLogger3000C

ユーザーマニュアル

著作権表示：

Copyright © GoodWe Technologies Co., Ltd. 2025. All rights reserved.

文書による GOODWE の事前承諾なしに、本書のいかなる部分も、いかなる形式またはいかなる手段によっても公共ネットワークなどの第三者プラットフォームへの複製または転載は許可されません。

商標および許諾

GOODWEおよびその他の GOODWE の商標は GoodWe Technologies Co., Ltd.の商標です。本書に記載されているその他の商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。

注記

製品バージョンのアップグレードなどの原因により、文書の内容は不定期的に更新されます。特別な約束がない限り、文書の内容が、製品ラベルの安全上の注意事項を置き換えることはありません。文書内のすべての説明は、使用説明のみを目的としてます。

1. はじめに

1.1. 概要

本書は、該当のデータ収集設備（以下は「EzLogger」）の製品情報、電気接続、配置調整、故障排除及びメンテナンスについて説明しています。EzLogger を設置、使用する前に、まず本書を通読して、安全に関する情報を理解し、EzLogger の機能と特徴を熟知してください。本書は不定期に更新されますので、GOODWE 公式サイトで最新バージョンのドキュメント及び製品情報を取得ください。

1.2. 適用製品

本書は、型番 EzLogger3000C のスマートデータロガーに適用されます。EzLogger3000C は以下、EzLogger と略称します。

1.3. 符号定義

危険
生命にかかわる重大な危険が存在し、回避しない場合は死亡または重傷を負う可能性があることを示します。
警告
中程度の潜在的な危険が存在し、回避しない場合は死亡または重傷を負う可能性があることを示します。
注意
低程度の潜在的な危険が存在し、回避しない場合は中程度または軽度の傷害を引き起こす可能性があることを示します。
注記
内容の強調や補足が記載されており、製品の最適な使用方法やコツ、問題解決のためのヒントが提供されています。これにより、時間を節約したり、問題を迅速に解決したりすることができます。

2. 安全注意事項

本書に含まれる安全注意事項は、機器を操作する際に必ず遵守してください。

警告
設備は安全規格に従って厳格に設計され、テストに合格していますが、電気機器であるため、操作を行う前に関連する安全説明を必ず遵守してください。不適切な操作を行うと、重大な傷害や財産損失を引き起こす可能性があります。

2.1. 通用安全

注記
● 製品のバージョンアップやその他の理由により、文書の内容は不定期に更新されることがあります。特別な定めがない限り、文書の内容は製品ラベルに記載された安全注意事項に取って代わるものではありません。文書内のすべての記述は、使用ガイドとしてのみ提供されています。 ● 設備を設置する前に、製品および注意事項について本書をよくお読みください。 ● 設備のすべての操作は、専門的で資格のある電気技術者によって行われる必要があります。技術者は、プロジェクトの所在地に関する関連規格および安全基準を熟知している必要があります。 ● 許可なく分解や改造を行うと設備が損傷する可能性があり、その場合は保証の対象外となります。 ● 本書または対応するユーザーマニュアルの要求に従って設備を正しく設置・使用・設定しなかったことによって生じた設備の損傷や人身事故については、機器メーカーの責任範囲外となります。製品の保証に関する詳細情報は、公式ウェブサイトをご確認ください。https://jp.goodwe.com/warranty。

2.2. 人員要件

注記
● 設備の設置および保守を担当する担当者は、まず必要な講習を受け、さまざまな安全上の注意事項を理解し、正しい操作方法を習得する必要があります。 ● 設備または部品の設置、操作、保守、交換は、資格のある専門者または講習を受けた担当者のみが行うこと。

2.3. 接地の安全

警告

- 設備を設置する前に、設置場所が信頼性を有し、かつ堅固であることを必ず確認してください。
- 設備を操作する前に、設備が確実に接地されていることを必ず確認してください。

2.4. 人身の安全

危険

- 機器を操作する際は、絶縁工具を使用し、個人防護具を着用して、人身の安全を確保してください。
- 機器が短絡を起こした場合は、絶対に近づいたり触れたりせず、ただちに電源を遮断してください。
- 機器に対して電気的な接続を行う前に、すべての上位側スイッチを遮断し、機器が無電圧状態であることを確認してください。

2.5. 設備の安全

危険

設備を設置する前に、設置場所が信頼性を有し、かつ堅固であることを必ず確認してください。

警告

- 設備の設置や保守などの操作を行う際は、適切な工具を使用し、正しい操作方法で作業してください。
- 機器を操作する際は、現地の関連規格および安全基準に従って行動してください。
- 許可なく機器を分解や改造することは、機器の損傷を引き起こす可能性があり、その損傷は保証の対象外となります。

2.6. 安全符号および認証マークの説明

危険

- 設備を設置した後、箱体に貼付されたラベルや警告マークは、必ず明確に見える状態で維持してください。これらを隠したり、改ざんしたり、破損させたりすることは禁止されています。
- 以下の箱体警告ラベルの説明はあくまで参考用です。実際の機器に貼付された使用ラベルを基準としてください。

番号	符号	説明
1		機器の運転中には潜在的な危険が存在します。機器を操作する際は、防護措置を講じてください。
2		高電圧の危険があります。機器の運転中には高電圧が存在するため、機器を操作する際は、必ず電源が切れていることを確認してください。
3		機器を操作する前に、製品の取扱説明書をよくお読みください。
4		機器は家庭ゴミとして処理しないでください。現地の法律および規制に従って機器を処理するか、メーカーに返送してください。
5		CE 認証マーク。
6		RCM マーク。
7	R XXX-XXXXXX	TELEC マーク。
8	ANATEL	ANATEL マーク。

3. 製品紹介

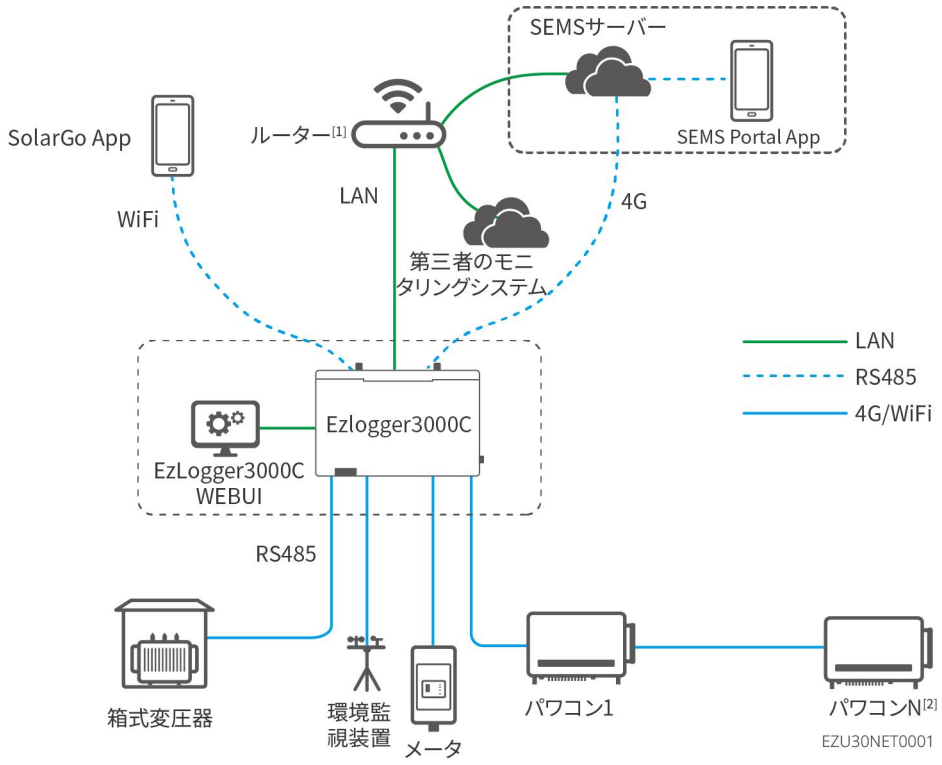
3.1. 機能説明

データロガーは、太陽光発電システム監視・管理プラットフォームの専用装置です。太陽光発電システム内のパワコンや環境監視装置、メーターなどの機器からデータやログを収集し監視・管理プラットフォームにデータを送信することで、太陽光発電システムの監視・運用・保守を実現しています。

3.2. ネットワーク化応用方式

EzLogger は PV 発電システムに適応します：

- RS485 通信を介して接続可能な機器：メーター、パワーコンディショナ、環境監視装置、変電キュービクルなど RS485 通信対応機器。
- イーサネット通信を介して接続可能な機器：ルーター、PC、発電所管理監視システムなど。
- 4G 通信を介して接続可能な機器：発電所管理監視システムなど。
- WiFi 通信を介して、SolarGo アプリと接続し、機器の調整が可能。

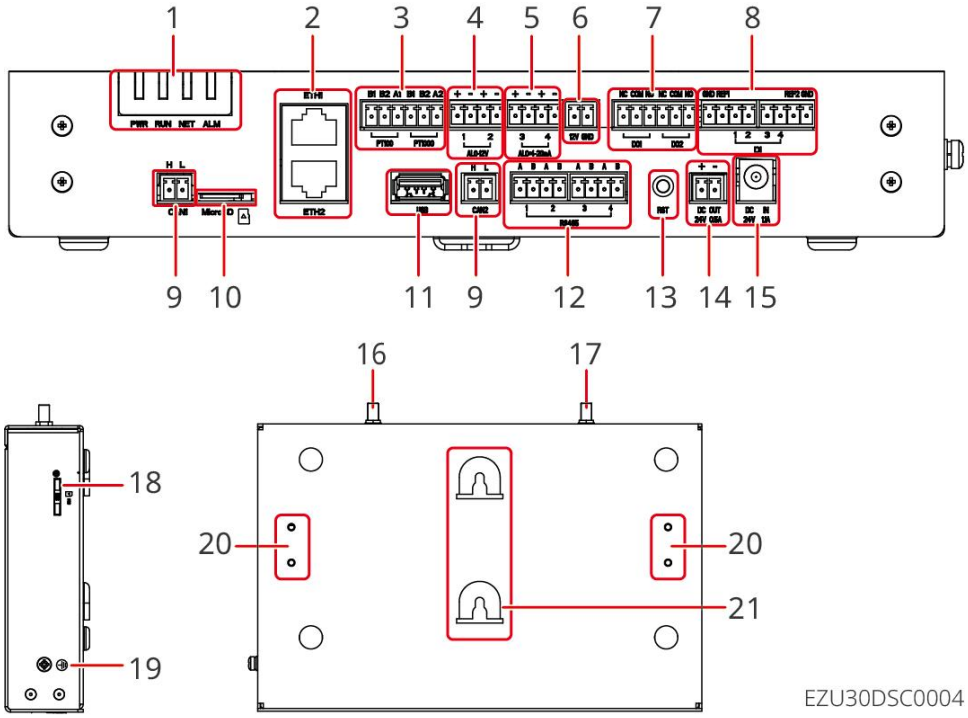


[1]ルーターにファイアウォール保護が有効な場合は、アフターサービスセンターにお問い合わせください。

[2]同一路線の RS485 には、パワーコンディショナを最大 20 台まで接続可能です。

[3]システムに接続可能な機器の最大数は 100 台であり、パワーコンディショナ、変電キュービクル、環境監視装置、温度センサー等を含みます。

3.3. 外観紹介

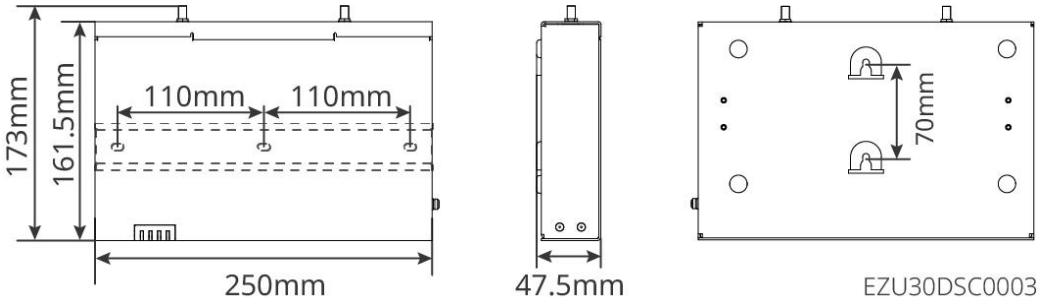


番号	名称	説明
1	表示灯	設備の運転状態を表示します
2	LAN ポート（ETH1/2）	LAN ポート ● ETH1：外部ネットワーク通信に使用可能 ● ETH2：外部ネットワーク通信、または設備の Web 接続に使用可能
3	温度センサーポート（PT100/PT1000）	温度センサー PT100/PT1000 と接続します
4	AI 通信ポート （AI_0-12V）	0-12V AI 信号入力
5	AI 通信ポート（AI_0/4-20mA）	0/4-20mA AI 信号入力
6	12V 電源出力ポート	12 V DC 出力します

	（12V GND）	
7	DO 通信ポート（DO1/2）	DO 信号出力
8	DI 通信ポート（DI）	DI 信号入力ポートは、ウェット接点またはドライ接点信号の接続に対応
9	CAN 通信ポート（CAN 1/2）	CAN 通信ポート（予備）
10	MicroSD カードスロット（MicroSD）	MicroSD カードスロット，EzLogger の稼働、操作および保守のログ情報を保存します
11	USB ポート（USB）	ソフトウェアアップデート用の USB 端子
12	RS485 通信ポート（RS485 1-4）	RS485 通信ポートを使用して、パワコン、メーター、環境監視装置などの RS485 通信機器と接続できます
13	リセットボタン（RST）	1～3 秒間短く押すと、装置を再起動 6～20 秒間長く押すと、装置を再起動し、出荷時のデフォルトネットワーク設定に復元
14	直流出力ポート（DC OUT 24V 0.5A）	24V 直流電源出力ポート
15	入力電源ポート（DC IN 24V 1.1A）	24V 直流電源入力ポート
16	4G アンテナ（4G ANT）	4G アンテナポート。一部の地域でのみ使用可能です。詳細については、現地販売代理店にご確認ください。
17	Wi-Fi アンテナ（Wi-Fi ANT）	● WiFi ホットスポット信号に使用 ● 装置が金属製ボックス内、金属屋根またはコンクリート屋根の下に設置される場合は、外付けマグネットアンテナまたは RF 延長ケーブルを使用して信号を強化することを推奨します。推奨仕様：WiFi 2.4G
18	SIM カードポート（SIM）	SIM カードスロット。一部の地域でのみ使用可能です。詳細については、現地販売代理店にご確認ください。
19	保護接地端子	筐体の接地に使用

20	レール取付穴	装置をレールに固定するために使用
21	壁掛け穴	装置を壁に掛けて設置するために使用

3.4. 寸法



3.5. 表示灯の説明

表示灯の紹介

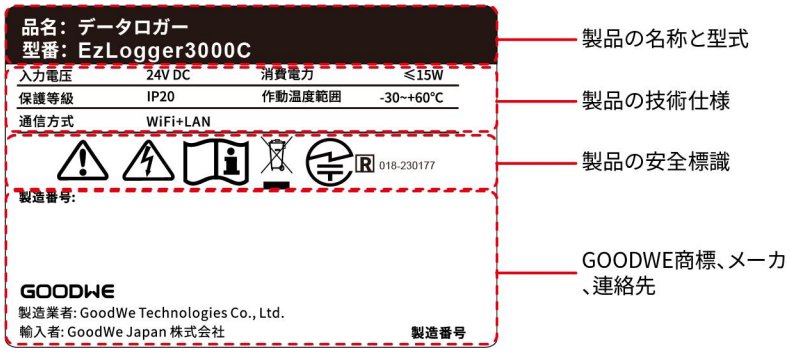
表示灯	状態	説明
PWR		緑ランプ点灯：設備電源供給が正常
		緑ランプ消灯：設備の電源切または供給異常
RUN		緑ランプが点灯/消灯：設備動作異常
		緑ランプゆっくり点滅：設備は正常に動作しています。
NET		緑ランプ点灯：設備とサーバー接続正常
		緑ランプ速く点滅：設備はルーターに接続済みだが、サーバー接続異常
		緑ランプゆっくり点滅：機器はルーター未接続
ALM		赤ランプ点灯：すべてのパワコンが動作故障状態
		赤ランプ速く点滅：データロガーがアップグレード中
		赤ランプ消灯：システム内に少なくとも 1 台のパワコンが正常動作中

ボタン機能紹介

RST ボタン	機能説明
短押し 1～3 秒	設備を再起動
長押し 6～20 秒	設備を再起動し、出荷時ネットワーク設定を復元（Web ログインパスワードなども復元）

3.6. 銘板説明

下図の銘板は参考のみ、実物に準じてください。



4. 設備の検査と保管

4.1. 設備検査

受け取り前に、まず以下の内容を確認してください：

1. 箱の外装を確認し、もし変形、破損、割れ目及び他の内容物に損害を与える可能性がある不具合があれば、外装を開けずに販売店とご連絡ください。
2. パワコンの型式が正しいかを確認し、もし不一致の場合、外装を開けずに販売店にご連絡ください。
3. 内容物の仕様、数量が正しいかを確認し、もし外観に傷がある場合、販売店にご連絡ください。

4.2. 設備保管

設備をすぐに使用しない場合は、以下の要件に従って保管してください。長期保管後に使用する場合は、必ず専門技術者による点検・確認を経てから使用してください。

時間に関する要件：

- 設備の保管期間が 2 年を超える場合、または設置後 6 か月以上運転していない場合は、専門技術者による点検・試験を経てから使用することを推奨します。
- 設備内部の電子部品の電気特性を良好に保つため、保管期間中は 6 か月ごとに通電することを推奨します。6 か月以上通電していない場合は、使用前に専門技術者による点検・試験を受けることを推奨します。

梱包に関する要件：

外箱が未開封であることを確認してください。

環境に関する要件：

- 設備を直射日光の当たらない涼しい場所に保管してください。
- 保管環境は清潔で、温湿度が適正範囲内であり、結露が発生しないことを確認してください。設備端子に露が発生している場合は、設置できません。
- 設備を可燃物、爆発性物質、腐食性物質などから十分に離して保管してください。

4.3. 同梱物

警告
● 同梱品の種類、数量が正しいか、外観に破損がないかを確認してください。もし破損があった場合は、販売店にご連絡ください。 ● 交付物を包装から取り出した後、粗い、平らでない場所や鋭利な場所に置かないでください。塗装が剥がれる恐れがあります。
注記
● 同梱された端子を使用してください。他型式の端子を使用すると、重大な傷害が発生しかねないので、それによる損傷は、設備メーカの責任範囲外です。 ● 電源アダプターは実際の外観に準じてください。 ● Wi-Fi アンテナの本数：1 本；4G アンテナの本数（オプション）：1 本。製品構成により、実際のアンテナ本数は異なる場合があります。

部品	説明	部品	説明
	データロガー x 1		レール x 1
	拡張ネジ x 2		2PIN 通信端子 x 4
	レール固定クリップ x 2		4PIN 通信端子 x 6
	6PIN 通信端子 x 2		ボルト x 4
	アンテナ x N		電源アダプター x 1
	製品資料 x 1	-	-

5. 設置

危険

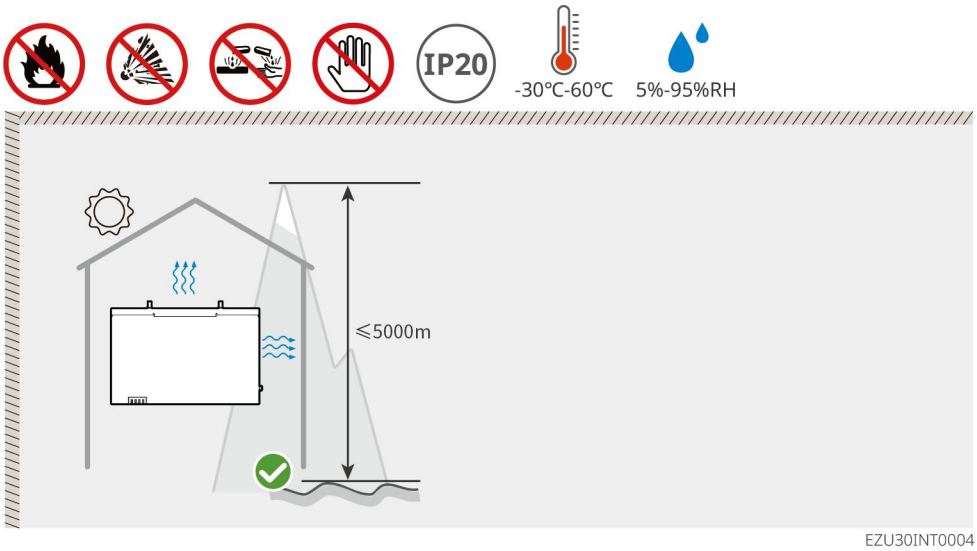
設備の設置および電気接続を行う際は、必ず同梱されている付属品を使用してください。これ以外を使用したことによって生じた設備の損傷は、保証の対象外となります。

5.1. 設置要件

5.1.1. 設置環境要件

1. 可燃性、爆発性、腐食性の環境には設置できません。
2. 設備設置環境の温度と湿度は適切な範囲内でなければなりません。
3. 設置場所は、子供が手の届く範囲を避け、かつ容易に触れられる場所への設置を避けてください。

4. 設備は日光、雨、雪などの環境から離れた場所に設置する必要があります。風雨にさらされない場所に設置することをお勧めします。必要に応じて日よけを設置することもできます。
5. 設置スペースは、機器の換気および放熱要件と動作スペース要件を満たす必要があります。
6. 設備の設置高さは操作・保守がしやすい位置にし、設備の表示灯やすべてのラベルが見やすく、端子への配線作業が容易に行えるようにしてください。
7. 機器の設置高度が最大動作高度より低い。
8. 電磁干渉を避けるため、強い磁場環境には近づかないでください。設置場所の近くに 30MHz 以下の無線局や無線通信機器がある場合は、本製品と無線電磁干渉機器との距離が 30m 以上あることを確認してください。



5.1.2. 工具要件

注記
設置の際は、以下の工具の使用をお勧めします。必要に応じて、現場で他の補助工具を使用することもできます。

設置工具

工具タイプ	説明	工具タイプ	説明

	ニッパー		ワイヤーストリッパー
	インパクトドリル（ドリルビットΦ15mm）		トルクレンチ M4、M3
	ゴムハンマー		レンチセット
	マーカーペン		熱収縮チューブ
	結束バンド		水準器

個人用保護具

工具タイプ	説明	工具タイプ	説明
	絶縁手袋、保護手袋		防塵マスク
	ゴーグル		安全靴

5.2. データロガーの設置

方式一：壁掛け設置

注記
● 穴あけの際は、危険を回避するため、壁内の水道管、配線配管などを避けて穴あけ位置を決めてください。 ● 穴あけ作業時は、粉塵が気道に吸い込まれたり、目に入ったりしないように、保護メガネや防

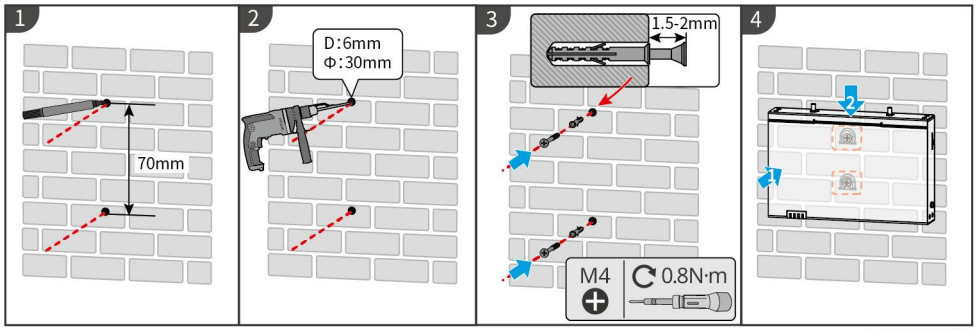
塵マスクを着用してください。 ● EzLogger を壁に掛ける時、配線メンテナンスが容易にできるよう、配線部が下向きにすること。

ステップ 1：マーカーを使用して穴の位置に印を付け、穴あけの位置がブラケットのネジ穴と一致することを確保してください。

ステップ 2：リルビット直径 6mm の電動ドリルを使用して穴を開け、穴の深さが約 30mm であることを確認します。

ステップ 3：拡張ネジを壁の穴に打ち込んで、1.5-2mm の長さを露出します。

ステップ 4： EzLogger を拡張ネジに掛けて引き下げて、安定して取り付けられていることを確認します。



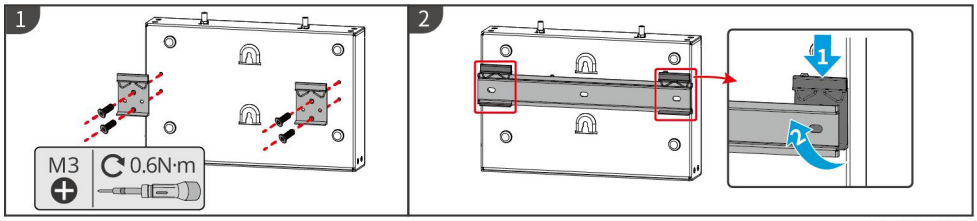
EZU30INT0002

方式二：レール設置

注記
● ガイドレールで取り付ける場合は、EzLogger にレール取付金具を付ける必要があります ● EzLogger を設置する時、M4 ボルトをお客様自分でご用意し、壁や架台など耐荷重が保証できるところに取り付けてください。

ステップ 1：レール固定金具をＭ３ネジで EzLogger に締めます。

ステップ 2：EzLogger をレールに固定します。



EZU30INT0003

方式三：机上設置

EzLogger が机上に設置することが可能です。

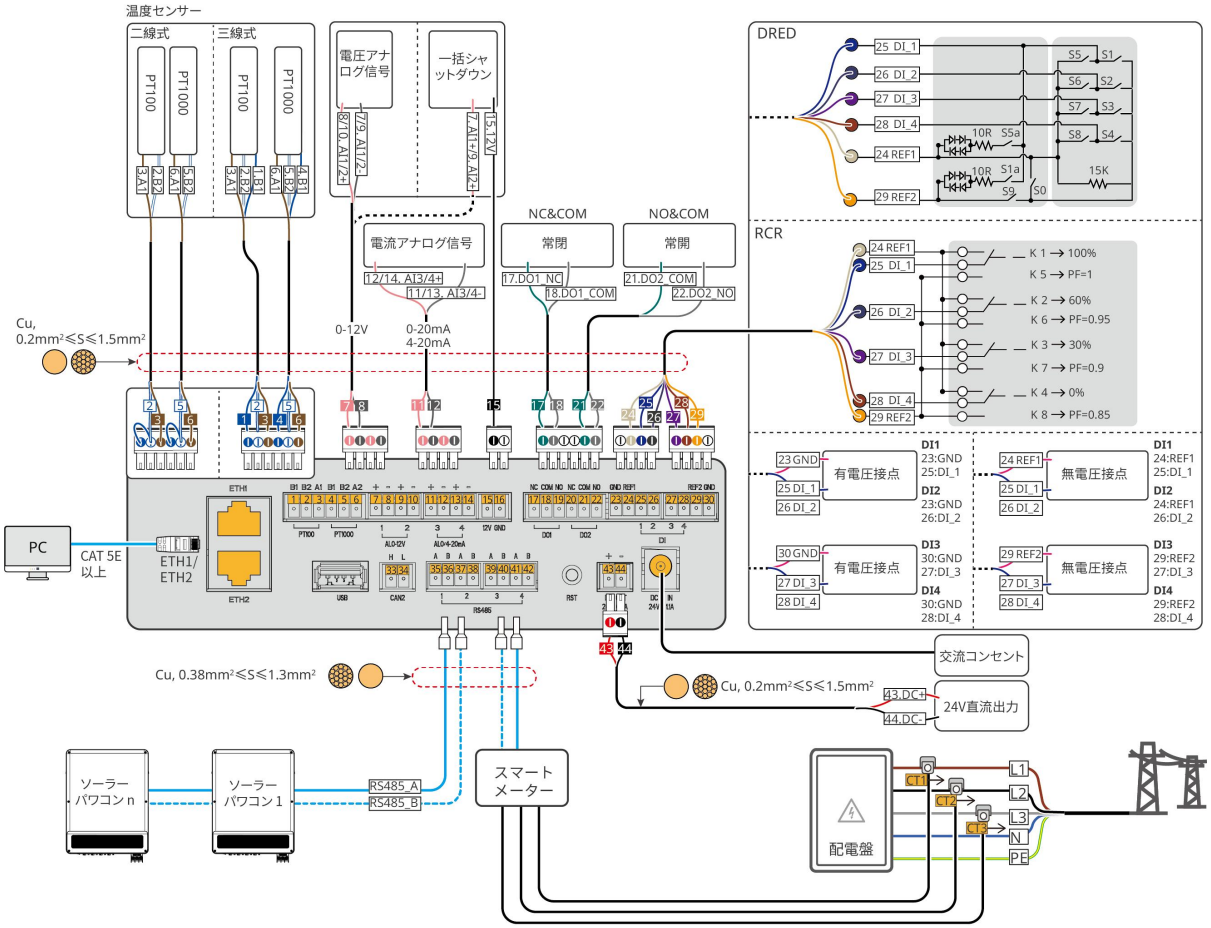
注記
● 滑りや損傷を避けるため、EzLogger は水平な机に設置してください。 ● 誤って触れて信号が中断されないよう、EzLogger は手の届きにくい場所に設置してください。

6. システム配線

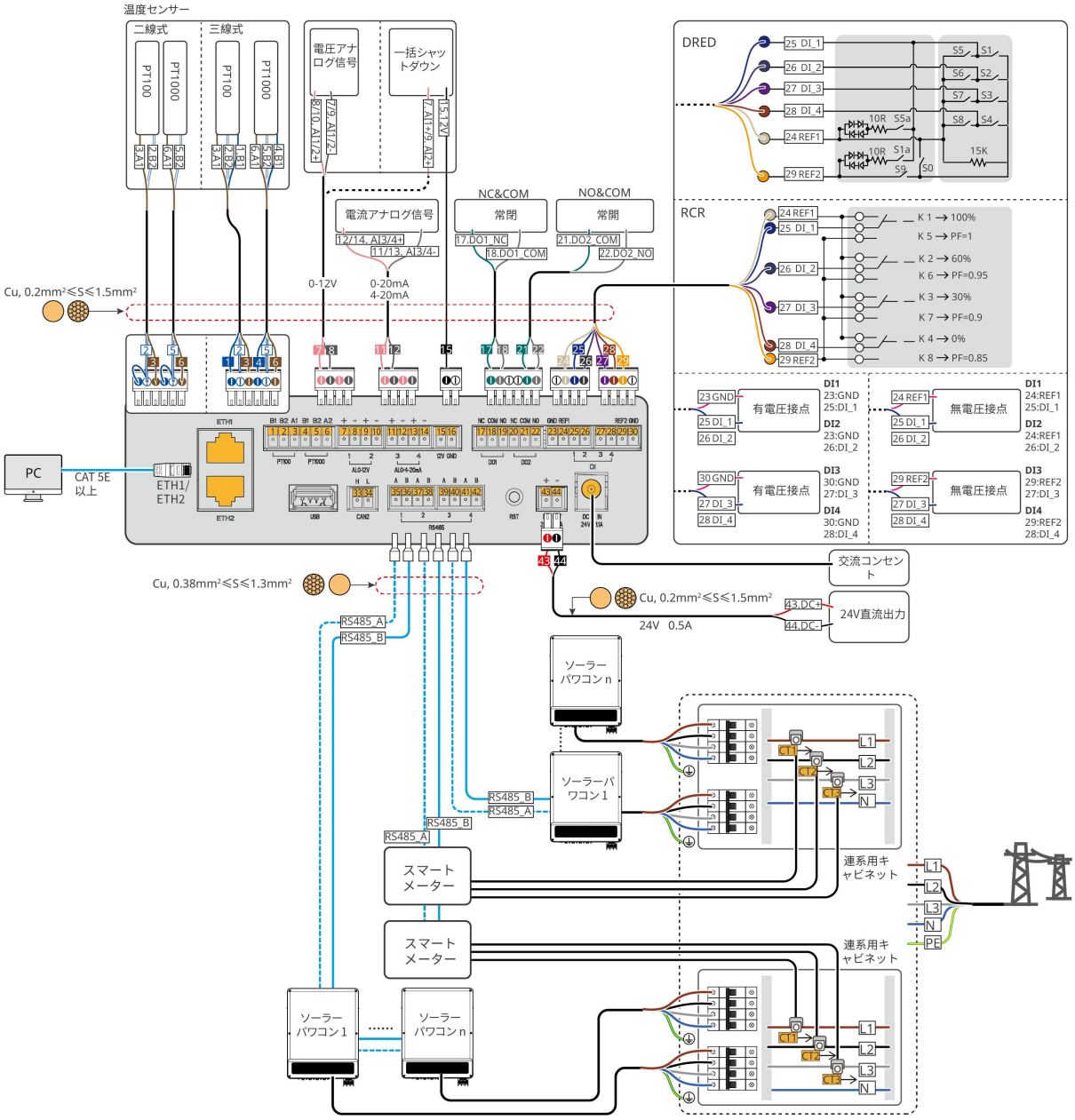
⚠危険
● 電気接続プロセス中に使用されるすべての操作、ケーブル、およびコンポーネントの仕様は、現地の法律および規制に準拠する必要があります。 ● 電気接続を行う前に、設備の電源がオフになっていることを確認してください。電源を入れたまま操作することは厳禁です。感電などの危険があります。 ● 同じ種類のケーブルは束ねて、異なる種類のケーブルとは分けて配線してください。絡み合ったり交差したりしてはいけません。 ● ケーブルに過度の張力がかかると、配線不良が発生する可能性があります。配線する際は、ケーブルを一定の長さに余裕を持ってから機器の配線ポートに接続してください。 ● 端子台を圧着する際は、ケーブルの導体が端子台に完全に接触していることを確認してください。ケーブルの絶縁体を端子台と一緒に圧着しないでください。そうしないと、設備が動作しなくなったり、動作後に接続が不安定なために設備が熱くなり、端子台が損傷する可能性があります。
注記
● 電気接続を行う際は、必要に応じて安全靴、保護手袋、絶縁手袋などの個人用保護具を着用してください。 ● 電気接続関連の作業は専門家のみが行うことができます。 ● この記事の図のケーブルの色は参考用です。具体的なケーブル仕様は現地の規制に準拠する必要があります。

6.1. システム配線詳細構成図

- **EzLogger3000C+パワコン+1 台メーター**



- **EzLogger3000C+パワコン+複数台メーター**



6.2. 配線前の準備

ケーブルの準備

番号	ケーブル	シルク	推奨仕様
1	保護接地ケーブル	⏚	• 屋外用銅ケーブル • 導体断面積：2.5mm² - 4mm²（14AWG - 12AWG）
2	直流出力ケーブル（12V/24V）	DC OUT / 12V GND	• 屋外用銅ケーブル • 導体断面積：0.2mm² - 1.5mm²（24AWG - 16AWG）

3	DO 信号ケーブル	DO 1-2	
4	RS485 通信ケーブル	RS485 1-4	• 現地の規格に準拠する屋外用シールド付きツイストペアケーブル • 導体断面積：0.2mm^2 - 1.5mm^2（24AWG - 16AWG）
5	DI 信号ケーブル	DI 1-4	• 屋外用銅ケーブル • 導体断面積：0.2mm^2 - 1.5mm^2（24AWG - 16AWG）
6	AI 信号ケーブル	AI_0-12V AI_0/4-20mA	
7	PT 信号ケーブル	• PT100/PT1000	
8	LAN ケーブル	• ETH 1-2	• CAT 5E 以上の屋外用シールド付きネットワーク ケーブル • シールド付きモジュラープラグ

6.3. 保護接地ケーブルの接続

警告

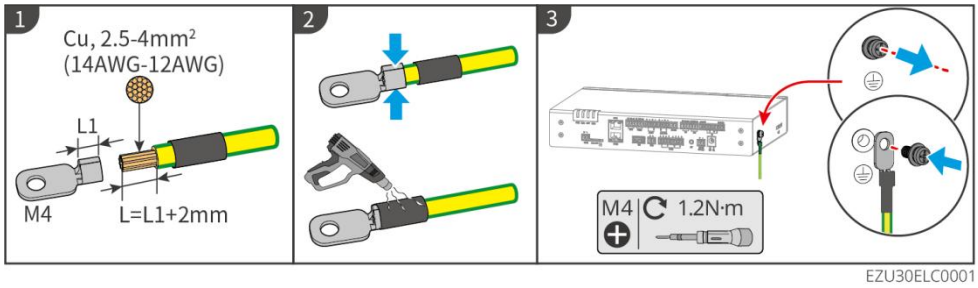
- 設備を操作する前に、すべての設備が確実に接地されることを確認してください。
- 端子の耐食性を向上させるため、保護アース線を接続・設置した後、アース端子の外側にシリコン或いは塗料を塗布して保護することを勧めます。
- 保護接地ケーブル、接地用 OT 端子、固定ネジはお客様にてご用意ください。推奨仕様：
  - 保護接地ケーブル: 導体断面積が 2.5～4mm2 または 14AWG～12AWG の屋外銅ケーブル
  - OT 端子：M4
  - 固定ネジ：M4

ステップ 1：ケーブルの被覆をむき、ケーブル芯の露出部を適切な長さにします。

ステップ 2：ケーブルに OT 端子を圧着します。

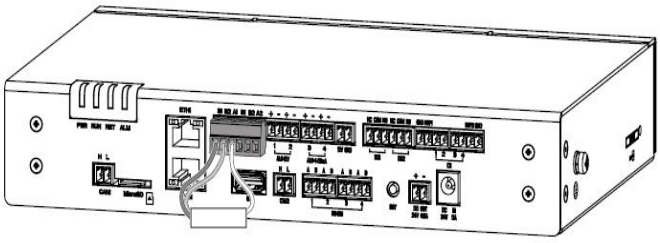
ステップ 3：絶縁熱収縮チューブを使用して、ケーブルと OT 端子の間の接続部を包みます。

ステップ 4：M4 ネジを使用して、保護接地ケーブルを EzLogger の接地端子に固定します。

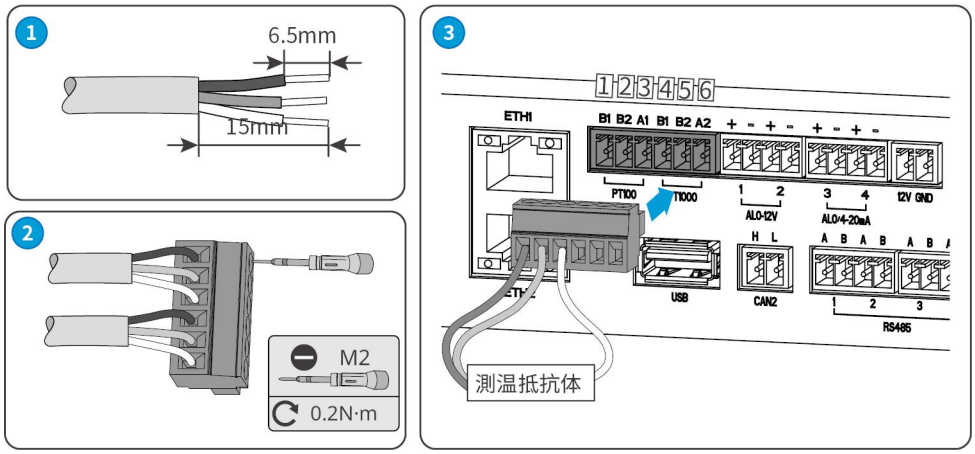


6.4. PT 信号ケーブルの接続

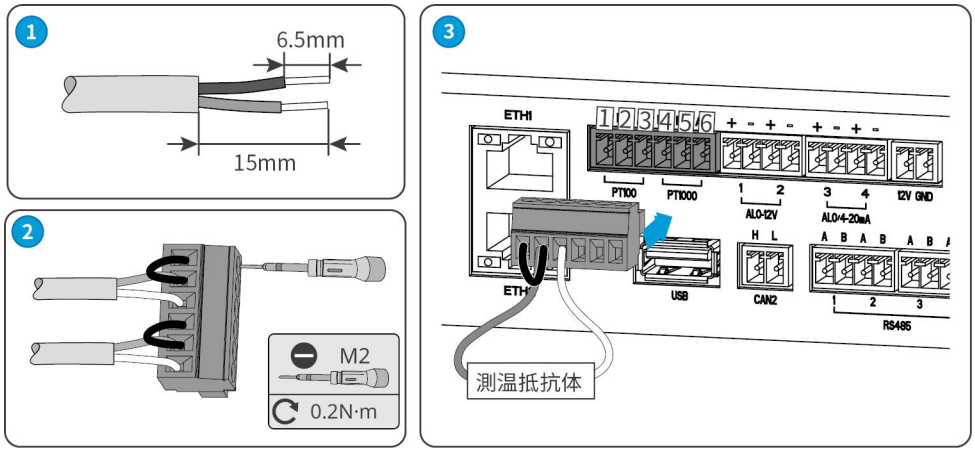
注記
● PT 通信ポートは二線式または三線式の測温抵抗体 PT100 または PT1000 と接続できます。 ● 2 線式の測温抵抗体 PT100/PT1000 を接続する場合は、B1 ポートと B2 ポートをショートしてください。



三線式 PT100/PT1000



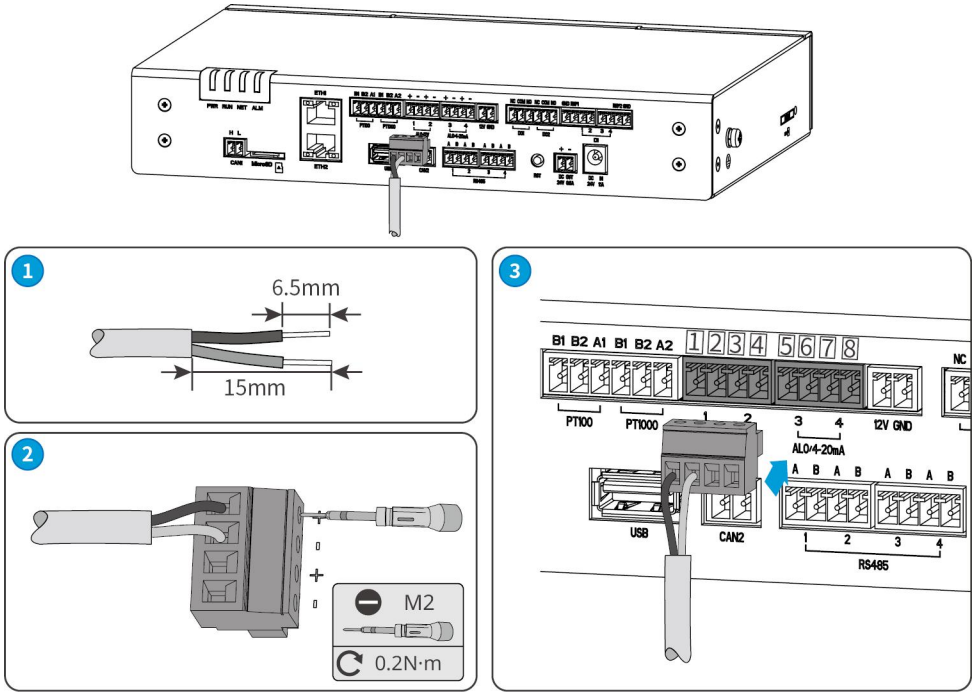
二線式 PT100/PT1000



番号	ポート定義	番号	ポート定義
1	PT100_B1	4	PT1000_B1
2	PT100_B2	5	PT1000_B2
3	PT100_A	6	PT1000_A

6.5. AI 信号ケーブルの接続

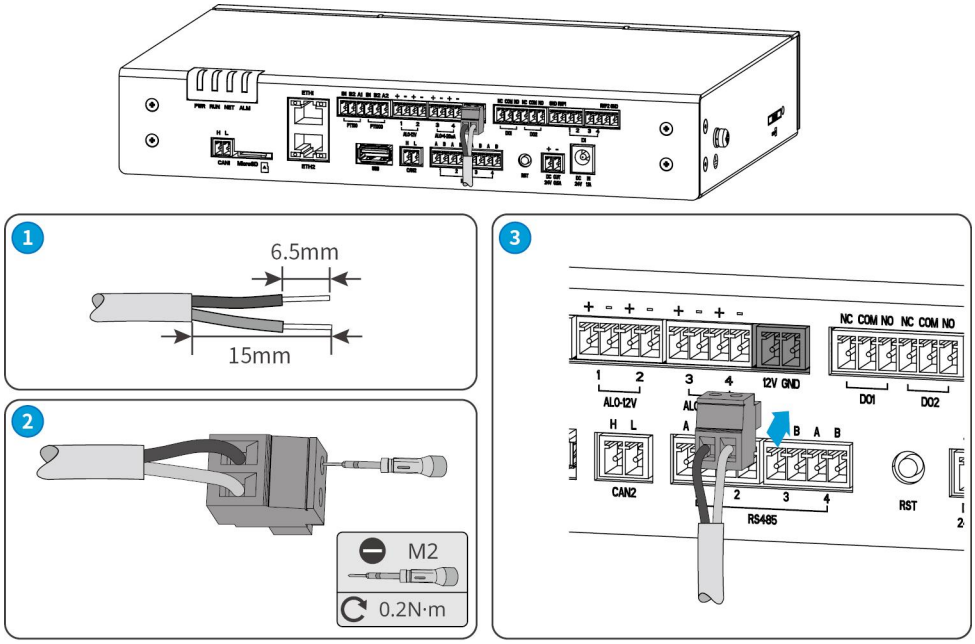
注記
● AI 通信ポートで電圧または電流アナログ信号の入力が可能です。 ● ワンボタンシャットダウン機能を実現したい場合は、保護装置を EzLogger の AI1+ または AI2+ ポートと 12V 電源出力ポートに接続してください。



序号	端口定义
1	0～12V の電圧アナログ信号の接続用。
2	
3	
4	
5	予備、0～20mA または 4～20mA の電流アナログ信号の接続用。
6	
7	
8	

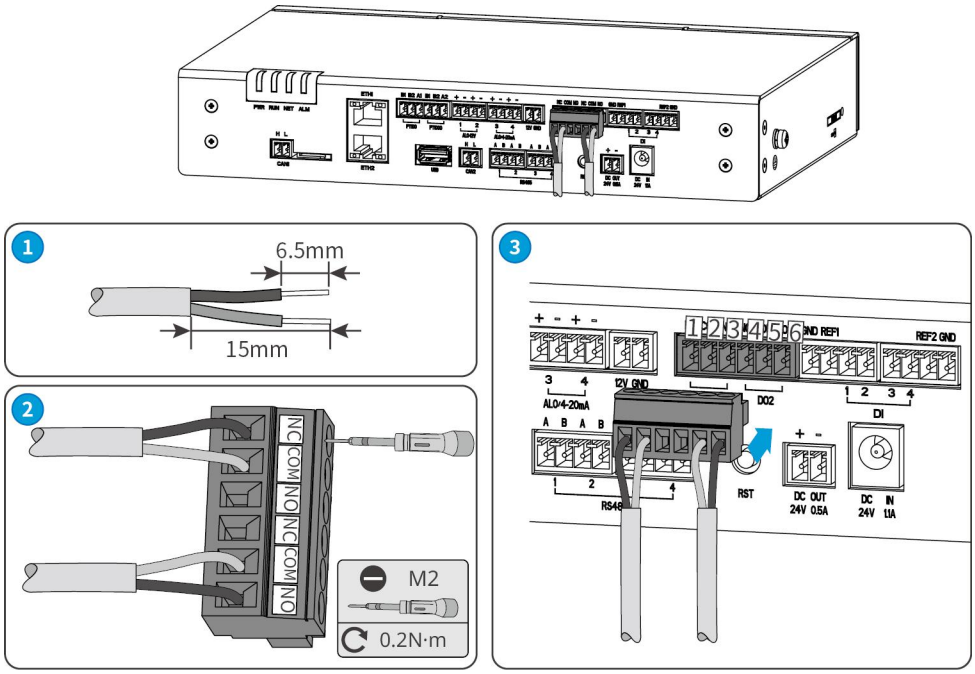
6.6. 直流 12V の出力ケーブルの接続

注記
一括シャットダウン機能の実現のみに使います。



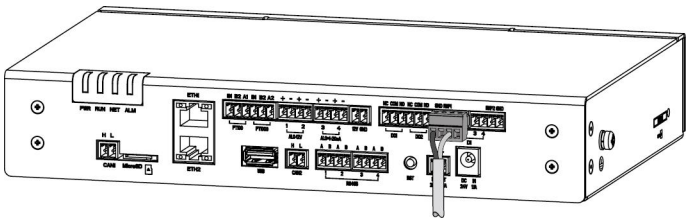
6.7. DO 信号ケーブルの接続

注記
● DO ポートはドライ接点信号出力に対応しています。 ● DO ポートは最大信号電圧 30V/1A の信号に対応し、NC/COM は常閉ポート、NO/COM は常開ポートです。 ● 伝送距離は 10m 以下にしてください。

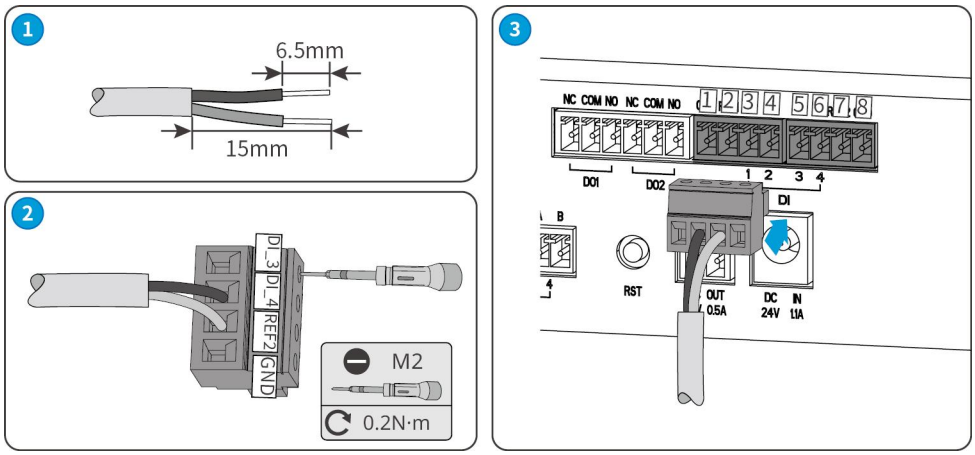


6.8. 連接 DI 通讯线 DI 信号ケーブルの接続

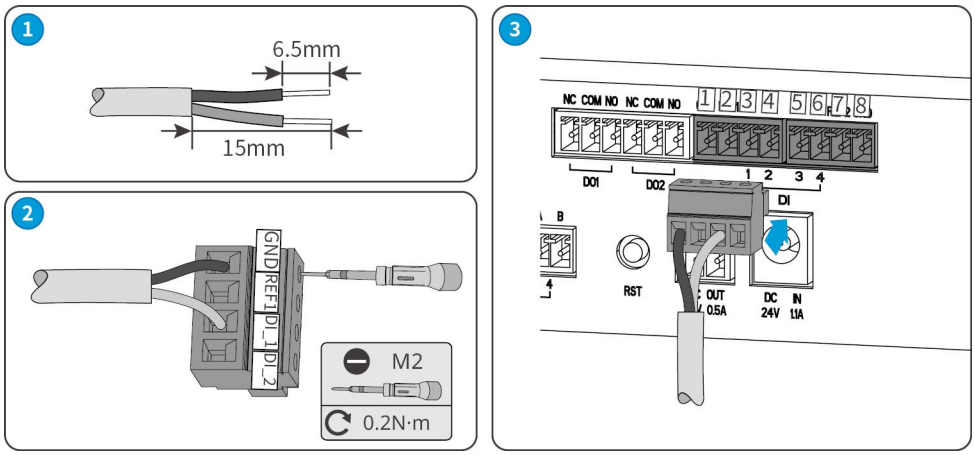
注記
● OVGR (地絡過電圧継電器)/RPR (逆電力継電器) 信号制御機能搭載し、日本地域の応用シーンに対応。 ● ウェット接点信号とドライ接点信号両方の入力に対応。ウェット接点は 0～12V 電圧での入力が可能で、その中 8～12V は高レベルです。 ● 伝送距離は 10m 以下にしてください。



ドライ接点



ウェット接点



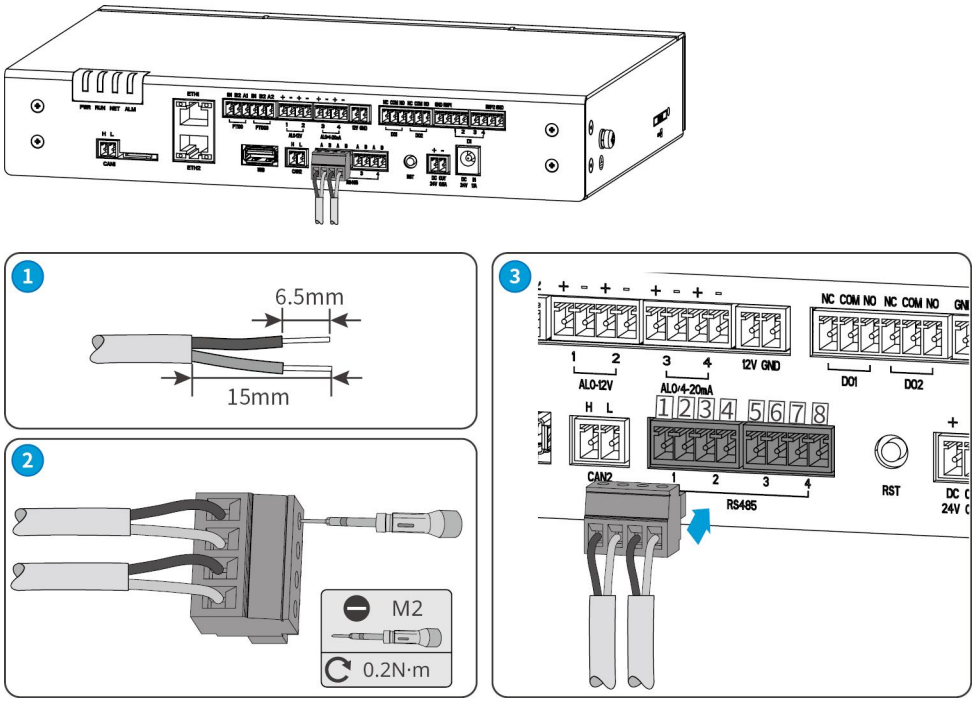
ドライ接点			ウェット接点		
機能	シルク	ポート	機能	シルク	ポート

DI1	-	REF1	REF1	DI1	-	GND	GND
	DI	1	DI1		DI	1	DI1
DI2	-	REF1	REF1	DI2	-	GND	GND
	DI	2	DI2		DI	2	DI2
DI3	-	REF2	REF1	DI3	-	GND	GND
	DI	3	DI3		DI	3	DI3
DI4	-	REF2	REF1	DI4	-	GND	GND
	DI	4	DI4		DI	4	DI4

6.9. RS485 通信ケーブルの接続

注記

- RS485 通信ポートを介してパワコン、スマートメーター、環境監視装置などの RS485 通信可能の設備と接続できます。
- 配線の際は、EzLogger の RS485A ポートが他の通信機器の RS485A 信号と接続し、RS485B ポートが他の通信機器の RS485B 信号に接続することを確認してください。
- 屋外用シールド付きツイストペアケーブルのシールドが接地されていることを確認してください。

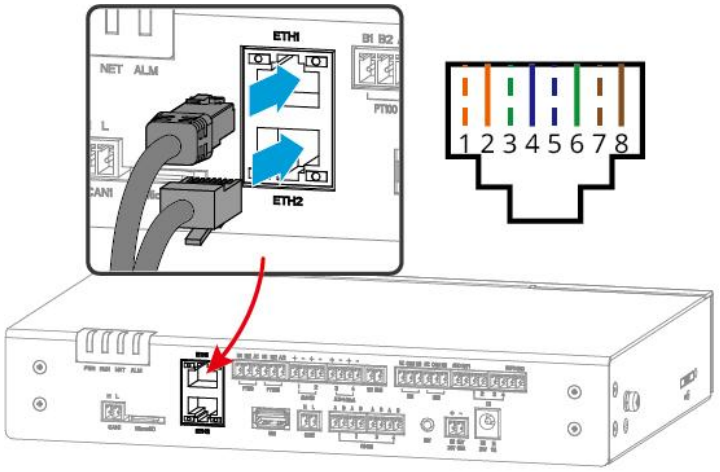


番号	機能	シルク			ポート定義
1		RS485	1	A	RS485_A1
2				B	RS485_B1

3	パワコン、スマートメーター、環境監視装置などの RS485 通信可能の設備と接続します。		2	A	RS485_A2
4				B	RS485_B2
5			3	A	RS485_A3
6				B	RS485_B3
7			4	A	RS485_A4
8				B	RS485_B4

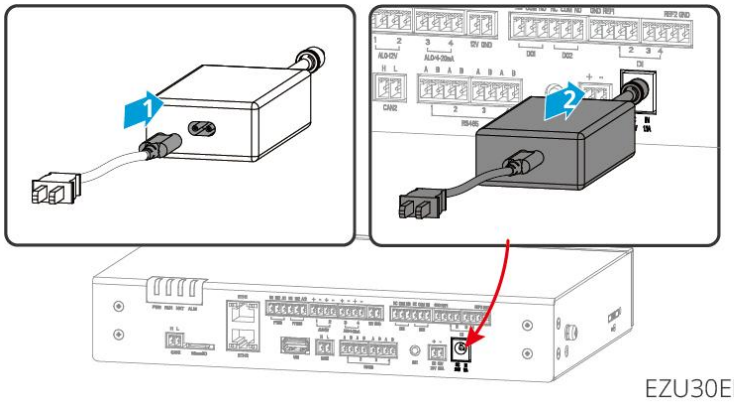
6.10. LAN 通信ケーブル接続

注記
● 推奨ケーブル仕様: CAT 5E 同等及びその上の屋外シールド付き LAN ケーブルと RJ45 シールド付きモジュラープラグ。 ● ETH1 は、外部通信するために使用されます。このポートは工場出荷時に動的 IP になっており、ルーター、スイッチングハブなどの設備と接続できます。 ● ETH2 は外部通信また EzLogger の WEBUI に接続するために使われています。出荷時、ポートが動的 IP モードであり、固定仮想 IP172.18.0.12 が用意されています。ルーター、ネットワークスイッチハブなどの設備に接続でき、PC に接続して WEBUI にログインし各種パラメータの設定もできます。 ● ETH1 ポートと ETH2 ポートには同一セグメントの IP を設定できません。また、設定する IP は仮想固定 IP と同一セグメントにしてはいけません。 ● ETH ポートの IP パラメータを変更する場合は、ポートパラメータの設定を参照して操作してください。 ● 使用网线连接数据采集器与电脑时，如果电脑仅提供 USB、Type-C 等接口，请自备网口转接头。データロガーとパソコンを LAN ケーブルで接続する際、パソコンが USB や Type-C などのポートしか備えていない場合は、別途 LAN ポート変換アダプターを用意してください。



EZU30ELC0003

6.11. 24V DC 電源出力ケーブルの接続



EZU30ELC0004

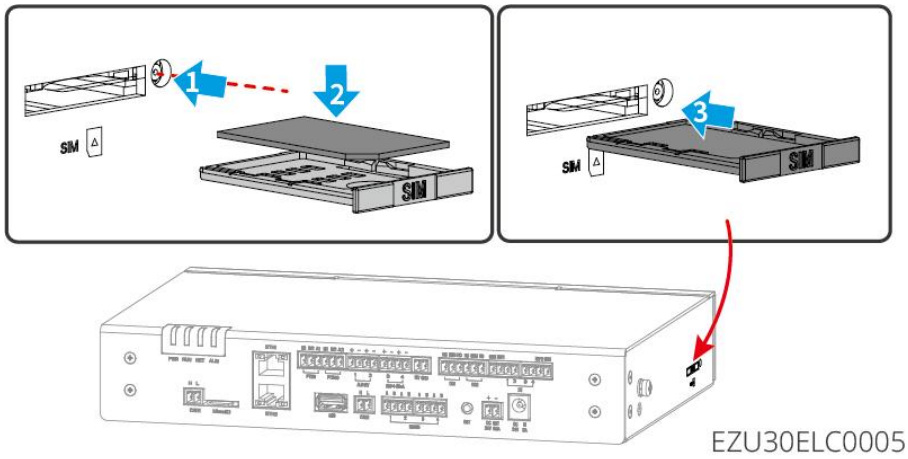
6.12. 入力電源ケーブルの接続

注記
● 同梱された電源アダプタを DC 入力ポートに接続して、EzLogger に給電してください。 ● アダプターの外観は実際の製品に準じます。 ● 電源アダプターの仕様:入力は AC100V～240V、周波数は 50Hz/60Hz、出力は DC24V、1.5A。

6.13. SIM カードの設置

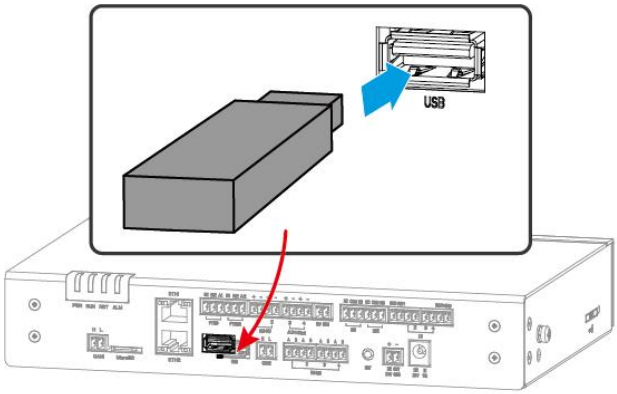
注記
● SIM カードを設置ことで 4G 機能を実現します。4G 機能は一部地域でのみ利用可能です。詳細は現地販売代理店にお問い合わせください。

- 中国地域では、China Mobile、China Unicom、China Telecom の SIM カードに対応しています。
- SIM カードはユーザーでご用意ください。標準 SIM カード（サイズ：25mm×15mm、容量 64KB 以上）の使用を推奨します。ネットワーク構成において、単台パワコンに必要なデータ通信量は月 200MB 以上、n 台のパワコンに必要なデータ通信量は月 200MB＋100MB×n 以上のプランをご用意ください。



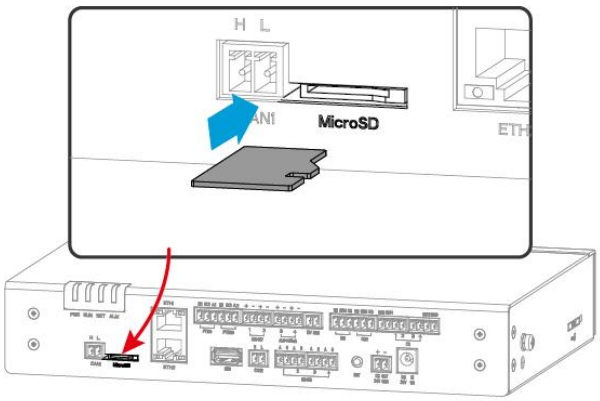
6.14. USB の接続

注記
● USB ポートを USB メモリと接続して、EzLogger ソフトウェアのアップデートができます。アップデート用パッケージの取得について、代理店また施工店にお問い合わせください。 ● FAT32 フォーマットの USB メモリをご用意ください。USB メモリの容量は 32G 以下にしてください。



6.15. MicroSD の設置

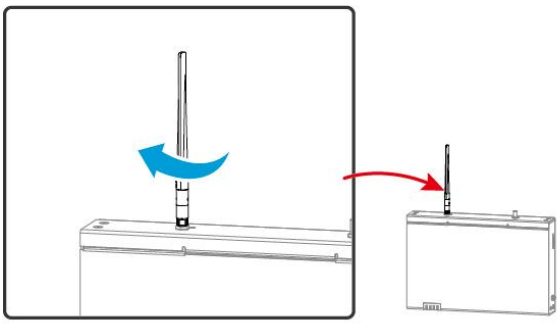
注記
通信中断時のデータを通信再開時に正常に伝送できるよう、MicroSD カードを装備し、通信中断時のデータを保存してください。



EZU30ELC0008

6.16. アンテナの取付

注記
アンテナが正しく取り付けられ、確実に固定されていることを必ず確認してください。正しく取り付けられていない場合、Ezlogger ーの Wi-Fi ホットスポットに接続できない可能性があります。



EZU30ELC0009

7. システム試運転

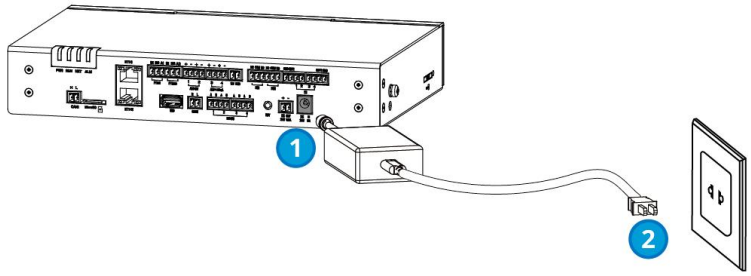
7.1. システム電源オン前の確認

番号	チェック項目
1	EzLogger がしっかりと設置されており、設置場所に操作とメンテナンス用のスペースが確保され、環境も清潔であること。
2	保護接地ケーブル、DC 入力ケーブル、通信ケーブルが正しくしっかりと接続されていること
3	ケーブル結束は配線要件に準拠しており、きれいに整理され、ケーブルに破損がないこと。
4	入力信号と投入電源の仕様は EzLogger の設置要件に準拠すること。

7.2. システム電源オン

ステップ 1：電源アダプターを設備に接続してください。

ステップ 2：電源アダプターを交流コンセントに接続し、コンセント側のスイッチをオンにしてください。



8. システムの設定と調整

8.1. 表示灯の説明

表示灯の紹介

表示灯	状態	説明
PWR		緑ランプ点灯：設備電源供給が正常
		緑ランプ消灯：設備の電源切または供給異常
RUN		緑ランプが点灯/消灯：設備動作異常
		緑ランプゆっくり点滅：設備は正常に動作しています。
NET		緑ランプ点灯：設備とサーバー接続正常
		緑ランプ速く点滅：設備はルーターに接続済みだが、サーバー接続異常
		緑ランプゆっくり点滅：機器はルーター未接続
ALM		赤ランプ点灯：すべてのパワコンが動作故障状態
		赤ランプ速く点滅：データロガーがアップグレード中
		赤ランプ消灯：システム内に少なくとも 1 台のパワコンが正常動作中

ボタン機能紹介

RST ボタン	機能説明
短押し 1～3 秒	設備を再起動
長押し 6～20 秒	設備を再起動し、出荷時ネットワーク設定を復元（Web ログインパスワードなども復元）

8.2. WEB でシステムの設定と調整

8.2.1. WEB の紹介

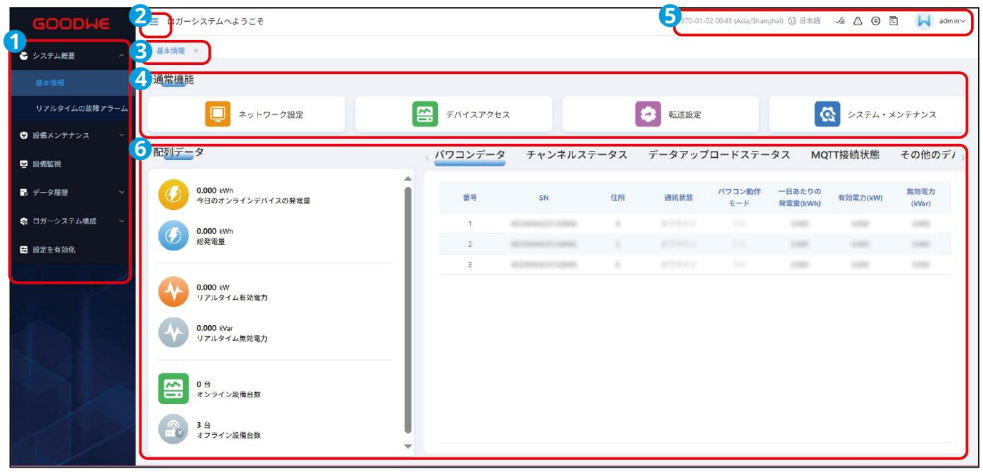
設備はローカルの WEB 画面を使って、パラメータの設定、運転、エラーなどの情報を確認が可能であり、システムの状態を即時に把握できます。

警告
● 下記に掲載した写真はバージョン V6.6.1 の WEBUI から切り取ったものです。あくまで参考

用で、使用時に実際の画面に準じてください。

- パラメータ名、範囲及びデフォルト値は後で変更または調整する可能性あります。、実際の表示値に準じてくださいすることが。
- パワコンにリセット、シャットダウン、またはアップグレードの指令を発する時、パワコンが系統連系失敗また正常に発電しないことにつながります。
- パワコンの系統整定値設定、基本設定、特性パラメータ設定、電力調整設定は有資格者が設定します。系統整定値設定が間違うと、パワコンが系統側の要件通りに系統に連系できなく、発電量まで影響を与える可能性があります。
- 電力調整設定は有資格者が設定します。電力調整設定が間違うと、パワコンが系統側の要件通りに系統に連系できなく、発電量まで影響を与える可能性があります。

8.2.2. WEB 画面紹介

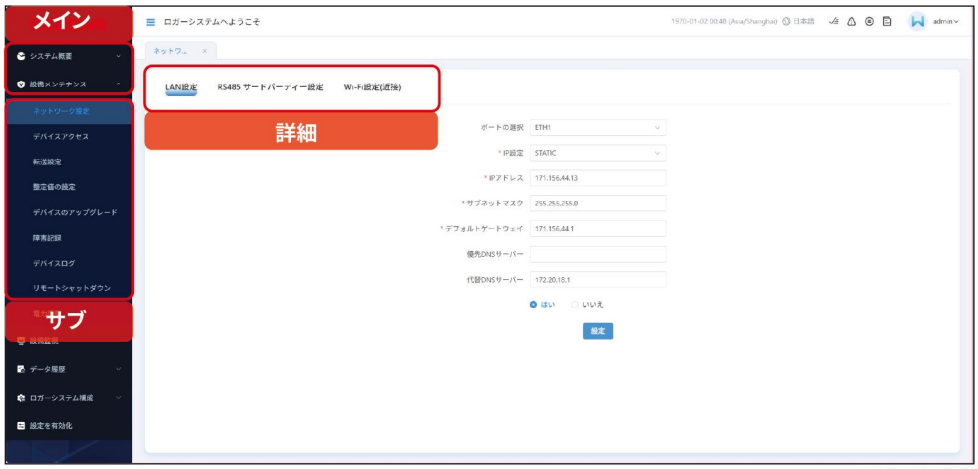


EZU30CON0011

番号	項目	説明
1	メニュー	WEBUI のメニューエリア。メインメニューを選択したら、サブメニューが表示できます。一部のメインメニューにはサブメニューがありません。
2	メニューリストボタン	メニュー リスト ボタンをクリックすると、メニュー リストを展開または折りたたむことができます。
3	ワークシート	メニューリストを選択したら、該当の項目内容が表示します。
4	一般機能	よく使う設定機能を表示し、便利に操作できます。メニューリストから設定可能。
5	システム状態	● システム時刻の表示

		● システム言語を切り替えます。 ● 設定有効化ボタン：既に設定されているが反映されていない機能がある場合、赤い点で通知されます。 ● アラーム情報を表示し、クリックすると、発生中のアラームが確認できます。 ● 製品のバージョン情報を表示します。 ● スタートガイドを確認します。 ● アカウントの情報を表示し、クリックしてアカウントからログアウトします。
6	情報データ	各メニューの下に、該当機能またはパラメータ設定、数値を表示します。

8.2.3. WEB 画面メニュー



EZU30CON0012

メイン	サブ	詳細	説明
システム概要	基本情報	-	● ポート設定、設備接続、転送サービス設定、システムメンテナンスなどの常用機能。 ● 基本情報の確認: 今日のオンライン設備の発電量、総発電量、リアルタイムの有効電力、リアルタイムの無効電力、オンライン 設備台数、オフライン設備台数など。

	リアルタイム故障警告	-	アラーム名称、設備 SN および発生時刻を表示します。手動更新ボタンをクリックすると、最新のアラーム一覧に更新できます。
設備保守	ネットワーク設定	LAN 設定	AN 通信パラメータを設定します。
		RS485 サードパーティー設定	RS485 パラメータを設定します。RS485 経由でサードパーティ設備の接続をサポートします。
		Wi-Fi 設定（近接）	EzLogger の Wi-Fi 名称とパスワードを設定します。
		4G 設定	4G 通信パスワードを設定します。。
	設備接続	-	パワコン、メーターなどの設備を自動検索または手動追加の方法で追加します。
	転送設定	IEC104	IEC パラメータを設定します。
		Modbus-TCP	Modbus-TCP 転送パラメータを設定します。
		IEEE2030.5	IEEE2030.5 転送パラメータを設定します。
		出力制御	出力制御パラメータを設定します。日本国内のみ対象となります。
	パラメーター設定	データロガー	データロガーのポートパラメータ、動作ログ、アレイ容量、リファレンス機器、北向リンク保護などのパラメータを設定します。
		パワコン	パワコンの系統整定値設、基本設定、特性パラメータ設定、電力調整設定を設定できます。
		キュービクル変電	キュービクル変電のリモート制御設定。
		メーター	CT 変比、PT 変比、結線方式などのメーターパラメータを設定します。
	設備アップグ	データロガ	データロガーをアップグレードします。

	レード	ー	
		パワコン	パワコンをアップグレードします（DSP バージョン、ARM バージョン、モジュールバージョンなどを含む）。
	故障記録	-	故障発生時に保存された録画ファイルおよびログを記録し、エクスポートします。
	設備ログ	-	設備の運転ログ、操作ログ、保守ログを確認します。ログイン／ログアウト、パスワード変更などの記録を含みます
	リモートシャットダウン	OVGR&RPR	OVGR&RPR パラメータを設定します。日本のみ対応しています。
		一括シャットダウン	一括シャットダウンパラメータを設定します。ドイツのみ対応しています。
		AC 障害検出	外部接続障害検出装置のパラメータを設定します。日本のみ対応しています。
	電力調整	出力制限	系統連系電力制限パラメータを設定します。
		无功补偿	力率目標パラメータを設定します。
		DRED	DRM パラメータを設定します（オーストラリアのみ適用）。
		RCR	RCR パラメータを設定します（ヨーロッパのみ適用）
		DER_AVM	DER_AVM パラメータを設定します（韓国のみ適用）。
		通讯异常配置	パワコン通信異常時の対処方法を設定します。
設備監視	-	パワコン	パワコンのパラメータを確認できます
		環境監視装置	環境監視装置のパラメータを確認できます。

		メーター	メーターのパラメータを確認できます。
		キュービクル変電	キュービクル変電のパラメータを確認できます。
		IEC104	查看 IEC104 参数信息。
履歴データ	履歴故障とアラーム	-	過去の障害およびアラーム情報を表示します。
ロガーシステム構成	システムメンテナンス	-	● データロガー再起動 ● 工場出荷時の設定に戻す ● 全量設定ファイルをインポートする ● 全量設定ファイルをエクスポートする ● スタートガイド
	システム時間	-	システム時間同期クロックソースを設定します。GoodWe Cloud Platform、NTP、Modbus-TCP、および管理システムの時刻同期がサポートされています。
	セキュリティ設定	-	アカウントパスワードなどのセキュリティパラメータを設定します。
	開発設定	-	メーカー内部テスト用。
	バージョン情報	-	SN、メインプログラムバージョン、ファームウェアバージョン、Web バージョンなどのデータロガーのバージョン情報を確認します。
設定有効化	-	-	設定パラメータを保存します。ネットワークまたはパラメータを変更した後は、「有効化」をクリックして設定を有効にし、確認する必要があります。設定が有効になると、データロガーが再起動します。Web 画面に再度ログインしてください。

8.2.4. 登录 WEB 界面

注記
● システム内のすべての設備が正しく設置され、電源がオンになっていることを確認してください。 ● WEB 画面にログインする前に、ログイン設備が以下の要件を満たしていることを確認してください： ○ Windows 7 以上のオペレーティングシステムをサポート。 ○ ブラウザ: Chrome52、Firefox58 以上を推奨。 ○ コンピュータのネットワークポートは、LAN ケーブルを使用して設備のスイッチングハブポートに接続されています。 ● 画面の設定が完了したら、ETH ポートの LAN ケーブルを抜いてください。 ● アカウントの安全を確保するため、同一アカウントは Web と SolarGo アプリに同時ログインして設備を調整することはできません。

方式一：デフォルトの IP を使用して WEB 画面にログイン

デフォルトの IP を使用して WEBUI にログイン

ステップ 1：ネットワーク ケーブルで、PC を EzLogger3000C の ETH2 ポートに繋ぎます。

ステップ 2：コンピュータのシステムで「ネットワークとインターネット」>「アダプターの設定を変更」を選択します。表示されるネットワーク接続のダイアログボックスで、右クリックして「プロパティ」を選択し、コンピュータとデータ収集器の IP アドレスを同じサブネットに設定します。

番号	IP パラメータ	工場出荷時のデフォルト	コンピュータ設定の例
1	IP アドレス	172.18.0.12	172.18.0.22
2	サブネットマスク	255.255.255.0	255.255.255.0
3	デフォルトゲートウェイ	172.18.0.1	172.18.0.1

ステップ 3：ブラウザのアドレスバーに http://172.18.0.12，と入力してログイン画面に入ります。

ステップ 4：実際のニーズに基づいて言語を選択してください。初期アカウント名とパスワードを使用して WEB 画面にログインします。初期アカウント名: admin;初期パスワード: 123456。

方式二：動的 IP を使用して WEB 画面にログイン

ステップ 1：データロガーとコンピューターを LAN ケーブルを介してルーターに同時に接続します。

ステップ 2：ルーターの管理ページから、ルーターによって Ezlogger に割り当てられた IP を確認します。

ステップ 3：割り当てられた IP をブラウザのアドレスバーに入力してログイン画面に入ります。

ステップ 4：実際のニーズに基づいて言語を選択してください。初期アカウント名とパスワードを使用して WEB 画面にログインします。初期アカウント名: admin;初期パスワード: 123456。

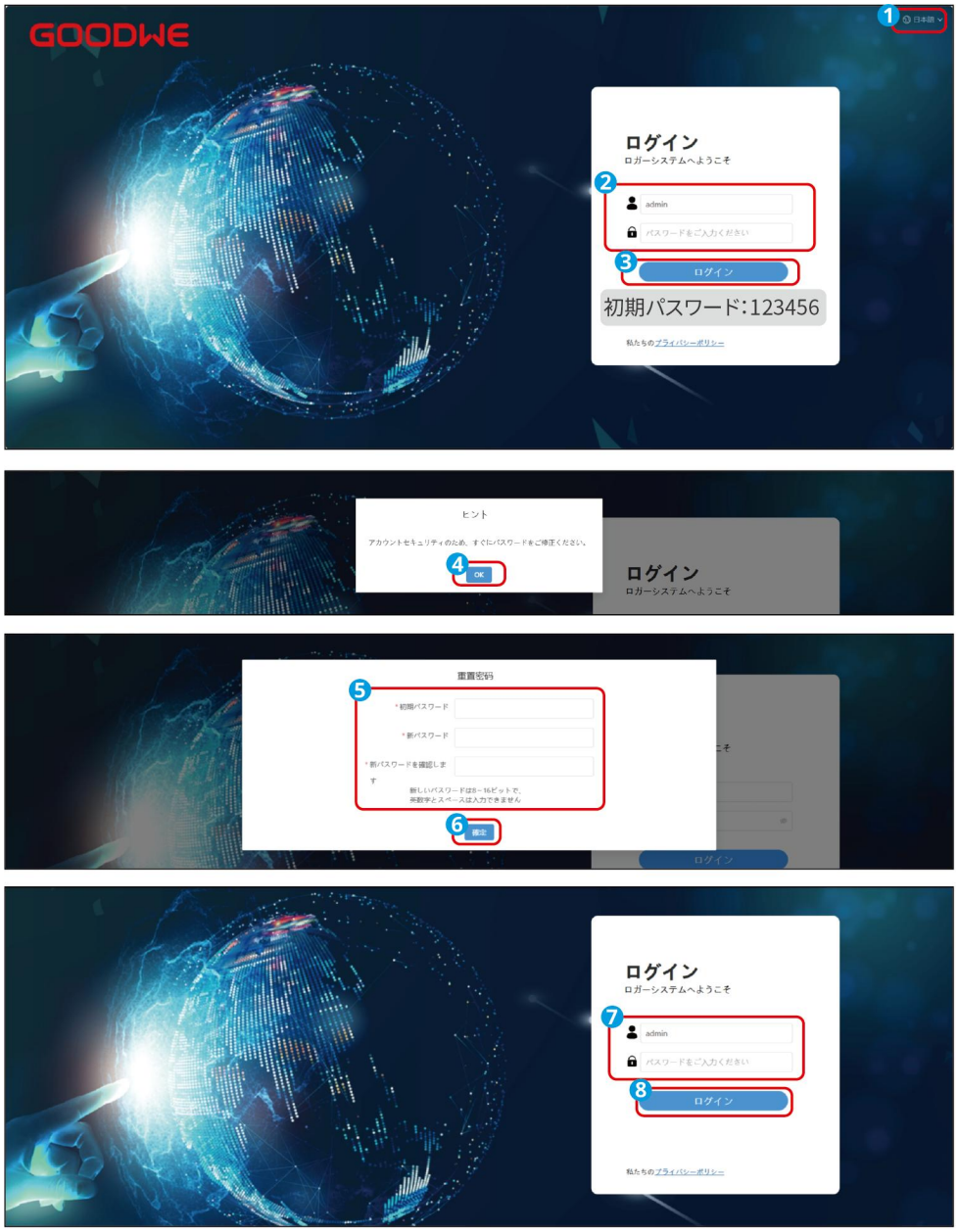
方式三：WiFi を使用して WEB 画面にログイン

ステップ 1：データロガーに接続されているコンピューターのデフォルトの WiFi 名は Log-*** です。*** は設備のシリアル番号です。 WiFi のデフォルトパスワード: 12345678。

ステップ 2：ブラウザのアドレスバーに http://172.18.0.12 と入力してログイン画面に入ります。

ステップ 3：実際のニーズに基づいて言語を選択してください。初期アカウント名とパスワードを使用して WEB 画面にログインします。初期アカウント名:admin;初期パスワード:123456。

注記
● 初回ログインは初期パスワードを使用し、できるだけ早くパスワードを変更してください。アカウントのセキュリティを確保するために、パスワードを定期的に変更することをお勧めします。 ● パスワードを忘れた場合は、設備の RST ボタンを長押しして初期パスワードを復元できます。



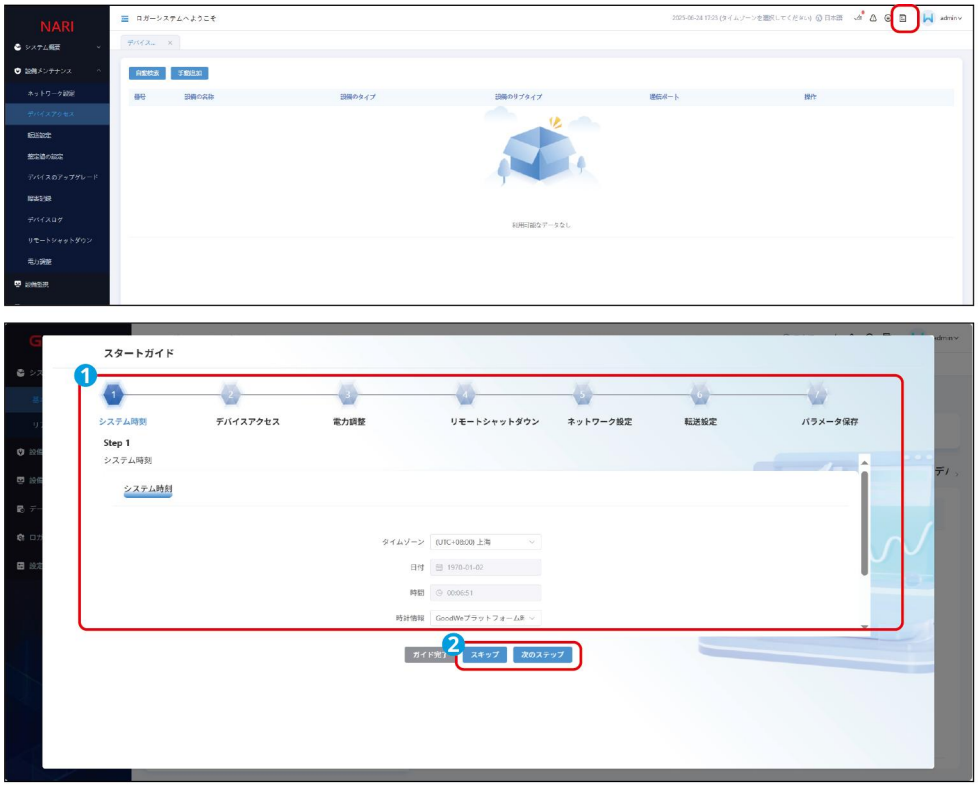
EZU30CON0014

8.2.5. スタートガイド

- ユーザーが初めてログインする際、画面にスタートガイドが表示されます。画面の案内および実際の要件に従って設定してください。設備接続、出力調整、リモートシャットダウン、第三者転送パラメータなどの設定が可能です。
- 一時的にシステムを設定する必要がない場合は「ガイド完了」をクリックできます。特定の機能を一時的に設定する必要がない場合は「スキップ」をクリックできます。
- 設定機能を詳しく確認する場合は、マニュアルの該当章の機能説明を参照してください。

ステップ 1：ユーザーが初めてログインすると、ログイン後にスタートウィザード画面が表示されます。すでにウィザード画面を終了した場合は、 をクリックして再度入ることができます。

ステップ 2：パラメータ設定の間で、「前へ」「次へ」「スキップ」をクリックして必要に応じた設定を行ってください。



EZU30CON0021

8.2.6. クイック設定ガイド

8.2.6.1. 自家消費の設定項目一覧

ステップ 1：自動検索で設備追加または手動で設備追加を参考にして、システムのネットワーク設定します。

ステップ 2：メーターを参考にして、メーターのパラメータ設定します。

ステップ 3：パワコンを参考にして、パワコンのパラメータ設定します。

ステップ 4：OVGR と RPR を参考にして、OVGR と RPR 設定します。

ステップ 5：出力制限を参考にして、逆潮流防止のパラメータを設定します。

ステップ 6：通信異常設定を参考にして、通信異常時の対処方法を設定します。

8.2.6.2. 全量売電/余剰売電の設定項目一覧

ステップ 1：自動検索で設備追加または手動で設備追加を参考にして、システムのネットワーク設定します。

ステップ 2：メーターを参考にして、メーターのパラメータ設定します。

ステップ 3：パワコンを参考にして、パワコンのパラメータ設定します。

ステップ 4：出力制御を参考にして、出力制御のパラメータを設定します。

ステップ 5：OVGR と RPR を参考にして、OVGR 設定します。

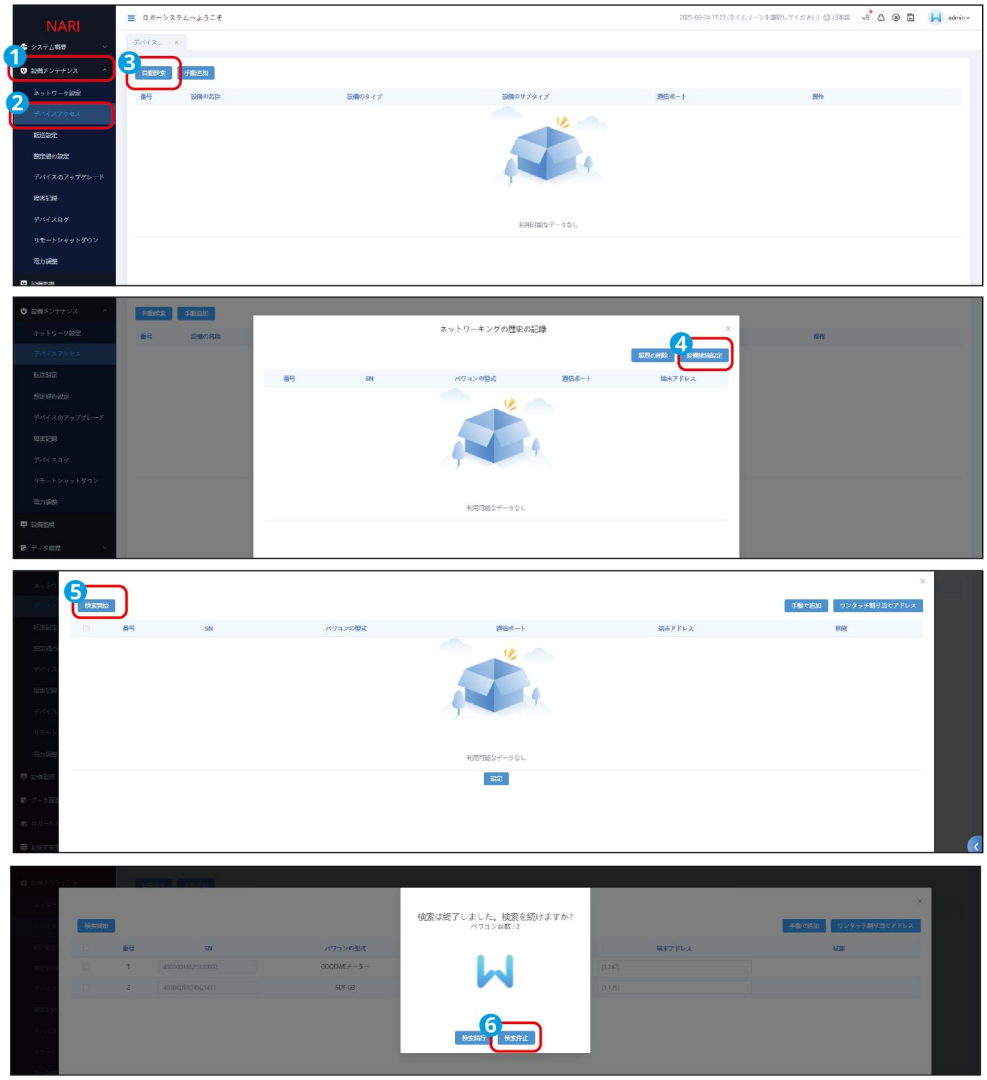
ステップ 6：通信異常設定を参考にして、通信異常時の対処方法を設定します。

8.2.7. 設備管理

8.2.7.1. 自動検索で設備追加

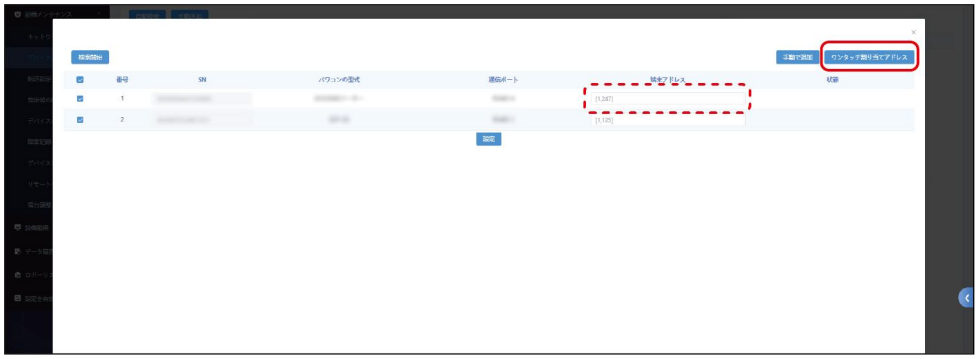
注記
第三者設備（第三者製メーターなど）は自動検索では検索できないため、手動で追加してください。

ステップ 1： 以下の手順に従って設備を検索し、画面に表示された検索結果の装置数が実際の設備数と一致したら「検索停止」をクリックしてください。設備が検出されない場合は、設備の RS485 配線が正常かどうかを確認してください。



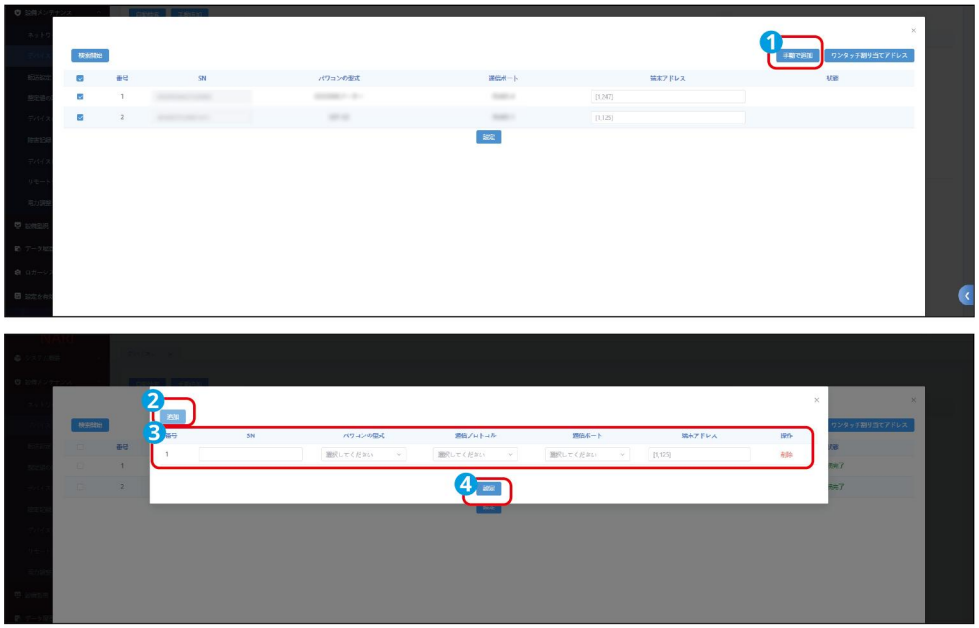
EZU30CON0048

ステップ 2：実際のニーズに応じて、端末アドレスを手動で入力するか、一括割り当てで自動的に割り当てることができます。すべての端末アドレスが重複しないようにしてください。パワコンのアドレス範囲：1～125。メーターのアドレス範囲：1～247。



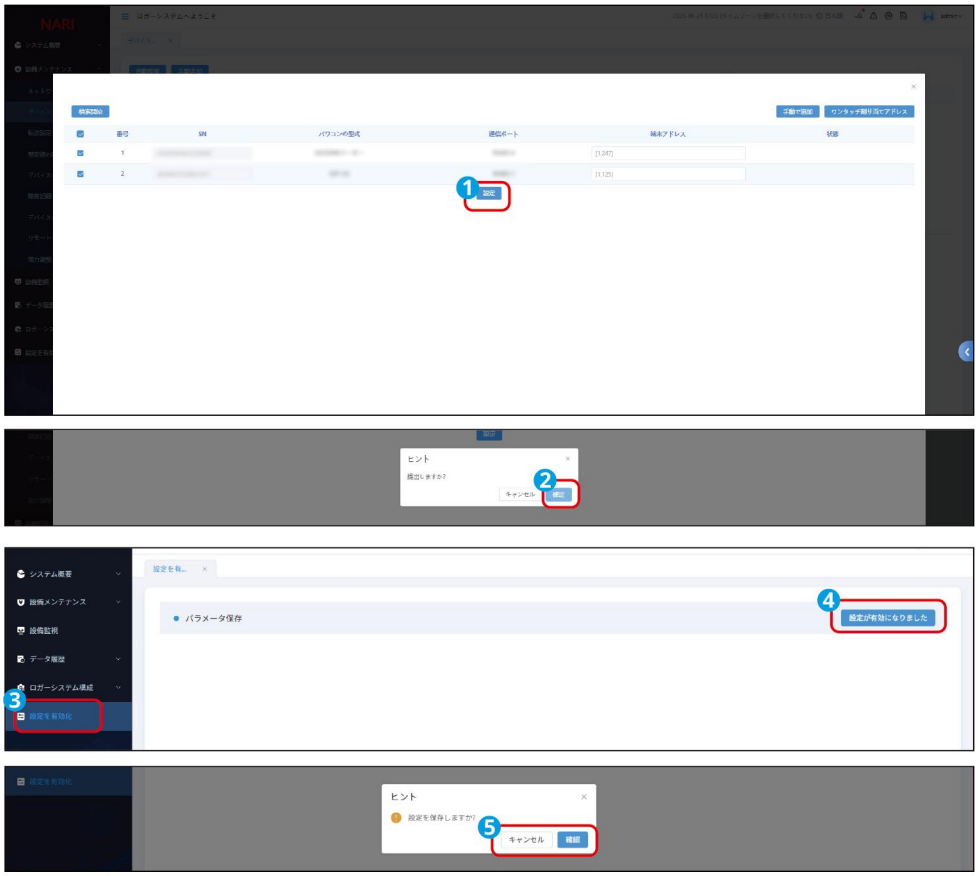
EZU30CON0049

ステップ 3：(オプション)必要に応じて、手動で設備情報を入力して設備を追加できます。追加する前に、設備型番、設備 SN、接続する通信ポートなどの情報を必ず確認してください。



EZU30CON0050

ステップ 4：「設定」をクリックし、画面の指示に従って設定有効化に入ります。「設定有効化」をクリックするとデータロガーが再起動しますので、画面の指示に従って再度ログインしてください。



EZU30CON0051

ステップ 5：系统组网设置完成后，返回设备接入界面，确认组网信息是否完整、正确。システムのネットワーク設定が完了したら、設備接続画面に戻り、ネットワーク情報が正しく、かつ完全であることを確認してください。

EZU30CON0052

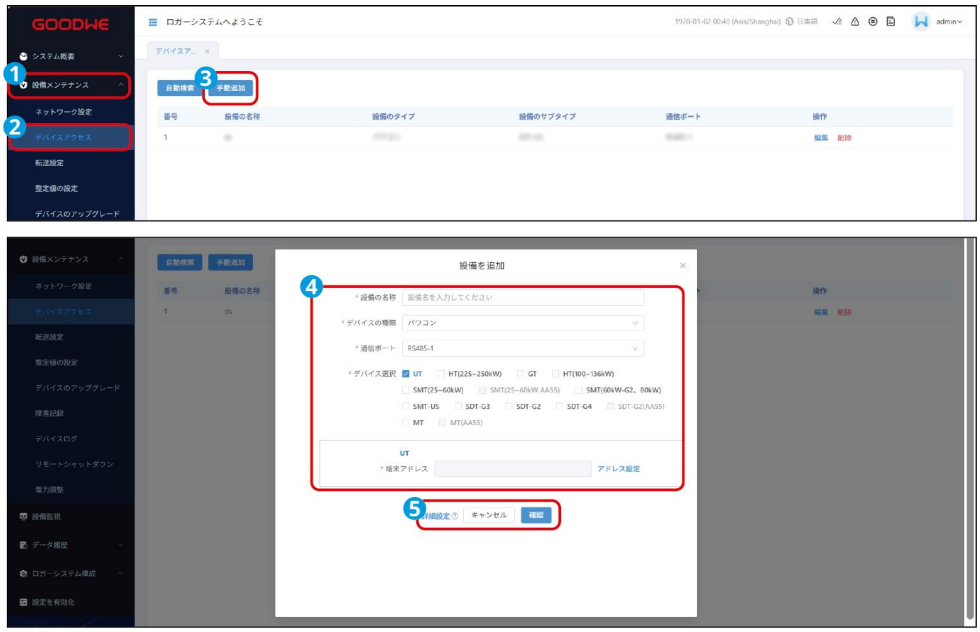
8.2.7.2. 手動で設備追加

注記

- 手動で設備追加する場合は、あらかじめ設備型番、設備 SN、接続する通信ポートなどの情報を確認してください。確認せずに追加すると、失敗する可能性があります。
- 追加された設備パラメータを変更または削除するには、編集または削除をクリックします。

ステップ 1：「設備保守」>「設備接続」>「手動追加」設定画面に入ります。

ステップ 2：実際のニーズに応じて設備のパラメータを設定します。設備追加を完了するには、「確定」をクリックします。



EZU30CON0038

パワコンの追加

番号	パラメータ名	説明
1	設備名称	パワコン名をカスタマイズすることが可能、実際の状況に応じて名前を付けてください。
2	設備タイプ	「パワコン」を選択してください。
3	通信プロトコル	パワコンの通信プロトコルにより設定、Modbus-RTU 選択可能。
4	通信ポート	EzLogger に接続した実際のポートに応じて設定します。
5	設備型番	実際接続したパワコンを設定できます。異なる機種のパワコンが同じポートに接続できます。 UT と HT(225～250kW)、または GT、HT(100～136kW)、SMT(25～60kW)、SMT (80kW)、SMT-US、SDT-G3、SDT-G2 を同じ RS485 回路に入れることが可能。
6	端末アドレス	● パワコン IP アドレスです。実際の発電所状況に合わせて、複数台のパワコンを一括で設定することも可能。実際状況に基づいて設定する必要がない場合は、自動的に生成することを選択できます。通信アドレスが SolarGo アプリ内のアドレスと一致していることを確認してください。 ● 異なる設備のアドレスが重複しないようにしてください。

メーターの追加

番号	パラメータ名	説明
1	設備名称	メーター名をカス“タマイズすることが可能、実際の状況に応じて名前を付けてください。
2	設備タイプ	「メーター」を選択してください。
3	通信プロトコル	メーターの通信プロトコルにより設定、Modbus-RTU 選択可能。
4	通信ポート	EzLogger に接続した実際のポートに応じて設定します。現在、RS485-1～RS485-4 に対応しています。
5	設備型番	● Modbus-RTU プロトコルで通信するメーターを使用する場合、表示され

		ます。 ● 実際に接続するメーターの型式に合わせて設定してください。選択可能な機種：GoodWe メーター (GM330)、Schneider-IEM3255、Janitza-UMG604、PRISMA-310A Lite/ 310A*、MIKRO-DPM680、Mitsubishi-ME110SS、IRA 2.0-Bf、Acrel-DTSD1352-CT その他。
6	メーターの用途	メーターの実際の使用用途に合わせて選択。系統側メーターまたは連系点メーターが選択可能。 ● 系統側メーター: 逆潮流防止に使用されます。選択可能の機種：GoodWe スマートメーター (GM330)。 ● 連系点メーター: 計測に使用されます。選択可能の機種：Schneider-IEM3255。 ● システムに複数のメーターを接続して逆潮流防止を行う場合、すべての逆潮流防止用メーターを系統側メーターとして設定してください。
7	終端地址	● メーターの設備アドレスは実際の発電所計画に応じて設定されます。実際の設定に基づいて設定する必要がなければ、自動的に生成することを選択できます。 ● メーターアドレスとパワコンアドレスを同一アドレスに設定しないでください。
8	接続レジスタ	実際の状況に応じて接続レジスタを選択します

他設備の追加

番号	パラメータ名	説明
1	設備名称	設備名をカスタマイズすることが可能、実際の状況に応じて名前を付けてください。
2	設備タイプ	他の設備を選択してください。
3	通信プロトコル	設備の通信プロトコルより設定、Modbus-RTU、Modbus-TCP、GW-XPH 及び 104 master は選択可能。
通信プロトコルを Modbus-RTU に設定された場合、実際状況に応じて、以下のパラメータを設定し		

てください。		
4	通信ポート	EzLogger に接続された実際のポートに応じて設定します。現在、RS485-1～RS485-4 に対応しています。
5	設備型番	設備型番を選択します。環境監視装置、キュービクル変電、その他が選択可能です。
6	キュービクル変電サブタイプ	キュービクル変電を選択する場合はキュービクル変電サブタイプは通常型また分散型に設定できます。
7	端末 IP アドレス	設備アドレスは実際の発電所計画に応じて設定されます。 異なる設備のアドレスが重複しないようにしてください。
8	プロトコルタイプ	設備に応じて、使用するプロトコルの種類を選択します。
9	接続レジスタ	追加設備のアクセスポイントテーブルを導入します。
10	IEC104 転送	追加された設備の転送ポイント テーブルに基づいて選択します。
11	Modbus-TCP 転送	追加された設備の転送接続レジスタに基づいて選択します。
通信プロトコルを Modbus-TCP に設定された場合、実際状況に応じて、以下のパラメータを設定してください。		
12	関連設備	通信プロトコルを Modbus-TCP に設定された場合、関連設備を共通にしてください。
13	通讯模式	UDP、TCPClient、TCPServer が選択可能、設備の通信モードに応じて設定してください。
14	通信モード	追加された設備と接続するために、EzLogger の IP アドレスを設定します。
15	ローカルポート	● EzLogger のポート番号を設定します。デフォルト値は「502」です。 ● GoodWe 製設備はデフォルト値で設定してください。第三者設備は実際の状況に応じて設定してください。

16	リモート IP アドレス	追加した他の設備の IP アドレスを設定します。
17	リモートポート	● 追加した他の設備のポート番号を設定してください。固定されてないポート番号の場合は「0」を記入してください。 ● GoodWe 製設備はデフォルト値で設定してください。第三者設備は実際の状況に応じて設定してください。
18	端末アドレス	● 設備アドレスは実際の発電所計画に応じて設定されます。実際の設定に基づいて設定する必要がなければ、自動的に生成することを選択できます。 ● 異なる設備のアドレスが重複しないようにしてください。
通信プロトコルを GW-XPH に設定された場合、実際状況に応じて、以下のパラメータを設定してください。		
19	通信ポート	EzLogger に接続されている実際のポートに応じて設定します。現在、RS485-1、～RS485-4 に対応しています。
20	端末 IP アドレス	● 追加設備のアドレス。実際の発電所計画に応じて設定されます。 ● 異なる設備のアドレスが重複しないようにしてください。
通信プロトコルを 104master に設定された場合、実際状況に応じて、以下のパラメータを設定してください。		
21	ローカル IP アドレス	データロガーの Ethernet ポートに対応する IP アドレスを設定します。
22	ローカルポート	推奨設定値は 0 です。
23	リモート IP アドレス	104master プロトコルで収集する対向機器の IP アドレスを設定します。
24	リモートポート	104master プロトコルで収集する対向機器のポート番号を設定します。
25	対側共通アドレ	104master プロトコルで収集する対向機器の 104 共通アドレスを

	ス	設定します。
26	送信者アドレス	データロガーの 104 送信元アドレスを設定します。
27	接続レジスタ	対向機器が使用する 104 プロトコルの点テーブルを設定します。
28	IEC104 転送	データロガーが対向機器データを転送する際に使用する 104 アドレスマッピングテーブルです。
29	modbustcp 転送	データロガーが対向機器データを転送する際に使用する modbustcp アドレスマッピングテーブルです。
30	キュービクル変電電力マッピング	対向機器の電力データマッピングテーブルです。

8.2.8. ポートパラメータの設定

注記
画面には実際の状況に応じたデフォルトのネットワークパラメータ設定が表示されます。必要に応じて、実際のニーズに合わせて変更することができます。

8.2.8.1. LAN 通信パラメータ

ステップ 1：「設備保守」>「ポート設定」>「LAN 設定」設定画面に入ります。

ステップ 2：実際のニーズに応じて ETH ポートパラメータを設定します。

EZU30CON0017

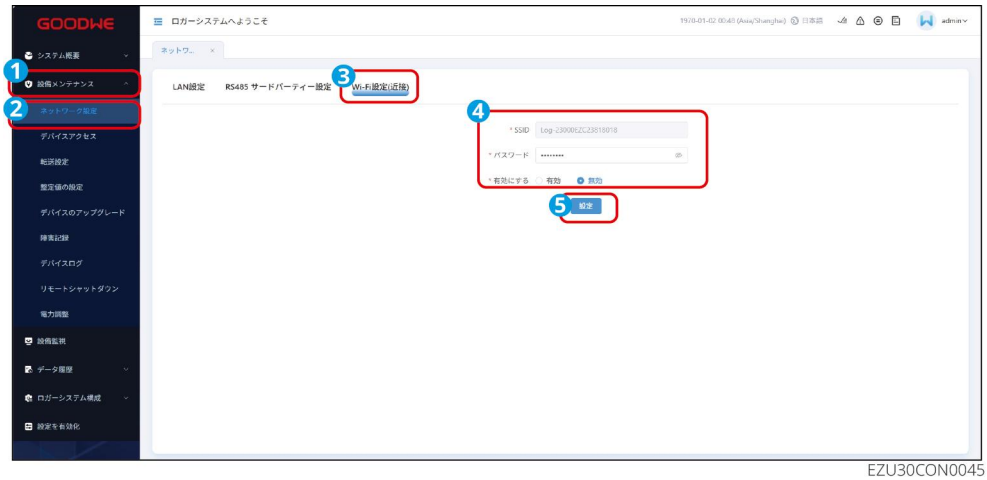
番号	パラメータ名	説明
1	ポート選択	Ezlogger ーに実際にアクセスするネットワークポートを設定します。サポート: ETH1、ETH2。
2	取得方法	● STATIC モードを選択した場合、関連するネットワークパラメータは固定パラメータとなり、実際の状況に応じて手動で設定する必要があります。 ● DHCP モードを選択すると、IP アドレスを自動的に取得して登録を完了できます。
3	IP アドレス	Ezlogger の IP アドレスを設定します。発電所計画に合わせてルータの同一ネットワークセグメント IP に設定することも可能です。 IP アドレスが変更された場合は、新しい IP アドレスを使用して再度ログインする必要があります。
4	サブネットマスク	Ezlogger のネットマスクを設定します。設備が接続されているルーターの実際のマスクに基づいてこのパラメータを設定します。
5	デフォルトゲートウェイ	Ezlogger のデフォルトゲートウェイを設定します。設備が接続されているルーターの実際のゲートウェイに応じて設定します。
6	優先 DNS サーバー	パブリックネットワークに接続する場合 (たとえば、GoodWe Cloud に接続する場合、サーバーアドレスにはドメイン名が使用されます)、LAN ルーターの IP アドレスとして設定します。
7	代替 DNS サーバー	通常の状況では、このパラメータ設定は無視できます。 プライマリ DNS サーバーがドメイン名を解決できない場合は、バックアップ DNS サーバーが使用されます。
8	LAN/インターネット	● サーバーに接続して GoodWe Cloud にデータを転送するには、「インターネット」を選択します。 ● サードパーティの監視プラットフォームなどに接続するために転送パラメータを設定する必要がある場合は、LAN を選択してください。

8.2.8.2. WiFi パスワードと SSID

注記
● データロガーは、ローカル設定用の WiFi ホットスポット信号を提供します。Web または SolarGo アプリで WiFi ホットスポットに接続すると、データロガーの調整・設定を行うことができます。 ● ホットスポットの SSID およびパスワードは変更可能です。変更後は、新しい SSID とパスワードで再度 Web またはアプリにログインしてください。

ステップ 1：「設備保守」>「ポート設定」>「Wi-Fi 設定」設定画面に入ります。

ステップ 2：実際のニーズに応じて WiFi ホットスポットの信号名とパスワードを設定します。



EZU30CON0045

番号	パラメータ名	説明
1	SSID	データロガーの WiFi 信号名称。初期名称：Log-***。
2	パスワード	データロガーの WiFi 信号接続パスワード。初期パスワード: 12345678
3	有効または無効	WiFi ホットスポット信号をオンにするかどうかを選択します。

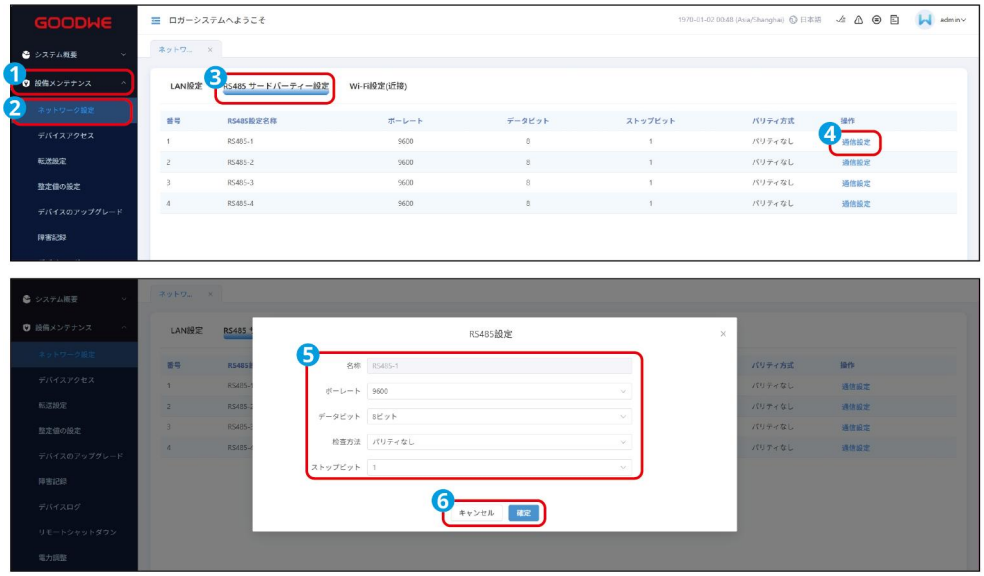
8.2.8.3. RS485 通信パラメータ

注記
他社の設備に接続する場合は、RS485 パラメータを設定する必要があります。GoodWe 製の設備

を接続する場合は、デフォルト値変更せずにご使用ください。

ステップ 1：「設備保守」>「ポート設定」>「他社設備 RS485 設定」設定画面に入ります。

ステップ 2：実際のニーズに応じて通信パラメータを設定します。



EZU30CON0018

番号	パラメータ名	説明
1	名称	設備が実際に接続されている RS485 ポートに応じて選択します。
2	ボーレート	接続する設備のボーレートに合わせて設定します。現在サポートされているのは、300、1200、2400、4800、9600、19200 です。
3	データビット	現在サポートされているもの: 7 ビット、8 ビット。
4	パリティ方式	接続する設備のキャリブレーション方法に合わせて設定してください。現在サポートされているもの: パリティなし、奇数パリティ、偶数パリティ、0 パリティ、1 パリティ。
5	ストップビット	接続する設備のストップビットに応じて設定します。現在サポートされているバージョン: 1、1.5、2。

8.2.9. 転送設定

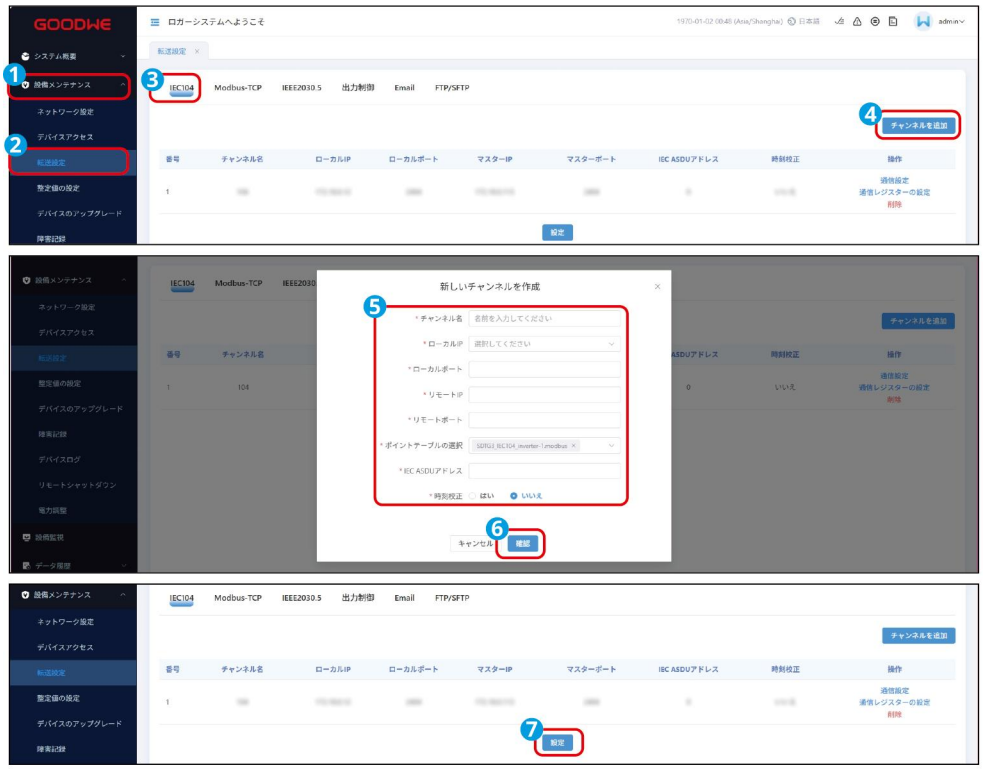
転送パラメータを設定することで、Ezlogger によって収集されたデータを対応するプロトコル経由でサードパーティの監視プラットフォームに転送できます。

8.2.9.1. IEC104 パラメータ

EzLogger が IEC104 プロトコルで管理システムと通信する場合、IEC104 パラメータの設定が必要です。

ステップ 1：「設備保守」>「転送設定」>「IEC104」設定画面に入ります。

ステップ 2：実際のニーズに応じて IEC104 チャネルを追加し、通信パラメータを設定します。



EZU30CON0006

番号	パラメータ名	説明
1	チャンネル名	設備名をカスタマイズすることが可能、実際の状況に応じて名前を付けてください。
2	ローカル IP	EzLogger の IP アドレスに設定します。
3	ローカルポート	EzLogger のポートに設定します。
4	リモート IP	IEC104 管理システムの IP アドレスに設定します。
5	リモートポート	IEC104 管理システムのポートに設定します、リモートポートが決まっていない場合、“0”を入力してください。
6	接続レジスタ	アクセスポイントテーブルを選択してください。
7	IEC ASDU アドレス	● 転送ポイントテーブルを EzLogger に導入し、転送パラメータを設定する時、管理システムの転送ポイントテーブルをマッピングすること

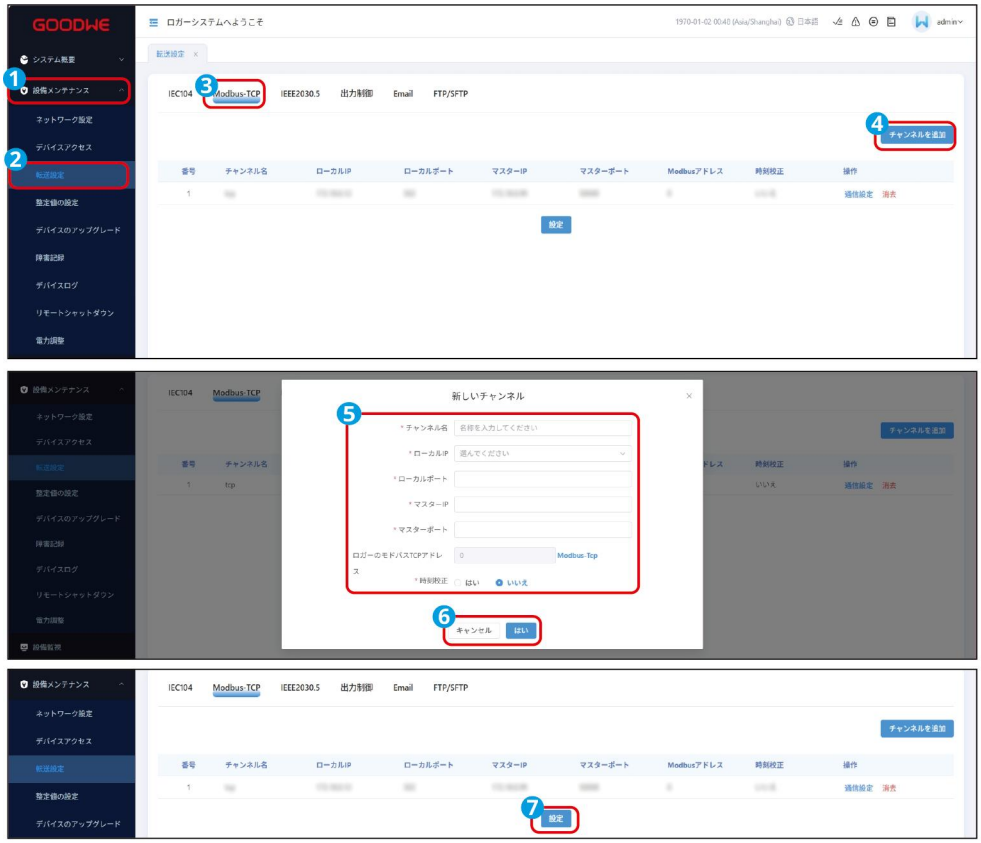
		が可能、実際状況に応じて選択してください。 ● ASDU アドレスのデフォルト値は 1。
8	時刻校正	実際状況に応じて、リモート設備と時刻合わせるか。

8.2.9.2. Modbus-TCP パラメータ

転送パラメータを設定することで、Ezlogger によって収集されたデータを Modbus-TCP プロトコル経由でサードパーティの監視プラットフォームに転送できます。

ステップ 1：「設備保守」>「転送設定」>「Modbus-TCP」設定画面に入ります。

ステップ 2：実際のニーズに応じて Modbus-TCP チャネルを追加し、通信パラメータを設定します。



EZU30CON0008

番号	パラメータ名	説明
1	チャンネル名称	カスタム設備名をサポートしており、実際の状況に応じて設備名をカスタマイズできます。
2	ローカル IP	EZLOGGER の IP アドレスを設定します。
3	ローカルポート	EZLOGGER のポート番号を設定します。

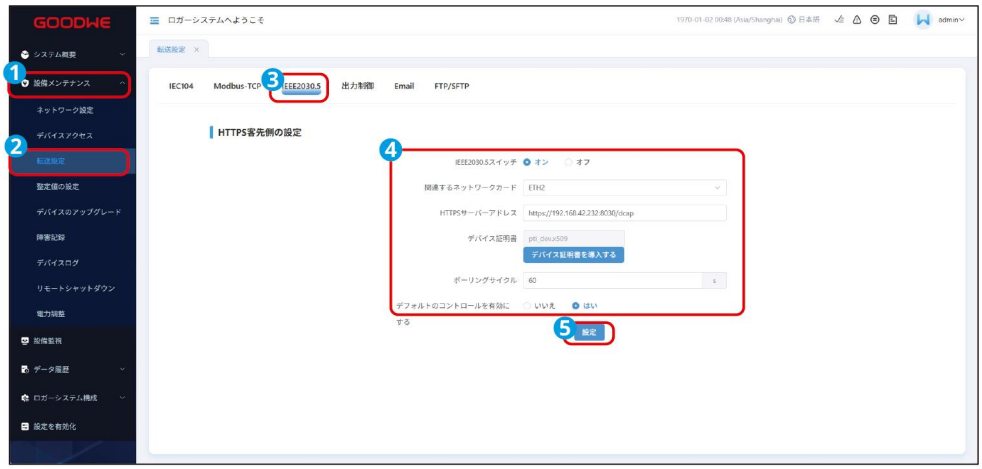
		デフォルト：502。
4	マスター IP	Modbus-TCP 管理システムの IP アドレスを設定します。
5	マスターポート	Modbus-TCP 管理システムのポート番号を設定します。
6	ロガーの Modbus-TCP アドレス	Modbus-TCP 管理システムのアドレスを設定する。
7	時刻校正	実際状況に応じて、リモート設備と時刻合わせるか。

8.2.9.3. 設置 IEEE2030.5 参数

転送パラメータを設定することで、Ezlogger によって収集されたデータを Modbus-TCP プロトコル経由でサードパーティの監視プラットフォームに転送できます。

ステップ 1：「設備保守」>「転送設定」>「IEEE2030.5」設定画面に入ります。

ステップ 2：実際のニーズに応じて IEEE2030.5 チャネルを追加し、通信パラメータを設定します。



EZU30CON0007

番号	パラメータ名	説明
1	IEEE2030.5 スイッチ	IEEE2030.5 の有効化または無効化を設定します。
2	関連ネットワークカード	実際の状況に応じて、IEEE2030.5 転送用の関連ネットワークポートを設定します。
3	HTTPS サーバーアドレス	実際の状況に応じて、HTTPS サーバーアドレスを設定します。

4	設備証明書のインポート	設備証明書をインポートします。
5	ポーリングサイクル	ポーリングサイクルを設定します。
6	デフォルト制御を有効にする	IEEE2030.5 のデフォルト制御を有効にします。

8.2.9.4. 出力制御

日本およびその他の地域の要件に従って、設備が電力会社と通信して出力制御機能を実現する必要がある場合、出力制御パラメータを設定する必要があります。

ステップ 1：「設備保守」>「転送設定」>「出力制御」設定画面に入ります。

ステップ 2：遠隔出力制御スイッチはデフォルトでオフになっています。完全自家消費の場合は、スイッチをオフのままにしてください。電力会社との売電契約がある場合は、電力会社の指示に従って遠隔出力制御機能をオンにし、**ステップ 3～ステップ 9** まで進めて、パラメータ設定を完了してください。

ステップ 3：「制御エリア」をクリックし、メニューから該当地域を選択してください。

ステップ 4：出力制御時間を設定してください。

ステップ 5：電力会社からの発電所 ID を入力ください。

ステップ 6：証明書のインポートが必要な場合は、「証明書を使って出力制御サーバーへ接続しますか」をクリックし，メニューから「有効にする」を選択してください。事前にパソコンのディスクトップに GOODWE より入手したルート証明書を貼り付けてください。「インポート」をクリックし、ルート証明書をロガーにインストールします。

ステップ 7：契約容量（電力会社と協議した容量）を入力します。※契約容量入力時に、専用アカウントとパスワードが必要です。

ステップ 8：内容を確認したら**設定**をクリックします。ロガーがルータと接続していることを確認の上、「サーバーへの接続テスト」を実施ください。

ステップ 9：画面下部でテストの状態を確認し、ID が有効で接続時間、出力制御率の確認ができればサーバとの通信試験は完了です。

EZU30CON0013

番号	パラメータ名	説明
1	遠隔出力制御スイッチ	出力制御機能をオンまたはオフにする。
2	制御エリア	出力制御エリアを設定します。対応：なし、九州、中部、関西、北海道、東京、四国、北陸、東北、中国など。
3	出力制御時間	出力制御時間、パワコン電力が 0% から 100% または 100% から 0% に出力されるのに必要な時間を設定します。
4	発電所 ID	電力会社のサーバーに接続後、発電所に割り当てられる ID。
5	遠隔出力制御サーバー	出力制御エリアを設定すると、リモート出力制御サーバーが自動的に生成されます。
7	証明書接続出力制御サーバーを有効にするかどうか	実際の状況に応じて、証明書をインポートして有効にするかどうかを選択します。
8	契約容量	● 電力会社と協議した容量。 ● 全量買取：契約容量、太陽電池パネル容量と PCS 指定出力の小さな容量。 ● 入力時に、専用アカウントとパスワードが必要です。
9	発電所の交流容量	電力系統への供給に制限のあるの交流容量に設定。入力時に、専用アカウントとパスワードが必要です。

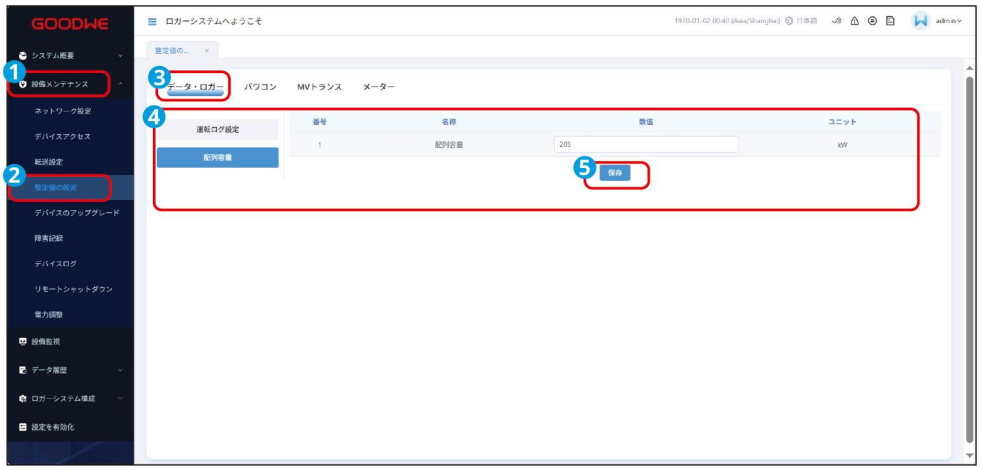
10	最近の接続状態	出力制御の状態を確認します。
10	最近連接時間	
11	当前制御百分比	

8.2.10. パラメータ設定

8.2.10.1. データロガー

ステップ 1：「設備保守」>「パラメータ設定」>「データロガー」設定画面に入ります。

ステップ 2：実際のニーズに応じて、Ezlogger パラメータを設定します。



EZU30CON0023

タブ	パラメータ名	説明
運転ログ	ログファイルのサイズ	実際のニーズに応じて、保存するログファイルのサイズと数を設定します。
	ログファイルの数	
アレイ容量設定	アレイ容量	実際のアレイ容量に基づいて設定します。
北向きリンク保護	リンク保護機能スイッチ	有効化すると、北向き通信が切断された場合、装置は事前に設定された動作を実行します。
	保護対象リン	保護する通信リンクを選択します。現在サポートされているのは

	クノード番号	IEC104 および Modbus-TCP です。
	制御戦略選択	保護対象の通信リンクポートが切断された場合に実行する戦略を設定します。サポート内容：無動作、シャットダウン、事前設定値出力、QU モード、QP モード。

8.2.10.2. パワコン

注記
● パワコンの型番によって設定が必要なパラメータは異なります。実際の画面を基準にしてください。 ● 複数台のパワコンを選択し、選択した複数台のパワコンに対して同時にパラメータ設定を行うことができます。 ● 機能の有効／無効を切り替える際は、「0」または「1」を入力してください。「0」は機能無効、「1」は機能有効を意味します。 ● 初回設定時は、まず系統コードを確認して設定してください。設定後はむやみに変更しないでください。系統コードを設定すると、パワコンの系統整定値設定、基本設定、特性パラメータ設定、電力調整設定がデフォルト値として装置に読み込まれます。パラメータを変更する場合は、必ず現地の法規制に従って設定してください。

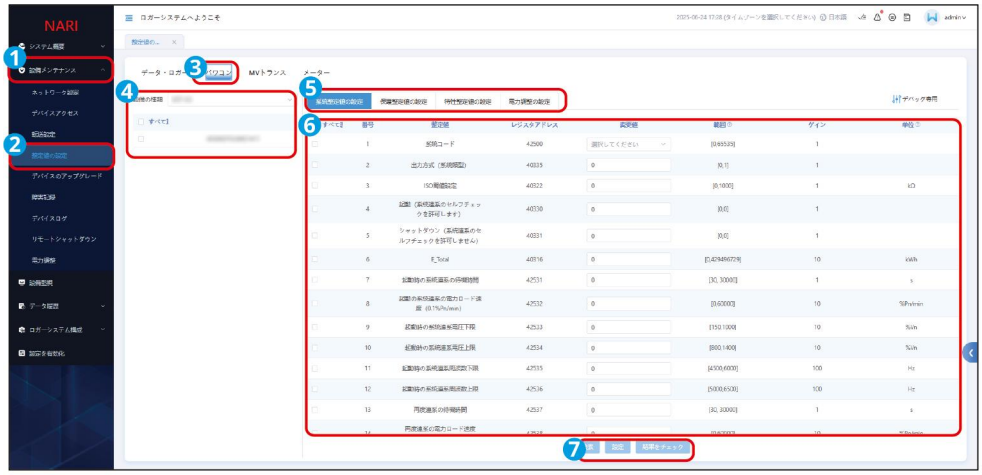
ステップ 1：「設備保守」>「パラメータ設定」>「パワコン」より、パラメータ設定画面に入ります。

ステップ 2：設備タイプを選択し、確認または設定したいパワコンの SN を選択してください。SN を選択すると、画面右側に設定可能なパラメータのタブが表示されます。実際のニーズに応じて、タブを選択し、対応するパラメータを設定してください。

ステップ 3： 確認したいパラメータを一つ以上選択し、「読み出し」をクリックすると、選択したパラメータの現在値を確認できます。

ステップ 4：パラメータを変更する場合は、変更したい番号を選択し、変更項目に入力して「設定」をクリックします。変更項目が範囲内であることを確認してください。

ステップ 5：「結果確認」をクリックして変更成功かを確認します。



EZU30CON0022

系統整定値設定

系統整定値では、連系保護の OVR、UVR、OFR、UFR の設定が可能です。系統コードを設定すると、これらの整定値には初期値が自動的に設定されます。特別な要件がない限り、通常は変更しません。変更が必要な場合は、事前に電力会社に協議してください。

番号	パラメータ名	説明
1	系統コード	パワコンが設置されている国/地域エリア電力系統規格およびパワコンの応用シーンに応じて設定します。
2	出力モード	パワコンの応用シーンに応じて、パワコンの出力に N 線があるかを設定します。 0 は三相三線式(3W)、1 は三相四線式(3W/N)を意味します。
3	系統不足電圧 UVR 保護	電力系統の不足電圧保護ポイントを設定します。
4	系統不足電圧 UVR 保護時限	電力系統の不足電圧保護時間を設定します。
5	系統過電圧 OVR 保護	電力系統の過電圧保護ポイントを設定します。
6	系統過電圧 OVR 保護時限	電力系統の過電圧保護時間を設定します。
7	系統周波数低下 UFR 保護	電力系統の周波数低下保護ポイントを設定します。

8	系統周波数低下 UFR 保護時限	電力系統の周波数低下保護時間を設定します。
9	系統周波数上昇 OFR 保護	電力系統の周波数上昇保護ポイントを設定します。
10	系統周波数上昇 OFR 保護時限	電力系統の周波数上昇保護時間を設定します。
11	起動時系統連系待機時間	パワコンが電源投入して初めて系統連系する時、設備が起動までの待ち時間を設定します。
12	復帰後再投入時間	系統電圧と周波数が正常に戻ったら、パワコンが系統に再連系するまでの待ち時間。
13	起動時系統連系電圧下限	該当国/地域の基準より、初めて系統連系するパワコンは、系統電圧がこの上限値より高い場合連系できません。
14	起動時系統連系電圧上限	該当国/地域の基準より、初めて系統連系するパワコンは、系統電圧がこの下限値より低い場合系統連系できません。
15	起動時系統連系周波数下限	該当国/地域の基準より、初めて系統連系するパワコンは、系統周波数がこの上限値より高い場合系統連系できません。
16	起動時系統連系周波数上限	該当国/地域の基準より、初めて系統連系するパワコンは、系統周波数がこの下限値より低い場合系統連系できません。
17	復帰後再連系電圧下限	該当国/地域の基準では、故障保護によりパワコンがシャットダウンした後、系統電圧がこの電圧上限値より高ければ、パワコンが再連系できません。
18	復帰後再連系電圧上限	該当国/地域の基準では、故障保護によりパワコンがシャットダウンした後、系統電圧がこの電圧下限値より低ければ、パワコンが再連系できません。
19	復帰後再連系周波数下限	該当国/地域の基準では、故障保護によりパワコンがシャットダウンした後、系統電圧がこの周波数の上限値より高ければ、パワコンが再連系できません。
20	復帰後再連系周波数	該当国/地域の基準では、故障保護によりパワコンがシャットダウンした後、系統周波数がこの周波数の下限値より低ければ、パワコンが再

	上限	連系できません。
21	能動的単独運転防止機能設定	能動的単独運転防止機能を有効または無効にします。
22	受動的単独運転防止機能設定	受動的単独運転防止機能を有効または無効にします。
23	周波数フィードバック注入の最大無効電力に対する最小周波数	周波数フィードバック注入の最大無効電力に対する最小周波数を設定します。
24	周波数フィードバック注入の最大無効電力に基準値（P.U.）	周波数フィードバック注入の最大無効電力に基準値（P.U.）を設定します。
25	電圧上昇抑制保護値（有効電力）	電圧上昇抑制保護値（有効電力）を設定します。
26	電圧上昇抑制保護値（無効電力）	電圧上昇抑制保護値（無効電力）を設定します。

基本設定

番号	パラメータ名	説明
1	起動電圧	パワコン'の起動を許容する電圧値
2	起動（連系自己診断許可）	電源投入指令を出して、系統連系前のセルフテストを許可します。
3	シャットダウン（連系自己診断不可）	電源開放指令を出して、系統連系のセルフテストを停止します。
4	再起動	パワコンを再起動させる指令
5	故障後の手動·自動復帰設定	「0」の場合、パワコンは故障発生後に手動で復旧する必要があります。「1」の場合、パワコンは故障発生後に自動的に復旧します。
6	過電圧発動の N 次	電力系統の N レベル過電圧保護ポイントを設定します。

	値 (0.1%)	
7	過電圧トリガの N 次動作時間	グリッド N レベル過電圧保護時間を設定します。
8	電圧低下トリガー N 次値 (0.1%)	電力系統の N レベル不足電圧保護ポイントを設定します。
9	電圧低下トリガの N 次動作時間	グリッド N レベル不足電圧保護時間を設定します。
10	10 分間過電圧トリガー値(0.1%)	10 分間の過電圧保護ポイントを設定します。
11	10 分間の過電圧トリップ時間	過電圧保護時間を 10 分間に設定します。
12	周波数上昇トリガの N 次トリップ時間	電力系統の N レベルの過周波数保護ポイントを設定します。
13	周波数上昇トリガの N 次トリッピング時間	グリッド N レベルの過周波数保護時間を設定します。
14	周波数低下トリガ N 次値	電力系統の N レベル不足周波数保護ポイントを設定します。
15	周波数低下トリガ N 次トリップ時間	電力系統の N レベル不足周波数保護時間を設定します。
16	起動時の系統接続電力負荷率 (0.1%Pn/分)	パワコンが電源投入して初めて系統連系する時、起動時から出力の上昇率を設定します。
17	系統再接続出力上昇率（0.1%Pn/min）	該当国または地域の要件に従って、初回系統連系以外にパワコンが 1 分間あたりの出力増加率。 例: 10 に設定すると、再連系時の出力上昇率が 10%P/Srated%% ということです。
18	LVRT 機能有効化ビ	LVRT、電力系統が異常で短期間に低電圧に陥った場合、パワコンは電

	ット	力系統からすぐに切り離さず一定期間内の運転維持が必要です。この機能を有効にすると、パワコンの LVRT 機能がオンになります。
19	LVRT 深さ n	LVRT 曲線の特性点の電圧パーセンテージを設定します。
20	LVRT 持続時間 n	LVRT 曲線の特性点の継続時間を設定します。
21	LVRT 作動閾値	LVRT を作動させる閾値を設定します。閾値設定は、地域の電力系統標準に準拠する必要があります。
22	LVRT 終了閾値	LVRT が終了させる閾値を設定します。閾値設定は、地域の電力系統標準に準拠する必要があります。
23	LVRT 正相無効電力 K 値	LVRT 発動時、パワコンは電力系統を安定化させるために正方向無効電力を出力する必要があります。このパラメータは、パワコンが出力する正方向無効電力の大きさを設定します。
24	LVRT ゼロ電流モード有効化ビット	該当国/地域規格には、LVRT 時の出力電流に関する要件があります。このパラメータを有効にすると、LVRT 時のパワコンの出力電流は定格電流の 10% 以下になります。
25	LVRT ゼロ電流モード移行電圧閾値	LVRT ゼロ電流モードが有効になった場合、LVRT の時、系統電圧がこの設定値より低ければ、ゼロ電流モードに移行します。
26	HVRT 有効化ビット	HVRT とは、電力系統が異常で短期間に高電圧になった場合、パワコンが電力系統からすぐに切り離さず、一定期間内の運転維持が必要です。この機能を有効にすると、パワコンのＨＶＲＴ機能がオンになります。
27	HVRT 深さ n	HVRT 曲線の特性点の電圧パーセンテージを設定します。
28	HVRT 持続時間 n	HVRT 曲線の特性点の継続時間を設定します。
29	HVRT 作動閾値	HVRT を作動させる閾値を設定します。閾値設定は、地域の電力系統標準に準拠する必要があります。
30	HVRT 終了閾値	HVRT が終了させる閾値を設定します。閾値設定は、地域の電力系統標準に準拠する必要があります。
31	HVRT 正相無効電力 K 値	HVRT 発動時、パワコンは電力系統を安定化させるために正方向無効電力を放出する必要があります。このパラメータは、パワコンが出力

		する正方向無効電力の大きさを設定します。
32	HVRT ゼロ電流モード有効化ビット	該当国/地域規格には、HVRT 時の出力電流に関する要件があります。このパラメータを有効にすると、HVRT 時のパワコンの出力電流は定格電流の 10% 以下になります。
33	HVRT ゼロ電流モード移行電圧閾値	HVRT ゼロ電流モードが有効になった場合、HVRT の時、系統電圧がこの設定値より高ければ、ゼロ電流モードに移行します。
34	電流分配モード	無効電流と有効電流の分配モードを設定します。 「0」 は無効電力優先で、「1」 は有効電力優先です。「2」 は定常電流モードを表します。
35	FRT 終了時の有効電力復帰モード	FRT 終了時の有効電力回復モードです。スロープ復帰、一次ローパスフィルター復帰、要件なし復帰、などのモードに対応しています。 「0」 はオフ、「1」 はスロープ応答を表します。 「2」 は時定数、「3」 は応答時間を表します。
36	FRT 終了時の有効電力復帰率	FRT から復帰中、有効電流は FRT 前の時点の有効電流に復帰する速度。
37	FRT 終了時の有効電力復帰一次ローパスフィルタリング	FRT から復旧後、有効電流は 1 次ローパス フィルタリングの特性応答で復帰します
38	FRT 終了時の無効電力回復モード	FRT から復旧後、無効電流回復方法はスロープ回復、一次ローパス フィルター回復、要求なしを対応可能。 0 はオフを表し、1 は傾斜応答を表し、3 は応答時間を表します。
39	FRT 終了時の無効電力回復率	FRT から復旧後、無効電流はスロープ値に従って回復します。
40	FRT 終了時の無効電力無効電力回復用の一次ローパスフィルター	FRT から復旧後、無効電流は一次ローパスフィルターの特性応答によって回復します。
41	周波数スルー有効化	周波数スルーを有効にすると、系統周波数が異常な場合でも、パワコ

	ビット	ンは指定した時間内に発電を継続します
42	N 次不足周波数スルー周波数値_UF n	電力系統周波数低下時スルー開始閾値を設定します。
43	N 次不足周波数スルー持続時間_UT n	電力系統周波数低下時スルー時間を設定します。
44	N 次過周波数スルー周波数値_OFn	電力系統周波数上昇時スルー開始閾値を設定します。
45	N 次過周波数スルー持続時間_OTn	電力系統周波数上昇時スルー時間を設定します

特性パラメータ設定

番号	パラメータ名	説明
1	雷保護モジュール検出スイッチ	雷保護モジュール検出機能を有効または無効にします。
2	ISO 阈值设置	为保护设备安全，逆变器启动自检时会检测输入侧对地的绝缘阻抗。若检测值低于 ISO 阈值设置，则逆变器不并网。
3	シャッドー MPPT 機能スイッチ 1	太陽光発電パネルのストリングに明らかに影がかかっている場合、この機能が有効にすると、パワコンは定期的に MPPT スキャンを行い最大電力値を見つけ出します。
4	出力制御調整時間	出力制御機能を使用する際に、出力制御調整時間を確認するための項目です。変更は推奨されません。変更する場合は、電力会社にご相談ください。
5	出力制御設定（出力%）	出力制御機能を使用する際に、出力制御電力を確認するための項目です。変更は推奨されません。変更する場合は、電力会社にご相談ください。
6	欧州一括シャットダウンスイッチ	欧州一括シャットダウン機能を有効／無効にします。
7	PID 防止機能スイッ	PID 防止機能を ON/OFF にします。

	チ	
8	PID 修復機能スイッチ	PID 修復機能を ON/OFF にします。
9	NPE 電圧過電圧障害検出スイッチ	NPE 電圧過電圧障害検出機能を ON/OFF にします
10	N-PE エラー閾値	N-PE 過電圧故障閾値
11	有効電力調整 ローパス フィルター時間パラメータ	有効電力調達のローパス フィルター時間パラメータを設定します。
12	無効電力調整 ローパス フィルター時間パラメータ	無効電力調整のローパス フィルター時間パラメータを設定します。

電力調整設定

番号	パラメータ名	説明
1	皮相電力の最大値	パワコンが出力可能な最大皮相電力を設定します。
2	有効電力の最大値	パワコンが出力可能な最大有効電力を設定します。
3	無効電力補償（PF）	パワコンの力率を設定します。
4	有効電力スケジューリング応答方式	有効電力スケジューリング応答方式を設定します。サポート:スロープモードまたは 1 次ローパスフィルターモード。 「0」: 無効。「1」はスロープ モード。「2」は 1 次ローパス時定数。「3」は 1 次ローパス応答時間
5	有効電力変化勾配	パワコン有効電力の変化率を設定します。
6	有効電力固定値ディレーティング	パワコンの有効電力出力を固定値に従って調整します。
7	有効電力ディレーティング パーセンテー	パワコンの有効電力出力を定格電力のパーセンテージで調整します。

	ジ(0.1%)	
8	無効電力スケジューリング応答方式	無効電力スケジューリング応答方式を設定する。サポート:スロープモードまたは 1 次ローパスフィルターモード。 「0」:無効；「1」：スロープモード；「2」一次ローパス時間定数；「3」：一次ローパス応答時間。
9	無効電力補償(Q/S)	パワコン出力の無効電力を設定します。
10	無効電力補償固定値	固定値に従ってパワコンの無効出力電力を調整します。
11	無効電力変化勾配	パワコン無効電力の変化率を設定します。
12	夜間無効電力機能スイッチ	夜間無効電力補償機能を有効または無効にします。一部の応用シーンでは、電力会社は、ローカル電力系統の力率が基準に満たさせるために、夜間無効電力補償を実行するようパワコンに要求します。
13	夜間無効電力パラメータ有効か	この設定が有効すると、パワコンは夜間無効電力補償固定値の設定値に従って無効電力を出力し、そうでない場合は、パワコンはリモート指令に従って無効電力を出力します
14	夜間無効電力調達率（0.1%）	夜間に無効電力補償を行う時、無効電力はパーセントで供給されます。
15	夜間無効電力補償の固定値	夜間に無効電力補償を行う時、無効電力は固定値で供給されます。
16	周波数上昇閾値	該当国/地域の基準では、系統周波数が当閾値を超える場合、パワコンが有効電力を下げる必要があります。
17	周波数上昇パワースロープ(Slope)	Slope モードでは、系統周波数が過周波数点を超えると、パワコンによる有効電力のディレーティングの傾き。
18	P(F) カーブを有効する	過周波数が発生する時のディレーティングを ON/OFF にします。
19	周波数低下閾値	該当国/地域の基準では、系統周波数が不足周波数閾値より低い場合、パワコンによる有効電力出力を増加する必要があると規定しています。

20	電力回復スロープ	電力回復スロープを設定して、過周波数から復旧後の出力上昇率。
21	周波数ヒステリシス点	過周波数ヒステリシス関数の周波数対応点。
22	沈黙時間	過周波数ヒステリシス機能の沈黙時間。
23	周波数上昇終了値	過周波数ディレーティングが終了時の周波数を設定します。
24	基準出力（スロープ）	スロープモードでは、系統周波数が周波数超過点を超えると、パワコンが出力する有効電力のディレーティング変化スロープの電力基準値が使用されます
25	周波数ヒステリシス点	不足周波数ヒステリシス関数の周波数対応点。
26	出力復旧のスロープ	不足周波数現象が終了後の出力復旧のスロープ。
27	不足周波数の終点	不足周波数時の出力上昇が終わる周波数を設定します。
28	基準出力（(Slope)）	スロープモードでは、系統周波数が不足周波数点より低い場合、パワコンは有効電力のディレーティング変化スロープの電力基準値。
29	不足周波数出力スロープ (Slope)	スロープモードでは、系統周波数が周波数不足点よりも低い場合、パワコン出力有効電力ディレーティングの傾き。
30	沈黙時間	不足周波数ヒステリシス機能により沈黙時間。
31	PU カーブの有効化	PU カーブを ON にします。
32	Vn 電圧値(0.1%)	PU カーブに対応する電圧パーセンテージを設定します。
33	Vn 有効電力値(0.1%)	PU カーブに対応する出力パーセンテージを設定します。
34	PU カーブ出力応答モード	PU カーブ出力の応答モードを設定します。対応可能: スロープ モードまたは一次応答モード。
35	PU カーブ出力変化率	PU カーブの出力応答モードがスロープモードの場合、対応する出力変化スロープを設定します。
36	PU 曲線の応答時間パラメータ	PU カーブ出力の応答モードが 1 次応答モードの場合、対応する応答時間を設定します。

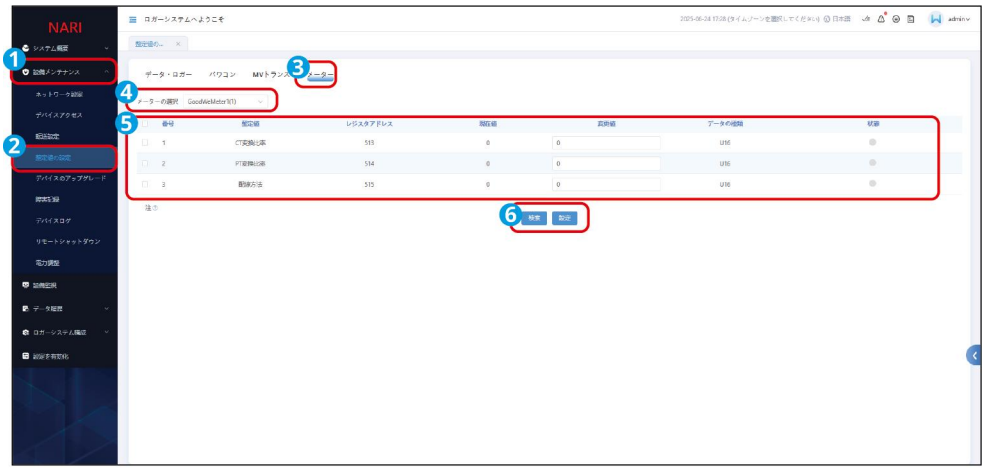
37	QU 曲線有効か	QU カーブをオン/オフスイッチ
38	Vn 電圧値(0.1%)	QU 曲線に対応する電圧パーセンテージを設定します。
39	Vn 有功値(0.1%)	设置 QU 曲线对应的有功功率百分比。
40	QU カーブ応答時間パラメータ	QU 曲線の一次応答モードに対する反応時間。
41	曲線出力イン（0.1%）	QU 曲線の出力パーセントを入力します。
42	曲線出力 アウト (0.1%)	QU 曲線から出る出力の割合。
43	cos φ (P) 曲線イネーブルビット	cosφ(P)カーブを ON にします。
44	n 点の出力(0.1%)	cosφ(P) 曲線に対応する出力のパーセンテージ。
45	n 点 cos φ値 (pf,0.001)	cosφ(P) カーブに対応する cosφ 値。
46	cosφ(P)曲線の応答時間定数	cosφ(P) 曲線が一次応答モードの場合の反応時間。
47	曲線電圧イン（0.1%）	cosφ(P) 曲線に入る電圧のパーセンテージ。
48	曲線電圧 アウト（0.1%）	cosφ(P) 曲線から出る電圧のパーセンテージ。
49	QP カーブマークイネーブルビット	P カーブマークを ON にします。
50	QP カーブ Pn	QP 曲線に対応する有効電力のパーセンテージ。
51	QP カーブ Qn	QP 曲線に対応する無効電力のパーセンテージ。
52	QP カーブ出力応答時間定数	QP 曲線が一次応答モードの場合の反応時間。

8.2.10.3. メーター

ステップ 1：「設備保守」>「パラメータ設定」>「メーター」設定画面に入ります。

ステップ 2：表示または設定したいメーターを選択してください。

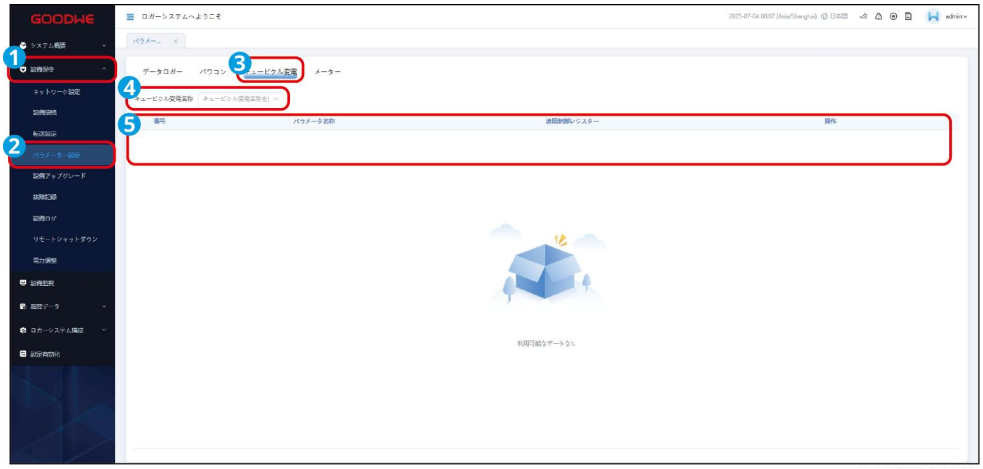
ステップ 3：表示または設定するパラメータをチェックし、「検索」をクリックすると、選択したパラメータの現在の値が確認します。変更する必要がある場合は、変更した値を入力して「設定」をクリックします。



EZU30CON0019

番号	パラメータ名	説明
1	CT 変換比率	CT の一次電流と二次電流の比率を設定します。
2	PT 比率	PT 一次電圧と二次電圧の比率を設定します。
3	配線方法	実際の状況に応じて電気メーターの配線方法を設定します。

8.2.10.4. キュービクル変電



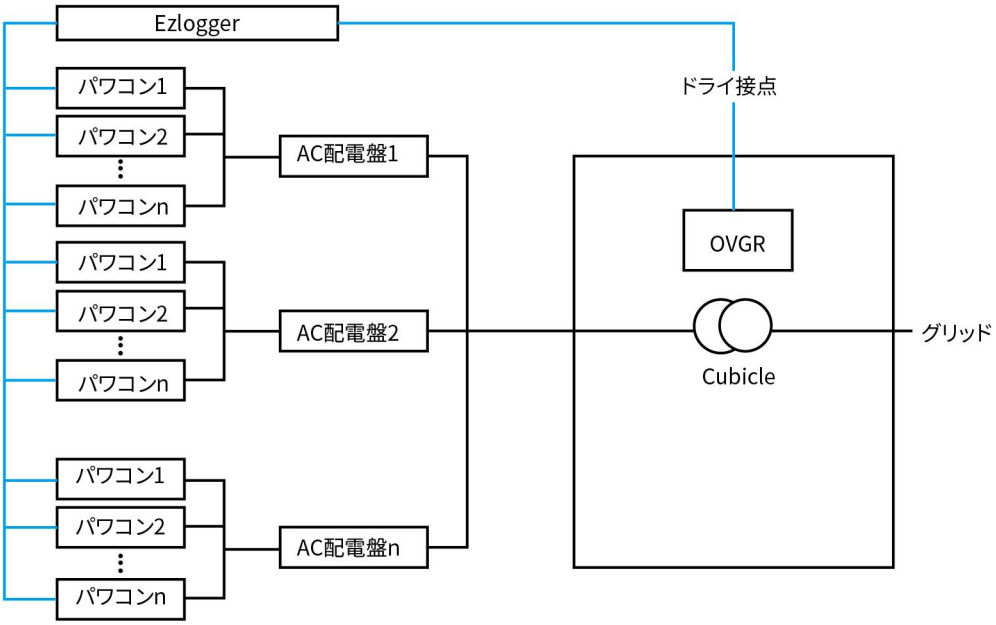
EZU30CON0020

8.2.11. リモートシャットダウン

8.2.11.1. OVGR と RPR

8.2.11.1.1. OVGR

日本およびその他エリアの規定に従って、OVGR を EzLogger の任意の DI に接続して、パワコンのリモートシャットダウンを実現します。



ステップ 1：「設備保守」>「リモートシャットダウン」>「OVGR&RPR」設定画面に入ります。

ステップ 2：「読み出し」をクリックして、現在の OVGR 状態を確認します。

ステップ 3：「接続ポート」をクリックし、実際の配線状況に応じて、メニューから Ezlogger に接続されているポートを選択します。

ステップ 4：電力会社および電気的要件に従って、「OVGR 接点初期状態」および「連系復帰方式」を選択します。OVGR 接点初期状態はデフォルトで常閉、連系復帰方式はデフォルトで手動となっています。

ステップ 5：「OVGR 機能スイッチ」をオンにします。

ステップ 6：再度「読み出し」をクリックして、現在の OVGR 状態を確認します。

EZU30CON0081

番号	パラメータ名	説明
1	OVGR 機能スイッチ	オン：設定を保存し、OVGR 機能を有効にします。
2	接続ポート	実際に EZLOGGER に接続ポートに応じて設定します。サポート: DI1、DI2、DI3、DI4。
3	OVGR 接点初期状態	OVGR 接点初期状態を設定します。常閉と常開をサポートします。
4	連系復帰方式	リモートシャットダウン機能が作動した後にパワコンが再起動すると、手動または自動で連系復帰できます。
5	復帰時間	**連系復帰方式**が自動に設定されている場合に使用できます。 OVGR が初期接点設定の状態に戻ると、パワコンは復帰時間後に自動的に

		連系復帰します。
6	連系復帰	● **連系復帰方式**が手動に設定されている場合に使用できます。パワコンが系統から切断された後に系統接続状態を復元する必要がある場合は、**連系復帰**ボタンをクリックしてください。 ● **連系復帰方式**を自動に設定すると、OVGR は初期接点設定時の状態に戻り、パワコンは自動的に系統連系します。 ● 手動で系統連系を復帰する際は、故障が解消されていることを確認してください。故障が残っている場合、正常に連系復帰できません。

8.2.11.1.2. RPR

日本およびその他の地域の要件に従って、RPR を Ezlogger の任意の DI ポートに接続し、パワコンのリモートシャットダウン制御を実現します。

ステップ 1：「設備保守」>「リモートシャットダウン」>「OVGR&RPR」設定画面に入ります。

ステップ 2：「読み出し」をクリックして、現在の RPR 状態を確認します。

ステップ 3：「接続ポート」をクリックし、実際の配線状況に応じて、メニューから EZLOGGER に接続されているポートを選択します。

ステップ 4：電力会社および電気的要件に従って、「RPR 接点初期状態」および「連系復帰方式」を選択します。RPR 接点初期状態はデフォルトで常閉、連系復帰方式はデフォルトで自動、復帰時間はデフォルト 300s となっています。

ステップ 5：「RPR 機能スイッチ」をオンにします。

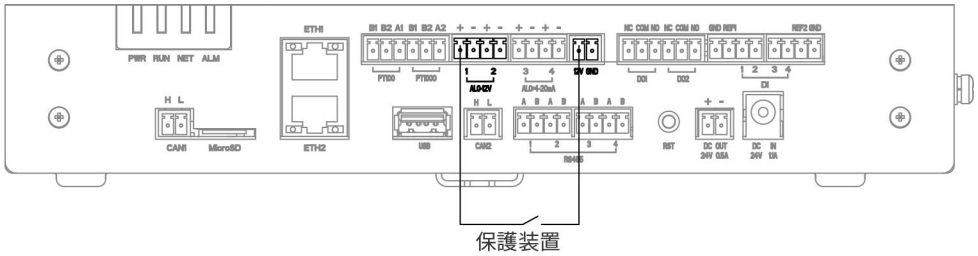
ステップ 6：再度「読み出し」をクリックして、現在の RPR 状態を確認します。

EZU30CON0009

番号	パラメータ名	説明
1	RPR 機能スイッチ	オン：設定を保存し、RPR 機能を有効にします。
2	接続ポート	実際に EZLOGGER に接続ポートに応じて設定します。サポート: DI1、DI2、DI3、DI4。
3	RPR 接点初期状態	RPR 接点初期状態を設定します。常閉と常開をサポートします。
4	連系復帰方式	リモートシャットダウン機能が作動した後にパワコンが再起動すると、手動または自動で連系復帰できます。
5	復帰時間	**連系復帰方式**が自動に設定されている場合に使用できます。 RPR が初期接点設定の状態に戻ると、パワコンは復帰時間後に自動的に連系復帰します。
6	恢复并网	● **連系復帰方式**が手動に設定されている場合に使用できます。パワコンが系統から切断された後に系統接続状態を復元する必要がある場合は、**連系復帰**ボタンをクリックしてください。 ● **連系復帰方式**を自動に設定すると、RPR は初期接点設定時の状態に戻り、パワコンは自動的に系統連系します。 ● 手動で系統連系を復帰する際は、故障が解消されていることを確認してください。故障が残っている場合、正常に連系復帰できません。

8.2.11.2. 一括シャットダウン

一部の国または地域の要件に従って、ワンキーシャットダウン機能を実装する必要がある場合は、保護装置を AI1+ または AI2+ ポートと Ezlogger の 12V 電源出力ポートに接続してください。



ステップ 1：「設備保守」>「リモートシャットダウン」>「一括シャットダウン」設定画面に入ります。

ステップ 2：実際のニーズに応じて、アクセスポートとポート状態の一括シャットダウンを設定します。

EZU30CON0044

番号	パラメータ名	説明
1	機能スイッチ	ワンボタンシャットダウン機能を有効または無効にします。
2	接続ポート	実際に Ezlogger に接続されているポートに応じて設定します。サポート: AI1 または AI2。
3	連系復帰	パワコンをシャットダウンした後に再起動して系統接続状態に戻す必要がある場合は、連系復帰ボタンをクリックしてください。

8.2.11.3. AC 障害検出

日本およびその他の地域の要件によると、系統接続ポイントの AC 電源が異常な場合、パワコンを系統に接続することは禁止されています。系統接続ポイントでの AC 電源の異常を検出するには、外部 AC 障害検出装置を Ezlogger の任意の DI ポートに接続してください。

ステップ 1：「設備保守」>「リモートシャットダウン」>「AC 障害検出」設定画面に入ります。

ステップ 2：実際のニーズに応じて、AC 障害検出接続ポートとポート状態を設定します。

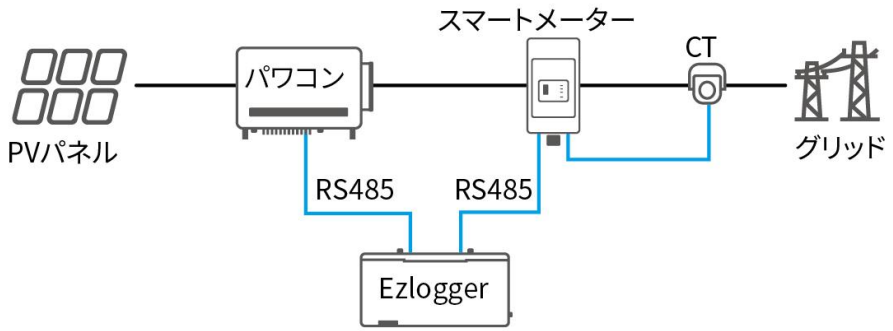
EZU30CON0015

番号	パラメータ名	説明
1	機能スイッチ	AC 障害検出機能を有効または無効にします。
2	接続ポート	実際に Ezlogger に接続されているポートに応じて設定します。サポート: DI1、DI2、DI3、DI4。
3	初期接点状態	ポートの初期接続状態を設定します。通常閉と通常開をサポートします。
4	連系復帰	オフラインになった後にパワコンを再起動して系統接続状態に戻す必要がある場合は、**連系復帰**ボタンをクリックしてください。

8.2.12. 電力調整

8.2.12.1. 出力制限

システム内のすべての負荷で発電電力を消費しきれない場合、余剰電力は電力系統に逆潮流されます。出力制限パラメータを設定することで、この逆潮流量を制御することができます。



ステップ 1：「設備保守」>「電力調整」>「出力制限」設定画面に入ります。

ステップ 2：「制御開始」をクリックし、有効にするに設定して、逆潮流保護機能をオンにします。

ステップ 3：「パワコン設置容量」の入力欄に、各パワコンの定格出力の合計値を入力します。

ステップ 4：「最大系統へ送電電力」の入力欄に、逆潮流上限電力を入力します。完全自家消費または RPR を使用する場合は「0」に設定してください。

ステップ 5：「詳細設定」をクリックします。

ステップ 6：詳細設定画面で「制限方法」をクリックし、プルダウンから実際の運用に応じた出力制御方式を選択します。

ステップ 7：「逆潮流保護処理方法」をクリックし、逆潮流が発生した際のパワコン保護方式を選択します。RPR で故障が発生し遮断できない場合でも、パワコンは一定時間内に保護動作を行います。「出力制限」を選んだ場合は、さらに逆潮流保護処理の出力割合（%）を設定できます。

ステップ 8：負荷の使用電力が頻繁に変動する、または変動幅が大きいユーザーは、オフセット値を設定することで逆潮流防止の精度を高めることができます。「最大系統へ送電電力オフセット値」に調整したいオフセット値を入力してください。

例：「-0.2kW」と設定すると、系統から 0.2kW を買電するようになります。

EZU30CON0042

番号	パラメータ名	説明
1	制御開始	逆潮流機能を有効または無効にします。
2	パワコン設置容量	システム内のパワコンの合計定格容量。
3	最大系統へ送電電力	一部の国または地域の要件に応じて、設備が電力系統に実際に入力できる最大電力を設定します。
4	制限方法	実際の状況に応じて設備の出力電力を制御する方法を選択します。 ● 総電力：系統連系点の総電力が出力電力制限値を超えないように制御します。 ● 単相電力：系統接続点における各相の電力が出力電力制限値を超えないように制御します。
5	逆潮流保護処理方法	システムに最大保護時間 (デフォルトは 5 秒) を超える逆潮流が発生した場合、次の保護対策を講じることができます。 ● 電力制限: 設備は定格電力のパーセンテージで動作を継続します。 ● 設備はオフラインです。
6	出力制限	機器は定格電力のパーセンテージで動作し続けます。
7	最大系統へ送電電力オフセット値	● 設備が実際に系統に入力できる最大電力の調整可能な範囲を設定します。 ● 系統に供給される最大電力 = 最大系統供給電力 + 最大系統供給電

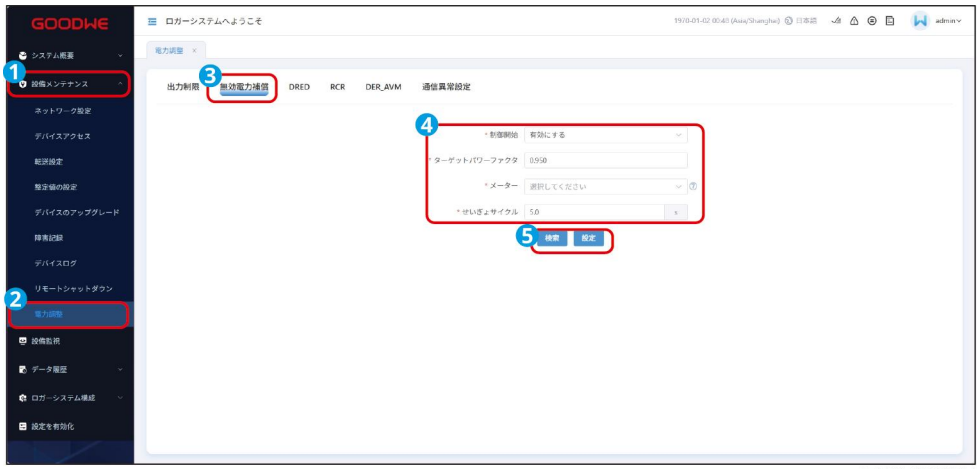
		力オフセット。
8	メーター通信異常処理	この機能を有効にすると、メーターと Ezlogger 一間の通信が異常な場合に保護対策が講じられます。
9	メーター異常処理方法	システムで異常なメーター通信が発生した場合、次の保護措置を講じることができます。 ● 電力制限: 設備は定格電力のパーセンテージで動作を継続します。 ● 設備はオフラインです。
10	メーター処理電力パーセント	機器は定格電力のパーセンテージで動作し続けます。

8.2.12.2. 無効電力補償

- 太陽光発電所が力率を調整して収益を最大化する場合、メーターが収集した連系点の電力データを取得し、設定値に基づいて太陽光システムの無効電力出力を調整し、接続点の力率を最適化できます。
- 単一のメーターを使用する太陽光システムのシナリオにのみ適用されます。

ステップ 1：「設備保守」>「電力調整」>「無効電力補償」設定画面に入ります。

ステップ 2：実際のニーズに応じてパラメータを設定します。



EZU30CON0041

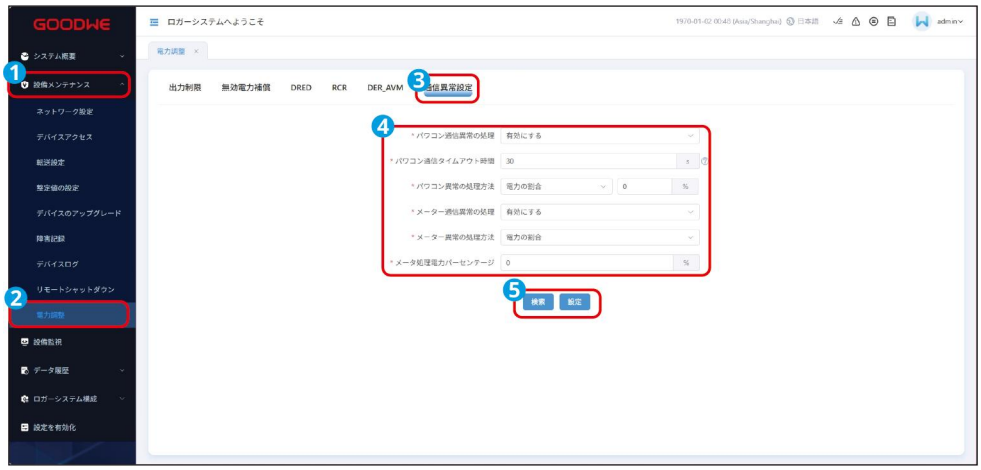
番号	パラメータ名	説明
1	起動制御制御開始	無効電力補償機能を有効／無効にします。

2	目標力率	実際のニーズに応じて、目標とする力率を設定します。
3	メーター	系統側電力計を選択します。システムは選択した電力計から連系点の電力データを取得します。現在サポートされているのは：GoodWe メーター、Acrel メーター（DTSD1352）です。
4	**調整周期：**	率値を検出する周期を設定します。一般的には 5 秒に設定します。

8.2.12.3. 通信異常設定

ステップ 1：設備保守>電力調整>通信異常設定設定画面に入ります。

ステップ 2：実際のニーズに応じて通信異常処理方法を設定します。



EZU30CON0039

番号	パラメータ名	説明
1	有効/無効	この機能を有効にすると、パワコンと Ezlogger 間の通信に異常があった場合に保護措置が取られます。
2	パワコン通信タイムアウト時間	パワコンと Ezlogger 間の通信異常が設定時間を超えた場合は、対応する保護対策を行ってください。
3	パワコン異常処理方法	パワコンと Ezlogger 間の通信異常が発生した場合、以下の保護措置を講じることができます。 ● 電力制限: 設備は定格電力のパーセンテージで動作を継続します。 ● 設備はオフラインです。
4	メーター通信異常処	この機能を有効にすると、メーターと Ezlogger 間の通信に異常があ

	理	った場合に保護措置が取られます。
5	メーター異常処理方法	メーターと Ezlogger 間の通信異常が発生した場合、以下の保護措置を講じることができます。 ● 電力制限: 設備は定格電力のパーセンテージで動作を継続します。 ● 設備はオフラインです。
6	メータ処理電力パーセンテージ	パワコンが設定された定格出力のパーセンテージで運転を継続します。

8.3. SolarGo アプリを使用してシステムを調整します

8.3.1. アプリのダウンロードとインストール

スマートフォン要件:

- スマートフォンの OS 要件：Android 5.0 以上，iOS 13.0 以上。
- ブラウザ機能が搭載されており、インターネットに接続可能である。
- WLAN/Bluetooth 機能が搭載されている。

方式一： Google Play（Android）または App Store（iOS）を開き、「SolarGo」と検索した後、アプリをダウンロードしたうえでインストールします。

方式二：以下の QR コードをスキャンして、アプリをダウンロードしたうえでインストールします。

8.3.2.　アプリにログインする

注記
● 接続する前に、確認してください。 　● スマートフォンの Wi-Fi がオンになっています。 　● システムの電源が入っており、データロガーとの通信が正常です。 　● データロガーのアンテナ接続は正常で、Wi-Fi ホットスポット信号は安定しています。 　● SolarGo アプリのシステムバージョンは V5.9.0 以上である必要があります。 ● アカウントの安全を確保するため、同じアカウントで Web と SolarGo アプリに同時ログインして設備を調整することはできません。

ステップ 1：スマートフォンの Wi-Fi 設定を開き、データロガーの Wi-Fi ホットスポット信号に接続します。

デフォルトの Wi-Fi ホットスポット名：Log-***（***はデータロガーのシリアル番号）

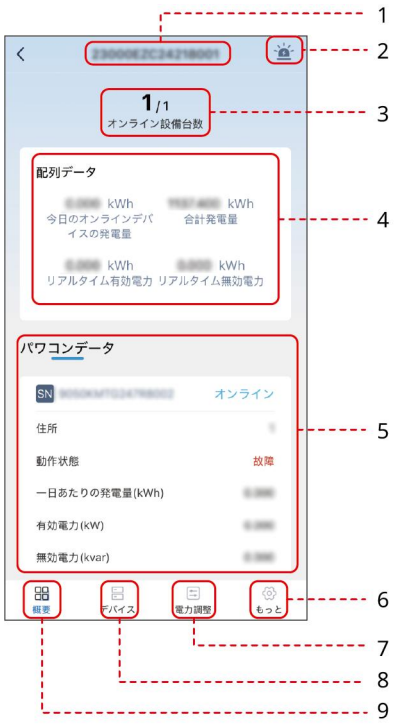
Wi-Fi のデフォルトパスワード：12345678"

ステップ 2：SolarGo アプリを開き、WLAN タブで設備を検索します。検索結果に表示された設備のシリアル番号を確認し、接続する設備を特定します。

ステップ 3：ユーザー名とパスワードを入力してアプリにログインします。 初期ユーザー名：**admin** 初期パスワード：**123456**

EZU30CON0058

8.3.3. アプリのインターフェース紹介



EZU30CON0059

番号	説明
1	現在接続されているデータ収集器のシリアル番号。
2	設備の故障情報。リアルタイムの故障と履歴の故障を確認することができます。
3	現在のシステムにおけるオンライン設備の数。
4	システムの発電データ。
5	パワコンーに関連するデータ（例：設備のシリアル番号、動作状態、発電データなど）。
6	その他。ネットワーク設定、データ収集器のセキュリティ情報、システム時間などを設定します。
7	出力調整。リモート出力調整機能を設定します。例えば、リモートシャットダウン、DRED、RCR などの機能を設定できます。
8	設備。システムのネットワーク設定、設備の追加、削除、設定、設備情報の確認などを行います。
9	総覧。クリックすると、システムの総覧情報（オンライン設備の数、システムの発電データ、パワコンーデータなど）を確認できます。

8.3.4. 発電システムを構築

8.3.4.1. 自動検索で設備追加

注記
● 自動検索で第三者設備（例：第三者のメーター）が検出できない場合は、手動で追加してネットワークに組み込んでください。 ● ネットワーク化が成功した後、検索されなかった設備を追加する必要がある場合は、「設備接続」から設備を追加できます。

ステップ 1：「設備」>「ネットワーク化設定」からネットワーク設定画面に入ります。

ステップ 2：検索を開始するには、「開始検索」をクリックします。検索結果に表示された設備の数がシステムの実際の設備数と一致した場合、「検索停止」をクリックします。もし設備の数が常に実際の数と一致しない場合は、設備の RS485 接続が正常であるかを確認してください。

ステップ 3：画面に「一括アドレス割り当て」の確認が表示されます。実際のニーズに応じて「確認」または「キャンセル」を選択してください。「キャンセル」をクリックした場合は、設備の端末アドレスを手動で設定する必要があります。設備の端末アドレスが重複しないようにしてください。

ステップ 4：RS485 ネットワーク設定画面でネットワークに接続された設備情報を確認し、「設定」>「確認」>「即時適用」>「設定完了」をクリックして設定を適用します。

ステップ 4：をクリックし、画面の確認ダイアログで「確認」をクリックしてネットワーク構築を完了します。設定が反映されると Ezlogger が再起動するため、画面の指示に従って再度ログインしてください。

EZU30CON0060

8.3.4.2. 手動で設備追加

注記
設備を手動で追加する場合は、事前に設備型番、設備 SN、設備が接続されている通信ポートなどの情報を確認してください。これらの情報が不完全な場合、追加に失敗する可能性があります。

ステップ 1：設備> 設備追加画面に進みます。

ステップ 2：設備追加画面で、実際のニーズに応じて追加するせタイプを選択し、対応する設備情報を入力します「設定」ボタンをクリックして、設備の追加を完了します。

EZU30CON0067

パワコンの追加

番号	パラメータ名	説明
1	設備名称	パワコン名をカスタマイズすることが可能、実際の状況に応じて名前を付けてください。
2	設備タイプ	「パワコン」を選択してください。
3	通信プロトコル	パワコンの通信プロトコルにより設定、Modbus-RTU 選択可能。
4	通信ポート	EzLogger に接続した実際のポートに応じて設定します。
5	設備型番	実際接続したパワコンを設定できます。異なる機種のパワコンが同じポートに接続できます。 UT と HT(225～250kW)、または GT、HT(100～136kW)、SMT(25～60kW)、SMT (80kW)、SMT-US、SDT-G3、SDT-G2 を同じ RS485 回路に入れることが可能。
6	端末アドレス	● パワコン IP アドレスです。実際の発電所状況に合わせて、複数台のパワコンを一括で設定することも可能。実際状況に基づいて設定する必要がない場合は、自動的に生成することを選択できます。通信アドレスが SolarGo アプリ内のアドレスと一致していることを確認してください。 ● 異なる設備のアドレスが重複しないようにしてください。

メーターの追加

番号	パラメータ名	説明
1	設備名称	メーター名をカス“タマイズすることが可能、実際の状況に応じて名前を付けてください。
2	設備タイプ	「メーター」を選択してください。
3	通信プロトコル	メーターの通信プロトコルにより設定、Modbus-RTU 選択可能。
4	通信ポート	EzLogger に接続した実際のポートに応じて設定します。現在、RS485-1～RS485-4 に対応しています。
5	設備型番	● Modbus-RTU プロトコルで通信するメーターを使用する場合、表示されます。 ● 実際に接続するメーターの型式に合わせて設定してください。選択可能な機種：GoodWe メーター (GM330)、Schneider-IEM3255、Janitza-UMG604、PRISMA-310A Lite/ 310A*、MIKRO-DPM680、Mitsubishi-ME110SS、IRA 2.0-Bf、Acrel-DTSD1352-CT その他。
6	メーターの用途	メーターの実際の使用用途に合わせて選択。系統側メーターまたは連系点メーターが選択可能。 ● 系統側メーター: 逆潮流防止に使用されます。選択可能の機種：GoodWe スマートメーター (GM330)。 ● 連系点メーター: 計測に使用されます。選択可能の機種：Schneider-IEM3255。 ● システムに複数のメーターを接続して逆潮流防止を行う場合、すべての逆潮流防止用メーターを系統側メーターとして設定してください。
7	終端地址	● メーターの設備アドレスは実際の発電所計画に応じて設定されます。実際の設定に基づいて設定する必要がなければ、自動的に生成することを選択できます。 ● メーターアドレスとパワコンアドレスを同一アドレスに設定しないでください。
8	接続レジスタ	実際の状況に応じて接続レジスタを選択します

他設備の追加

番号	パラメータ名	説明
1	設備名称	設備名をカスタマイズすることが可能、実際の状況に応じて名前を付けてください。
2	設備タイプ	他の設備を選択してください。
3	通信プロトコル	設備の通信プロトコルより設定、Modbus-RTU、Modbus-TCP、GW-XPH 及び 104 master は選択可能。
4	通信ポート	EzLogger に接続された実際のポートに応じて設定します。現在、RS485-1～RS485-4 に対応しています。
5	設備型番	設備型番を選択します。環境監視装置、キュービクル変電、その他が選択可能です。
6	キュービクル変電サブタイプ	キュービクル変電を選択する場合はキュービクル変電サブタイプは通常型また分散型に設定できます。
7	端末 IP アドレス	設備アドレスは実際の発電所計画に応じて設定されます。 異なる設備のアドレスが重複しないようにしてください。
8	プロトコルタイプ	設備に応じて、使用するプロトコルの種類を選択します。
9	接続レジスタ	追加設備のアクセスポイントテーブルを導入します。
10	IEC104 転送	追加された設備の転送ポイント テーブルに基づいて選択します。
11	Modbus-TCP 転送	追加された設備の転送接続レジスタに基づいて選択します。

8.3.5. パワコンパラメータ

注記
● パワコンの型番によって設定が必要なパラメータは異なります。実際の画面を基準にしてください。

- 複数台のパワコンを選択し、選択した複数台のパワコンに対して同時にパラメータ設定を行うことができます。
- 機能の有効／無効を切り替える際は、「0」または「1」を入力してください。「0」は機能無効、「1」は機能有効を意味します。
- 初回設定時は、まず系統コードを確認して設定してください。設定後はむやみに変更しないでください。系統コードを設定すると、パワコンの系統整定値設定、基本設定、特性パラメータ設定、電力調整設定がデフォルト値として装置に読み込まれます。パラメータを変更する場合は、必ず現地の法規制に従って設定してください。

ステップ 1：「設備」> >「整定値の設定」 パラメータ設定画面に入ります。

ステップ 2：設備タイプおよびパワコンの SN を選択し、「確認」をクリックします。

ステップ 3：確認したいパラメータを 1 つまたは複数選択し、「読み出し」をクリックすると、選択したパラメータの現在値を確認できます。

ステップ 4：パラメータを変更する場合は、変更したいパラメータを 1 つまたは複数選択し、「パラメータ変更」をクリックしてパラメータ設定画面に入ります。変更値を入力後、「設定」をクリックします。

系統整定値設定

系統整定値では、連系保護の OVR、UVR、OFR、UFR の設定が可能です。系統コードを設定すると、これらの整定値には初期値が自動的に設定されます。特別な要件がない限り、通常は変更しません。変更が必要な場合は、事前に電力会社に協議してください。

番号	パラメータ名	説明
1	系統コード	パワコンが設置されている国/地域エリア電力系統規格およびパワコンの応用シーンに応じて設定します。
2	出力モード	パワコンの応用シーンに応じて、パワコンの出力に N 線があるかを設定します。 0 は三相三線式(3W)、1 は三相四線式(3W/N)を意味します。

3	系統不足電圧 UVR 保護	電力系統の不足電圧保護ポイントを設定します。
4	系統不足電圧 UVR 保護時限	電力系統の不足電圧保護時間を設定します。
5	系統過電圧 OVR 保護	電力系統の過電圧保護ポイントを設定します。
6	系統過電圧 OVR 保護時限	電力系統の過電圧保護時間を設定します。
7	系統周波数低下 UFR 保護	電力系統の周波数低下保護ポイントを設定します。
8	系統周波数低下 UFR 保護時限	電力系統の周波数低下保護時間を設定します。
9	系統周波数上昇 OFR 保護	電力系統の周波数上昇保護ポイントを設定します。
10	系統周波数上昇 OFR 保護時限	電力系統の周波数上昇保護時間を設定します。
11	起動時系統連系待機時間	パワコンが電源投入して初めて系統連系する時、設備が起動までの待ち時間を設定します。
12	復帰後再投入時間	系統電圧と周波数が正常に戻ったら、パワコンが系統に再連系するまでの待ち時間。
13	起動時系統連系電圧下限	該当国/地域の基準より、初めて系統連系するパワコンは、系統電圧がこの上限値より高い場合連系できません。
14	起動時系統連系電圧上限	該当国/地域の基準より、初めて系統連系するパワコンは、系統電圧がこの下限値より低い場合系統連系できません。
15	起動時系統連系周波数下限	該当国/地域の基準より、初めて系統連系するパワコンは、系統周波数がこの上限値より高い場合系統連系できません。
16	起動時系統連系周波数上限	該当国/地域の基準より、初めて系統連系するパワコンは、系統周波数がこの下限値より低い場合系統連系できません。

17	復帰後再連系電圧下限	該当国/地域の基準では、故障保護によりパワコンがシャットダウンした後、系統電圧がこの電圧上限値より高ければ、パワコンが再連系できません。
18	復帰後再連系電圧上限	該当国/地域の基準では、故障保護によりパワコンがシャットダウンした後、系統電圧がこの電圧下限値より低ければ、パワコンが再連系できません。
19	復帰後再連系周波数下限	該当国/地域の基準では、故障保護によりパワコンがシャットダウンした後、系統電圧がこの周波数の上限値より高ければ、パワコンが再連系できません。
20	復帰後再連系周波数上限	該当国/地域の基準では、故障保護によりパワコンがシャットダウンした後、系統周波数がこの周波数の下限値より低ければ、パワコンが再連系できません。
21	能動的単独運転防止機能設定	能動的単独運転防止機能を有効または無効にします。
22	受動的単独運転防止機能設定	受動的単独運転防止機能を有効または無効にします。
23	周波数フィードバック注入の最大無効電力に対する最小周波数	周波数フィードバック注入の最大無効電力に対する最小周波数を設定します。
24	周波数フィードバック注入の最大無効電力に基準値（P.U.）	周波数フィードバック注入の最大無効電力に基準値（P.U.）を設定します。
25	電圧上昇抑制保護値（有効電力）	電圧上昇抑制保護値（有効電力）を設定します。
26	電圧上昇抑制保護値（無効電力）	電圧上昇抑制保護値（無効電力）を設定します。

基本設定

番号	パラメータ名	説明
1	起動電圧	パワコン'の起動を許容する電圧値
2	起動（連系自己診断許可）	電源投入指令を出して、系統連系前のセルフテストを許可します。
3	シャットダウン（連系自己診断不可）	電源開放指令を出して、系統連系のセルフテストを停止します。
4	再起動	パワコンを再起動させる指令
5	故障後の手動·自動復帰設定	「0」の場合、パワコンは故障発生後に手動で復旧する必要があります。「1」の場合、パワコンは故障発生後に自動的に復旧します。
6	過電圧発動の N 次値 (0.1%)	電力系統の N レベル過電圧保護ポイントを設定します。
7	過電圧トリガの N 次動作時間	グリッド N レベル過電圧保護時間を設定します。
8	電圧低下トリガー N 次値 (0.1%)	電力系統の N レベル不足電圧保護ポイントを設定します。
9	電圧低下トリガの N 次動作時間	グリッド N レベル不足電圧保護時間を設定します。
10	10 分間過電圧トリガー値(0.1%)	10 分間の過電圧保護ポイントを設定します。
11	10 分間の過電圧トリップ時間	過電圧保護時間を 10 分間に設定します。
12	周波数上昇トリガの N 次トリップ時間	電力系統の N レベルの過周波数保護ポイントを設定します。
13	周波数上昇トリガの N 次トリッピング時間	グリッド N レベルの過周波数保護時間を設定します。
14	周波数低下トリガ N 次値	電力系統の N レベル不足周波数保護ポイントを設定します。

15	周波数低下トリガ N 次トリップ時間	電力系統の N レベル不足周波数保護時間を設定します。
16	起動時の系統接続電力負荷率 (0.1%Pn/分)	パワコンが電源投入して初めて系統連系する時、起動時から出力の上昇率を設定します。
17	系統再接続出力上昇率（0.1%Pn/min）	該当国または地域の要件に従って、初回系統連系以外にパワコンが 1 分間あたりの出力増加率。 例: 10 に設定すると、再連系時の出力上昇率が 10%P/Srated%% ということです。
18	LVRT 機能有効化ビット	LVRT、電力系統が異常で短期間に低電圧に陥った場合、パワコンは電力系統からすぐに切り離さず一定期間内の運転維持が必要です。この機能を有効にすると、パワコンの LVRT 機能がオンになります。
19	LVRT 深さ n	LVRT 曲線の特性点の電圧パーセンテージを設定します。
20	LVRT 持続時間 n	LVRT 曲線の特性点の継続時間を設定します。
21	LVRT 作動閾値	LVRT を作動させる閾値を設定します。閾値設定は、地域の電力系統標準に準拠する必要があります。
22	LVRT 終了閾値	LVRT が終了させる閾値を設定します。閾値設定は、地域の電力系統標準に準拠する必要があります。
23	LVRT 正相無効電力 K 値	LVRT 発動時、パワコンは電力系統を安定化させるために正方向無効電力を出力する必要があります。このパラメータは、パワコンが出力する正方向無効電力の大きさを設定します。
24	LVRT ゼロ電流モード有効化ビット	該当国/地域規格には、LVRT 時の出力電流に関する要件があります。このパラメータを有効にすると、LVRT 時のパワコンの出力電流は定格電流の 10% 以下になります。
25	LVRT ゼロ電流モード移行電圧閾値	LVRT ゼロ電流モードが有効になった場合、LVRT の時、系統電圧がこの設定値より低ければ、ゼロ電流モードに移行します。
26	HVRT 有効化ビット	HVRT とは、電力系統が異常で短期間に高電圧になった場合、パワコンが電力系統からすぐに切り離さず、一定期間内の運転維持が必要です。この機能を有効にすると、パワコンのＨＶＲＴ機能がオンになり

		ます。
27	HVRT 深さ n	HVRT 曲線の特性点の電圧パーセンテージを設定します。
28	HVRT 持続時間 n	HVRT 曲線の特性点の継続時間を設定します。
29	HVRT 作動閾値	HVRT を作動させる閾値を設定します。閾値設定は、地域の電力系統標準に準拠する必要があります。
30	HVRT 終了閾値	HVRT が終了させる閾値を設定します。閾値設定は、地域の電力系統標準に準拠する必要があります。
31	HVRT 正相無効電力 K 値	HVRT 発動時、パワコンは電力系統を安定化させるために正方向無効電力を放出する必要があります。このパラメータは、パワコンが出力する正方向無効電力の大きさを設定します。
32	HVRT ゼロ電流モード有効化ビット	該当国/地域規格には、HVRT 時の出力電流に関する要件があります。このパラメータを有効にすると、HVRT 時のパワコンの出力電流は定格電流の 10% 以下になります。
33	HVRT ゼロ電流モード移行電圧閾値	HVRT ゼロ電流モードが有効になった場合、HVRT の時、系統電圧がこの設定値より高ければ、ゼロ電流モードに移行します。
34	電流分配モード	無効電流と有効電流の分配モードを設定します。 「0」 は無効電力優先で、「1」 は有効電力優先です。「2」 は定常電流モードを表します。
35	FRT 終了時の有効電力復帰モード	FRT 終了時の有効電力回復モードです。スロープ復帰、一次ローパスフィルター復帰、要件なし復帰、などのモードに対応しています。 「0」 はオフ、「1」 はスロープ応答を表します。 「2」 は時定数、「3」 は応答時間を表します。
36	FRT 終了時の有効電力復帰率	FRT から復帰中、有効電流は FRT 前の時点の有効電流に復帰する速度。
37	FRT 終了時の有効電力復帰一次ローパスフィルタリング	FRT から復旧後、有効電流は 1 次ローパス フィルタリングの特性応答で復帰します

38	FRT 終了時の無効電力回復モード	FRT から復旧後、無効電流回復方法はスロープ回復、一次ローパス フィルター回復、要求なしを対応可能。 0 はオフを表し、1 は傾斜応答を表し、3 は応答時間を表します。
39	FRT 終了時の無効電力回復率	FRT から復旧後、無効電流はスロープ値に従って回復します。
40	FRT 終了時の無効電力無効電力回復用の一次ローパスフィルター	FRT から復旧後、無効電流は一次ローパスフィルターの特性応答によって回復します。
41	周波数スルー有効化ビット	周波数スルーを有効にすると、系統周波数が異常な場合でも、パワコンは指定した時間内に発電を継続します
42	N 次不足周波数スルー周波数値_UF n	電力系統周波数低下時スルー開始閾値を設定します。
43	N 次不足周波数スルー持続時間_UT n	電力系統周波数低下時スルー時間を設定します。
44	N 次過周波数スルー周波数値_OFn	電力系統周波数上昇時スルー開始閾値を設定します。
45	N 次過周波数スルー持続時間_OTn	電力系統周波数上昇時スルー時間を設定します

特性パラメータ設定

番号	パラメータ名	説明
1	雷保護モジュール検出スイッチ	雷保護モジュール検出機能を有効または無効にします。
2	ISO 阈值设置	为保护设备安全，逆变器启动自检时会检测输入侧对地的绝缘阻抗。若检测值低于 ISO 阈值设置，则逆变器不并网。
3	シャッドー MPPT 機能スイッチ 1	太陽光発電パネルのストリングに明らかに影がかかっている場合、この機能が有効にすると、パワコンは定期的に MPPT スキャンを行い

		最大電力値を見つけ出します。
4	出力制御調整時間	出力制御機能を使用する際に、出力制御調整時間を確認するための項目です。変更は推奨されません。変更する場合は、電力会社にご相談ください。
5	出力制御設定（出力%）	出力制御機能を使用する際に、出力制御電力を確認するための項目です。変更は推奨されません。変更する場合は、電力会社にご相談ください。
6	欧州一括シャットダウンスイッチ	欧州一括シャットダウン機能を有効／無効にします。
7	PID 防止機能スイッチ	PID 防止機能を ON/OFF にします。
8	PID 修復機能スイッチ	PID 修復機能を ON/OFF にします。
9	NPE 電圧過電圧障害検出スイッチ	NPE 電圧過電圧障害検出機能を ON/OFF にします
10	N-PE エラー閾値	N-PE 過電圧故障閾値
11	有効電力調整 ローパス フィルター時間パラメータ	有効電力調達のローパス フィルター時間パラメータを設定します。
12	無効電力調整 ローパス フィルター時間パラメータ	無効電力調整のローパス フィルター時間パラメータを設定します。

電力調整設定

序号	参数名称	说明
1	皮相電力の最大値	パワコンが出力可能な最大皮相電力を設定します。
2	有効電力の最大値	パワコンが出力可能な最大有効電力を設定します。

3	無効電力補償（PF）	パワコンの力率を設定します。
4	有効電力スケジューリング応答方式	有効電力スケジューリング応答方式を設定します。サポート:スロープモードまたは 1 次ローパスフィルターモード。 「0」: 無効。「1」はスロープ モード。「2」は 1 次ローパス時定数。「3」は 1 次ローパス応答時間
5	有効電力変化勾配	パワコン有効電力の変化率を設定します。
6	有効電力固定値ディレーティング	パワコンの有効電力出力を固定値に従って調整します。
7	有効電力ディレーティング パーセンテージ(0.1%)	パワコンの有効電力出力を定格電力のパーセンテージで調整します。
8	無効電力スケジューリング応答方式	無効電力スケジューリング応答方式を設定する。サポート:スロープモードまたは 1 次ローパスフィルターモード。 「0」:無効；「1」：スロープモード；「2」一次ローパス時間定数；「3」：一次ローパス応答時間。
9	無効電力補償(Q/S)	パワコン出力の無効電力を設定します。
10	無効電力補償固定値	固定値に従ってパワコンの無効出力電力を調整します。
11	無効電力変化勾配	パワコン無効電力の変化率を設定します。
12	夜間無効電力機能スイッチ	夜間無効電力補償機能を有効または無効にします。一部の応用シーンでは、電力会社は、ローカル電力系統の力率が基準に満たさせるために、夜間無効電力補償を実行するようパワコンに要求します。
13	夜間無効電力パラメータ有効か	この設定が有効すると、パワコンは夜間無効電力補償固定値の設定値に従って無効電力を出力し、そうでない場合は、パワコンはリモート指令に従って無効電力を出力します
14	夜間無効電力調達率（0.1%）	夜間に無効電力補償を行う時、無効電力はパーセントで供給されます。
15	夜間無効電力補償の	夜間に無効電力補償を行う時、無効電力は固定値で供給されます。

	固定値	
16	周波数上昇閾値	該当国/地域の基準では、系統周波数が当閾値を超える場合、パワコンが有効電力を下げる必要があります。
17	周波数上昇パワースロープ(Slope)	Slope モードでは、系統周波数が過周波数点を超えると、パワコンによる有効電力のディレーティングの傾き。
18	P(F) カーブを有効する	過周波数が発生する時のディレーティングを ON/OFF にします。
19	周波数低下閾値	該当国/地域の基準では、系統周波数が不足周波数閾値より低い場合、パワコンによる有効電力出力を増加する必要があると規定しています。
20	電力回復スロープ	電力回復スロープを設定して、過周波数から復旧後の出力上昇率。
21	周波数ヒステリシス点	過周波数ヒステリシス関数の周波数対応点。
22	沈黙時間	過周波数ヒステリシス機能の沈黙時間。
23	周波数上昇終了値	過周波数ディレーティングが終了時の周波数を設定します。
24	基準出力（スロープ）	スロープモードでは、系統周波数が周波数超過点を超えると、パワコンが出力する有効電力のディレーティング変化スロープの電力基準値が使用されます
25	周波数ヒステリシス点	不足周波数ヒステリシス関数の周波数対応点。
26	出力復旧のスロープ	不足周波数現象が終了後の出力復旧のスロープ。
27	不足周波数の終点	不足周波数時の出力上昇が終わる周波数を設定します。
28	基準出力（(Slope)）	スロープモードでは、系統周波数が不足周波数点より低い場合、パワコンは有効電力のディレーティング変化スロープの電力基準値。
29	不足周波数出力スロープ (Slope)	スロープモードでは、系統周波数が周波数不足点よりも低い場合、パワコン出力有効電力ディレーティングの傾き。
30	沈黙時間	不足周波数ヒステリシス機能により沈黙時間。

31	PU カーブの有効化	PU カーブを ON にします。
32	Vn 電圧値(0.1%)	PU カーブに対応する電圧パーセンテージを設定します。
33	Vn 有効電力値(0.1%)	PU カーブに対応する出力パーセンテージを設定します。
34	PU カーブ出力応答モード	PU カーブ出力の応答モードを設定します。対応可能: スロープ モードまたは一次応答モード。
35	PU カーブ出力変化率	PU カーブの出力応答モードがスロープモードの場合、対応する出力変化スロープを設定します。
36	PU 曲線の応答時間パラメータ	PU カーブ出力の応答モードが 1 次応答モードの場合、対応する応答時間を設定します。
37	QU 曲線有効か	QU カーブをオン/オフスイッチ
38	Vn 電圧値(0.1%)	QU 曲線に対応する電圧パーセンテージを設定します。
39	Vn 有功値(0.1%)	设置 QU 曲线对应的有功功率百分比。
40	QU カーブ応答時間パラメータ	QU 曲線の一次応答モードに対する反応時間。
41	曲線出力イン（0.1%）	QU 曲線の出力パーセントを入力します。
42	曲線出力 アウト (0.1%)	QU 曲線から出る出力の割合。
43	cos φ (P) 曲線イネーブルビット	cosφ(P)カーブを ON にします。
44	n 点の出力(0.1%)	cosφ(P) 曲線に対応する出力のパーセンテージ。
45	n 点 cos φ値 (pf,0.001)	cosφ(P) カーブに対応する cosφ 値。
46	cosφ(P)曲線の応答時間定数	cosφ(P) 曲線が一次応答モードの場合の反応時間。
47	曲線電圧イン（0.1%）	cosφ(P) 曲線に入る電圧のパーセンテージ。

48	曲線電圧 アウト（0.1%）	cosφ(P) 曲線から出る電圧のパーセンテージ。
49	QP カーブマークイネーブルビット	P カーブマークを ON にします。
50	QP カーブ Pn	QP 曲線に対応する有効電力のパーセンテージ。
51	QP カーブ Qn	QP 曲線に対応する無効電力のパーセンテージ。
52	QP カーブ出力応答時間定数	QP 曲線が一次応答モードの場合の反応時間。

8.3.6. メーターパラメータ

ステップ 1：「設備」> メーター追加管理画面に入ります。

ステップ 2：［パラメータ·アイテム設定へ移動］をクリックし、設定する必要があるパラメータを選択します。

ステップ 3：「読み出し」をクリックして現在の設定値を取得するか、「設定」をクリックしてパラメータ設定を行います。

ステップ 4：パラメータを変更する場合は、変更したいパラメータを 1 つまたは複数選択し、「パラメータ変更」をクリックしてパラメータ設定画面に入ります。変更値を入力後、「設定」をクリックします。

EZU30CON0066

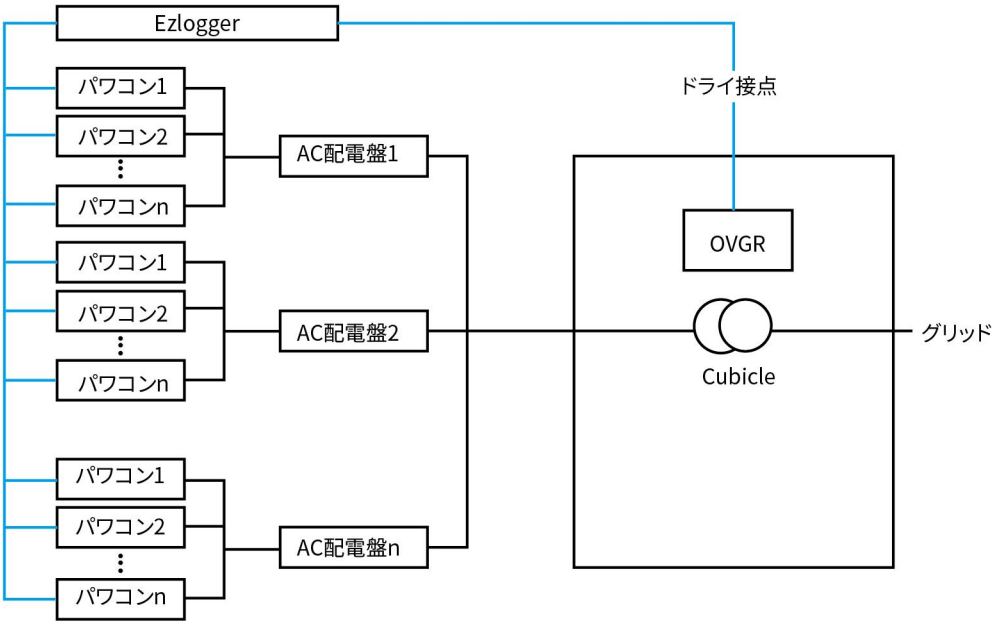
番号	パラメータ名	説明
1	CT 変換比率	CT の一次電流と二次電流の比率を設定します。
2	PT 比率	PT 一次電圧と二次電圧の比率を設定します。
3	配線方法	実際の状況に応じて電気メーターの配線方法を設定します。

8.3.7. 電力調整パラメータ

8.3.7.1. OVGR&RPR

8.3.7.1.1. OVGR

日本およびその他エリアの規定に従って、OVGR を EzLogger の任意の DI に接続して、パワコンのリモートシャットダウンを実現します。

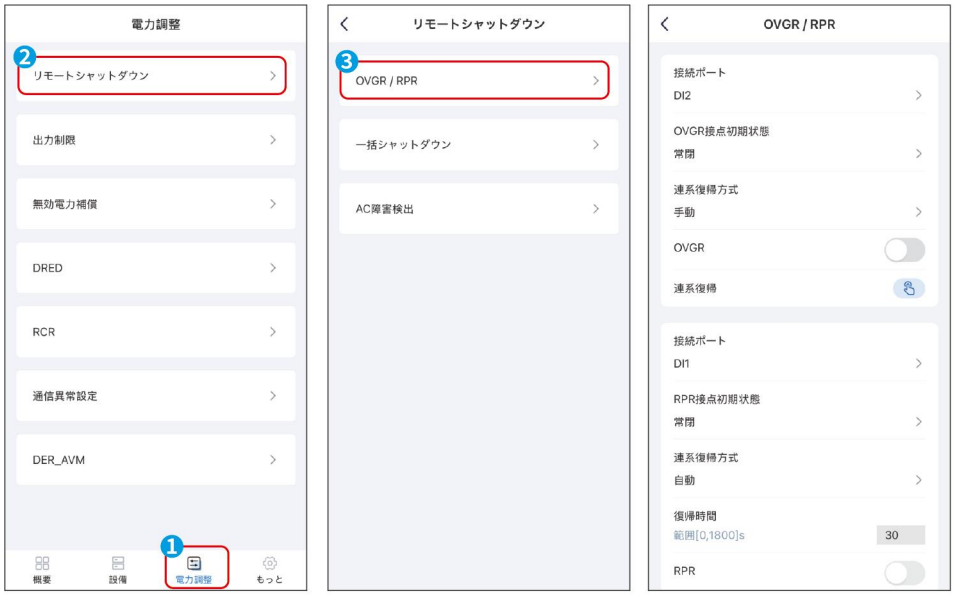


ステップ 1：「電力調整」>「リモートシャットダウン」>「OVGR&RPR」設定画面に入ります。

ステップ 2：「接続ポート」をクリックし、実際の配線状況に応じて、メニューから Ezlogger に接続されているポートを選択します。

ステップ 3：電力会社および電気的要件に従って、「OVGR 接点初期状態」および「連系復帰方式」を選択します。OVGR 接点初期状態はデフォルトで常閉、連系復帰方式はデフォルトで手動となっています。

ステップ 4：「OVGR」をオンにします。



EZU30CON0063

番号	パラメータ名	説明
1	接続ポート	実際に EZLOGGER に接続ポートに応じて設定します。サポート: DI1、DI2、DI3、DI4。
2	OVGR 接点初期状態	OVGR 接点初期状態を設定します。常閉と常開をサポートします。
3	連系復帰方式	リモートシャットダウン機能が作動した後にパワコンが再起動すると、手動または自動で連系復帰できます。
4	復帰時間	**連系復帰方式**が自動に設定されている場合に使用できます。 OVGR が初期接点設定の状態に戻ると、パワコンは復帰時間後に自動的に連系復帰します。
5	OVGR	オン：設定を保存し、OVGR 機能を有効にします。
6	連系復帰	● **連系復帰方式**が手動に設定されている場合に使用できます。パワコンが系統から切断された後に系統接続状態を復元する必要がある場合は、**連系復帰**ボタンをクリックしてください。 ● **連系復帰方式**を自動に設定すると、OVGR は初期接点設定時の状態に戻り、パワコンは自動的に系統連系します。 ● 手動で系統連系を復帰する際は、故障が解消されていることを確認し

		てください。故障が残っている場合、正常に連系復帰できません。

8.3.7.1.2. RPR

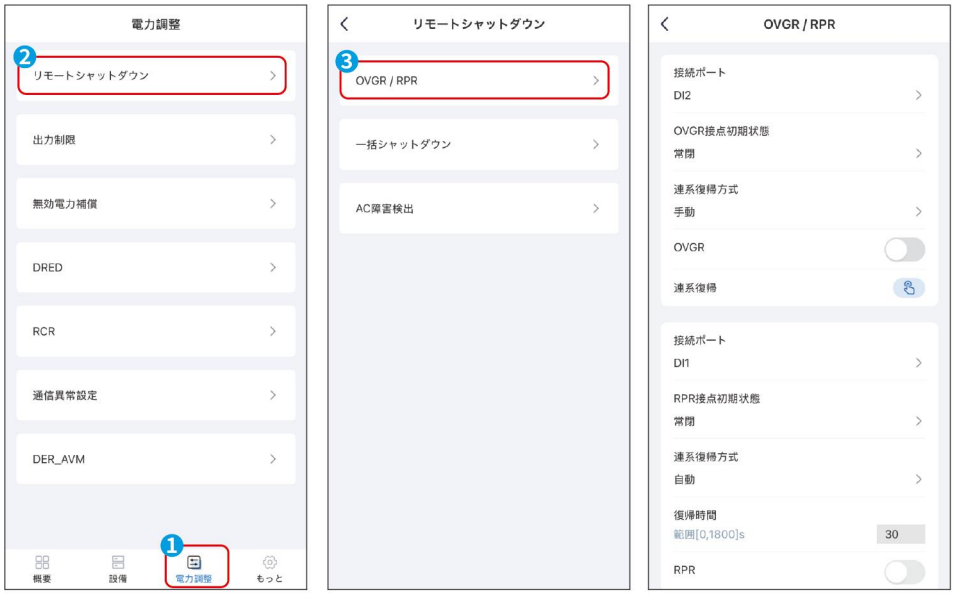
日本およびその他の地域の要件に従って、RPR を Ezlogger の任意の DI ポートに接続し、パワコンのリモートシャットダウン制御を実現します。

ステップ 1：「電力調整」>「リモートシャットダウン」>「OVGR&RPR」設定画面に入ります。

ステップ 2：「接続ポート」をクリックし、実際の配線状況に応じて、メニューから Ezlogger に接続されているポートを選択します。

ステップ 3：電力会社および電気的要件に従って、「OVGR 接点初期状態」および「連系復帰方式」を選択します。RPR 接点初期状態はデフォルトで常閉、連系復帰方式はデフォルトで自動、復帰時間はデフォルト 300s となっています。

ステップ 4：「RPR」をオンにします。



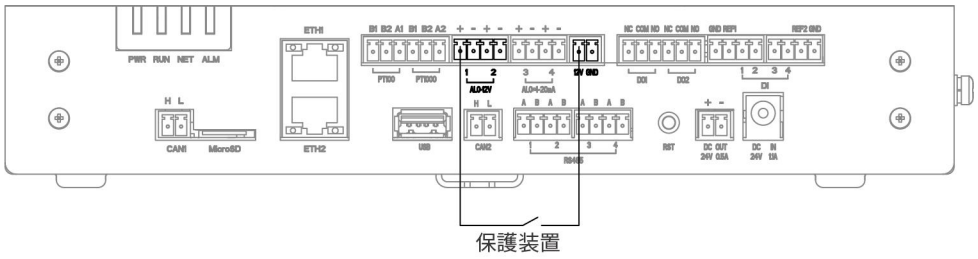
EZU30CON0063

番号	パラメータ名	説明
1	接続ポート	実際に EZLOGGER に接続ポートに応じて設定します。サポート: DI1、DI2、DI3、DI4。
2	RPR 接点初期	RPR 接点初期状態を設定します。常閉と常開をサポートします。

	状態	
3	連系復帰方式	リモートシャットダウン機能が作動した後にパワコンが再起動すると、手動または自動で連系復帰できます。
4	復帰時間	**連系復帰方式**が自動に設定されている場合に使用できます。 RPR が初期接点設定の状態に戻ると、パワコンは復帰時間後に自動的に連系復帰します。
5	RPR	オン：設定を保存し、RPR 機能を有効にします。
6	恢复并网	● **連系復帰方式**が手動に設定されている場合に使用できます。パワコンが系統から切断された後に系統接続状態を復元する必要がある場合は、**連系復帰**ボタンをクリックしてください。 ● **連系復帰方式**を自動に設定すると、RPR は初期接点設定時の状態に戻り、パワコンは自動的に系統連系します。 手動で系統連系を復帰する際は、故障が解消されていることを確認してください。故障が残っている場合、正常に連系復帰できません。

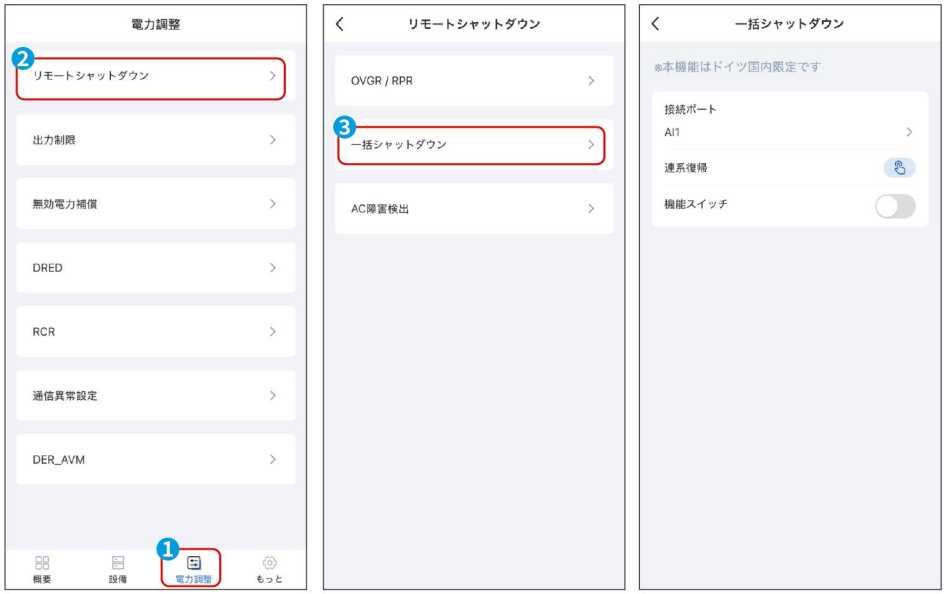
8.3.7.2. 一括シャットダウン

一部の国または地域の要件に従って、ワンキーシャットダウン機能を実装する必要がある場合は、保護装置を AI1+ または AI2+ ポートと Ezlogger の 12V 電源出力ポートに接続してください。



ステップ 1：「電力調整」>「リモートシャットダウン」>「一括シャットダウン」設定画面に入ります。

ステップ 2：実際のニーズに応じて、アクセスポートとポート状態の一括シャットダウンを設定します。



EZU30CON0064

番号	パラメータ名	説明
1	機能スイッチ	ワンボタンシャットダウン機能を有効または無効にします。
2	接続ポート	実際に Ezlogger に接続されているポートに応じて設定します。サポート: AI1 または AI2。
3	連系復帰	パワコンをシャットダウンした後に再起動して系統接続状態に戻す必要がある場合は、連系復帰ボタンをクリックしてください。

8.3.7.3. AC 障害検出

日本およびその他の地域の要件によると、系統接続ポイントの AC 電源が異常な場合、パワコンを系統に接続することは禁止されています。系統接続ポイントでの AC 電源の異常を検出するには、外部 AC 障害検出装置を Ezlogger の任意の DI ポートに接続してください。

ステップ 1：「電力調整」>「リモートシャットダウン」>「AC 障害検出」設定画面に入ります。

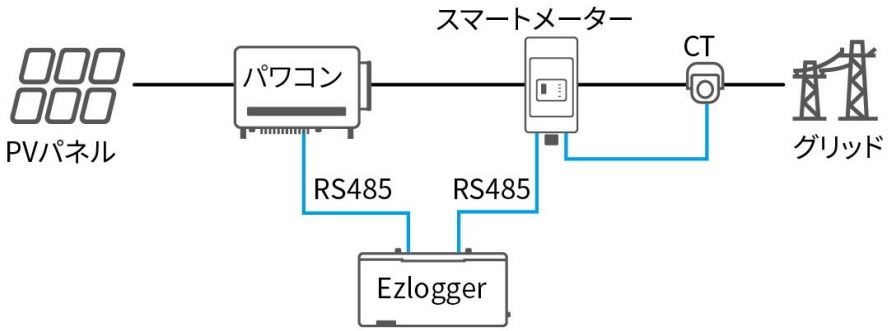
ステップ 2：実際のニーズに応じて、AC 障害検出接続ポートとポート状態を設定します。

EZU30CON0065

番号	パラメータ名	説明
1	機能スイッチ	AC 障害検出機能を有効または無効にします。
2	接続ポート	実際に Ezlogger に接続されているポートに応じて設定します。サポート: DI1、DI2、DI3、DI4。
3	初期接点状態	ポートの初期接続状態を設定します。通常閉と通常開をサポートします。
4	連系復帰	オフラインになった後にパワコンを再起動して系統接続状態に戻す必要がある場合は、**連系復帰**ボタンをクリックしてください。

8.3.7.4. 出力制限

システム内のすべての負荷で発電電力を消費しきれない場合、余剰電力は電力系統に逆潮流されます。出力制限パラメータを設定することで、この逆潮流量を制御することができます。



ステップ 1：「電力調整」>「出力制限」設定画面に入ります。

ステップ 2：「制御開始」をクリックし、有効にするに設定して、逆潮流保護機能をオンにします。

ステップ 3：「パワコン設置容量」の入力欄に、各パワコンの定格出力の合計値を入力します。

ステップ 4：「最大系統へ送電電力」の入力欄に、逆潮流上限電力を入力します。完全自家消費または RPR を使用する場合は「0」に設定してください。

ステップ 5：「詳細設定」をクリックします。

ステップ 6：詳細設定画面で「制限方法」をクリックし、プルダウンから実際の運用に応じた出力制御方式を選択します。

ステップ 7：「逆潮流保護処理方法」をクリックし、逆潮流が発生した際のパワコン保護方式を選択します。RPR で故障が発生し遮断できない場合でも、パワコンは一定時間内に保護動作を行います。「出力制限」を選んだ場合は、さらに逆潮流保護処理の出力割合（%）を設定できます。

ステップ 8：負荷の使用電力が頻繁に変動する、または変動幅が大きいユーザーは、オフセット値を設定することで逆潮流防止の精度を高めることができます。「最大系統へ送電電力オフセット値」に調整したいオフセット値を入力してください。

例：「-0.2kW」と設定すると、系統から 0.2kW を買電するようになります。

EZU30CON0068

番号	パラメータ名	説明
1	制御開始	逆潮流機能を有効または無効にします。
2	パワコン設置容量	システム内のパワコンの合計定格容量。

3	最大系統へ送電電力	一部の国または地域の要件に応じて、設備が電力系統に実際に入力できる最大電力を設定します。
4	制限方法	実際の状況に応じて設備の出力電力を制御する方法を選択します。 ● 総電力：系統連系点の総電力が出力電力制限値を超えないように制御します。 ● 単相電力：系統接続点における各相の電力が出力電力制限値を超えないように制御します。
5	逆潮流保護処理方法	システムに最大保護時間 (デフォルトは 5 秒) を超える逆潮流が発生した場合、次の保護対策を講じることができます。 ● 電力制限: 設備は定格電力のパーセンテージで動作を継続します。 • 設備はオフラインです。
6	出力制限	機器は定格電力のパーセンテージで動作し続けます。
7	最大系統へ送電電力オフセット値	● 設備が実際に系統に入力できる最大電力の調整可能な範囲を設定します。 • 系統に供給される最大電力 = 最大系統供給電力 + 最大系統供給電力オフセット。
8	メーター通信異常処理	この機能を有効にすると、メーターと Ezlogger 一間の通信が異常な場合に保護対策が講じられます。
9	メーター異常処理方法	システムで異常なメーター通信が発生した場合、次の保護措置を講じることができます。 ● 電力制限: 設備は定格電力のパーセンテージで動作を継続します。 • 設備はオフラインです。
10	メーター処理電力パーセント	機器は定格電力のパーセンテージで動作し続けます。

8.3.7.5. 無効電力補償

- 太陽光発電所が力率を調整して収益を最大化する場合、メーターが収集した連系点の電力データを取得し、設定値に基づいて太陽光システムの無効電力出力を調整し、接続点の力率を最適化できます。
- 単一のメーターを使用する太陽光システムのシナリオにのみ適用されます

ステップ 1：「電力調整」>「無効電力補償」設定画面に入ります。

ステップ 2：実際のニーズに応じてパラメータを設定します。

EZU30CON0073

番号	パラメータ名	説明
1	起動制御制御開始	無効電力補償機能を有効／無効にします。
2	目標力率	実際のニーズに応じて、目標とする力率を設定します。
3	メーター	系統側電力計を選択します。システムは選択した電力計から連系点の電力データを取得します。現在サポートされているのは：GoodWe メーター、Acrel メーター（DTSD1352）です。
4	調整周期	率値を検出する周期を設定します。一般的には 5 秒に設定します。

8.3.7.6. 通信異常設定

ステップ 1：「電力調整」>「通信異常設定」設定画面に入ります。

ステップ 2：実際のニーズに応じて通信異常処理方法を設定します。

EZU30CON0071

番号	パラメータ名	説明
1	有効/無効	この機能を有効にすると、パワコンと Ezlogger 間の通信に異常があった場合に保護措置が取られます。
2	パワコン通信タイムアウト時間	パワコンと Ezlogger 間の通信異常が設定時間を超えた場合は、対応する保護対策を行ってください。
3	パワコン異常処理方法	パワコンと Ezlogger 間の通信異常が発生した場合、以下の保護措置を講じることができます。 ● 電力制限: 設備は定格電力のパーセンテージで動作を継続します。 ● 設備はオフラインです。
4	メーター通信異常処理	この機能を有効にすると、メーターと Ezlogger 間の通信に異常があった場合に保護措置が取られます。
5	メーター異常処理方法	メーターと Ezlogger 間の通信異常が発生した場合、以下の保護措置を講じることができます。 ● 電力制限: 設備は定格電力のパーセンテージで動作を継続します。

		● 設備はオフラインです。
6	メータ処理電力パーセンテージ	パワコンが設定された定格出力のパーセンテージで運転を継続します。

8.3.8. ポートパラメータの設定

注記
画面には実際の状況に応じたデフォルトのネットワークパラメータ設定が表示されます。必要に応じて、実際のニーズに合わせて変更することができます。

8.3.8.1. LAN 通信パラメータ

ステップ 1：「もっと」>「ネットワーク設定」>「LAN 設定」設定画面に入ります。

ステップ 2：実際のニーズに応じて ETH ポートパラメータを設定します。

EZU30CON0074

番号	パラメータ名	説明
1	ポート選択	Ezlogger ーに実際にアクセスするネットワークポートを設定します。サポート: ETH1、ETH2。
2	取得方法	● STATIC モードを選択した場合、関連するネットワークパラメータは固

		定パラメータとなり、実際の状況に応じて手動で設定する必要があります。 ● DHCP モードを選択すると、IP アドレスを自動的に取得して登録を完了できます。
3	IP アドレス	Ezlogger の IP アドレスを設定します。発電所計画に合わせてルータの同一ネットワークセグメント IP に設定することも可能です。 IP アドレスが変更された場合は、新しい IP アドレスを使用して再度ログインする必要があります。
4	サブネットマスク	Ezlogger のネットマスクを設定します。設備が接続されているルーターの実際のマスクに基づいてこのパラメータを設定します。
5	デフォルトゲートウェイ	Ezlogger のデフォルトゲートウェイを設定します。設備が接続されているルーターの実際のゲートウェイに応じて設定します。
6	優先 DNS サーバー	パブリックネットワークに接続する場合 (たとえば、GoodWe Cloud に接続する場合、サーバーアドレスにはドメイン名が使用されます)、LAN ルーターの IP アドレスとして設定します。
7	代替 DNS サーバー	通常の状況では、このパラメータ設定は無視できます。 プライマリ DNS サーバーがドメイン名を解決できない場合は、バックアップ DNS サーバーが使用されます。
8	LAN/インターネット	● サーバーに接続して GoodWe Cloud にデータを転送するには、「インターネット」を選択します。 ● サードパーティの監視プラットフォームなどに接続するために転送パラメータを設定する必要がある場合は、LAN を選択してください。

8.3.8.2. RS485 通信パラメータ

注記
连接第三方设备时，需设置 RS485 参数。如果连接固德威设备，请维持默认值，无需修改。他社の設備に接続する場合は、RS485 パラメータを設定する必要があります。GoodWe 製の設備を接続する場合は、デフォルト値変更せずにご使用ください。

ステップ 1：「もっと」>「ネットワーク設定」>「他社設備 RS485 設定」設定画面に入ります。

ステップ 2：実際のニーズに応じて通信パラメータを設定します。

EZU30CON0075

番号	パラメータ名	説明
1	名称	設備が実際に接続されている RS485 ポートに応じて選択します。
2	ボーレート	接続する設備のボーレートに合わせて設定します。現在サポートされているのは、300、1200、2400、4800、9600、19200 です。
3	データビット	現在サポートされているもの: 7 ビット、8 ビット。
4	パリティ方式	接続する設備のキャリブレーション方法に合わせて設定してください。現在サポートされているもの: パリティなし、奇数パリティ、偶数パリティ、0 パリティ、1 パリティ。
5	ストップビット	接続する設備のストップビットに応じて設定します。現在サポートされているバージョン: 1、1.5、2。

9. システムメンテナンス

9.1. EzLogger の電源オフ

⚠危険

EzLogger の操作および保守を行う場合は、まずその電源を切ってください。電源が入ったまま操作すると、EzLogger の破損や感電のリスクがあります。

ステップ 1: 電源アダプターをコンセントから抜きます。

ステップ 2: EzLogger から電源アダプターを取り外します。

9.2. EzLogger の取外し

危険

- EzLogger の電源がオフになっていることを確認してください。
- EzLogger を操作するときは、個人用保護具を着用してください。

ステップ 1: 電源ケーブルや通信ケーブルも含めて、EzLogger からすべての電気配線を外してください。

ステップ 2: 機器を取り外します。

ステップ 3: 機器を適切に保管します。将来に機器を使用する可能性がある場合は、保管条件が要件を満たしていることを確認してください。

9.3. EzLogger の廃棄

EzLogger が使用できず、廃棄する必要があれば、設置先のる国/地域の電気廃棄物処理要件に従って廃棄してください。一般家庭ごみとして処分しないでください。

9.4. 定期メンテナンス

警告

機器の操作やメンテナンスを行う際は、必ず先に電源を切ってください。通電状態での操作は、機器の損傷や感電の危険を引き起こす可能性があります。

メンテナンス内容	メンテナンス方法	メンテナンス頻度	メンテナンス目的

電気接続	電気接続が緩んでいないか、ケーブルが損傷していないか、銅の漏れがないかを確認します。	1 次/半年~1 次/一年	電気接続の信頼性を確認します。
環境点検	装置の周囲に強い電磁干渉装置や熱源がないかを点検します。	半年に 1 回～1 年に 1 回	環境点検

9.5. システムメンテナンス（WEB)

9.5.1. 設備のアップグレード

注記
● アップグレード中は、装置の電源を入れたままにしてください。電源が切れると、アップグレードが失敗する可能性があります。 ● アップグレード中はページが自動的にログイン画面に切り替わり、この間はログインできません。 ● アップグレードには約 10 分かかりますので、10 分後に再度ログインしてください。 ● USB メモリによる Ezlogger のアップグレードは、メインプログラムバージョン V6.2.1 以上の Ezlogger にのみ適用されます。

- USB フラッシュドライブによるアップグレード（データロガーのアップグレードにのみ適用）

注記
アップグレードする前に、現在必要なアップグレードパッケージのみが USB フラッシュドライブに保存されていることを確認してください。アップグレードパッケージが複数ある場合、システムはデフォルトで最初のアップグレードパッケージを読み取りますが、これによりアップグレードが失敗する可能性があります。

ステップ 1： アフターサービスに連絡して設備アップグレードパッケージを入手し、容量が 32G を超えない FAT32 形式の USB フラッシュドライブを準備してください。

ステップ 2： USB ドライブのルートディレクトリに新しいフォルダーを作成し、collector という名前を付けて、設備アップグレードパッケージをコレクターフォルダーに保存します。

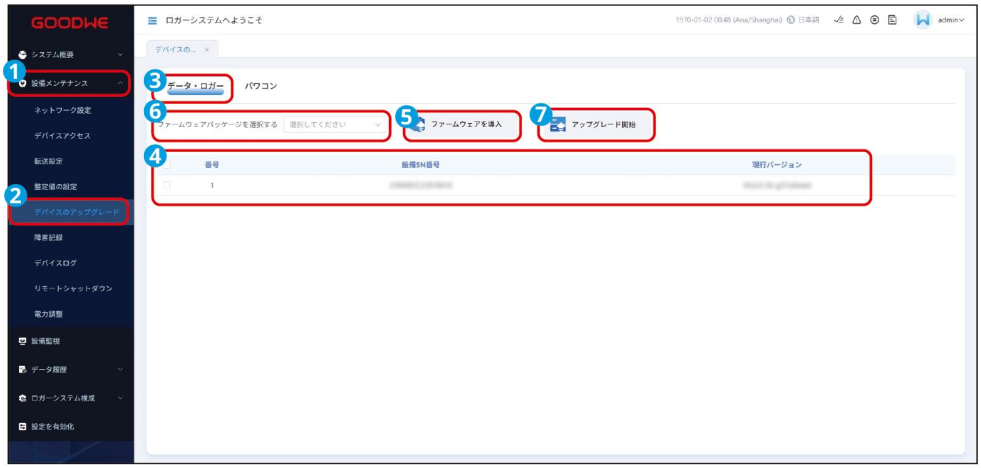
ステップ 3： USB フラッシュドライブを Ezlogger ーの USB ポートに挿入します。Ezlogger ーが設備のアップグレードパッケージを検出し、アップグレードを開始すると、障害表示灯が高速で点滅し始めます。障害表示灯が高速点滅状態にならない場合、アップグレードは開始されていません。アップグレードパッケージと USB フラッシュドライブの状態を確認してください。

ステップ 4： アップグレードが完了すると、Ezlogger ーは自動的に再起動します。 USB ドライブを取り外してください。そうしないと、アップグレードが繰り返される可能性があります。

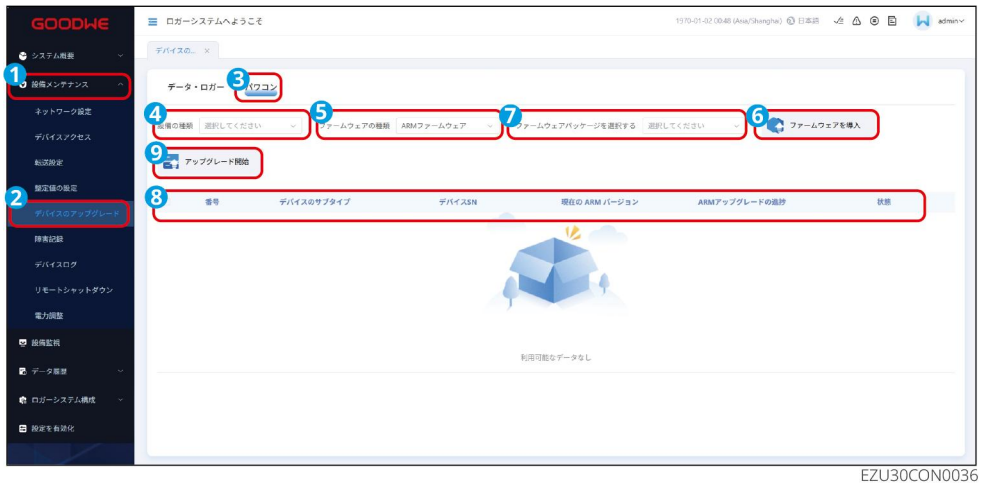
- ウェブ経由でアップグレード

ステップ 1： 設備のアップグレードパッケージを入手するには、アフターサービスにお問い合わせください。

ステップ 2： 設備アップグレードパッケージをコンピューターに保存し、指示に従って設備をアップグレードします。



EZU30CON0037



EZU30CON0036

9.5.2. メンテナンスシステム

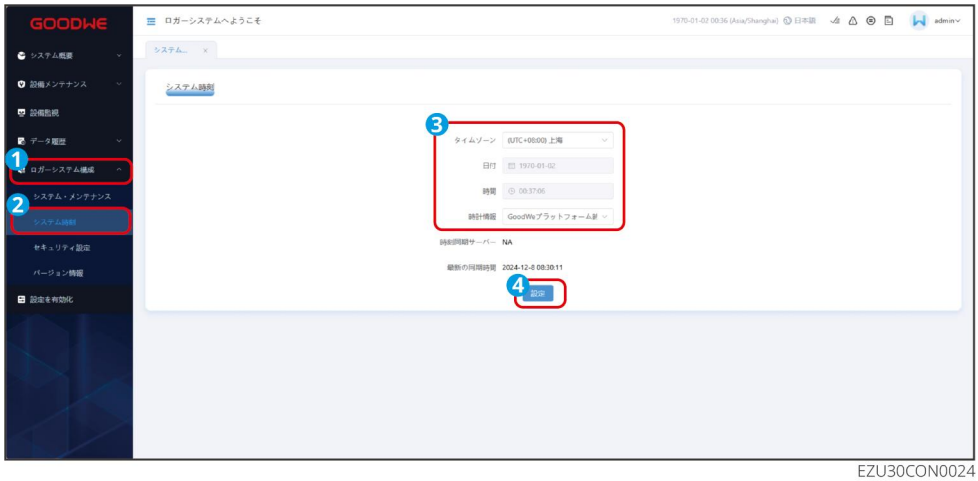
EZU30CON0040

番号	パラメータ名	説明
1	ロガー再起動	システムリセットを実行すると、内蔵データ ロガーが自動的にシャットダウンして再起動します。
2	初期化する	● 出荷時設定に復元：設備接続情報、転送設定、ログインパスワードなどの情報を消去します。 ● 通信設定の復元（オプション）：NIC（ネットワークカード）の設定を復元します。 ● データ情報の復元（オプション）：ログ、過去のアラーム、過去のデータなどの情報を消去します。
3	すべての設定ファイルのインポート	データロガーを交換した後、ローカルに保存した設定ファイルを新しい Ezlogger にインポートします。インポートが成功すると Ezlogger が再起動し、設定ファイルが有効になります。装置のパラメータが正しく設定されていることを確認してください。
4	すべての設定ファイルのエクスポート	データロガーを交換する前に、データロガーの設定ファイルをローカルにエクスポートしてください。

9.5.3. システム時刻の設定

注記

日付と時刻を変更すると、システムの発電量とパフォーマンスデータレコードの整合性に影響します。タイムゾーンやシステム時間を勝手に変更しないでください。



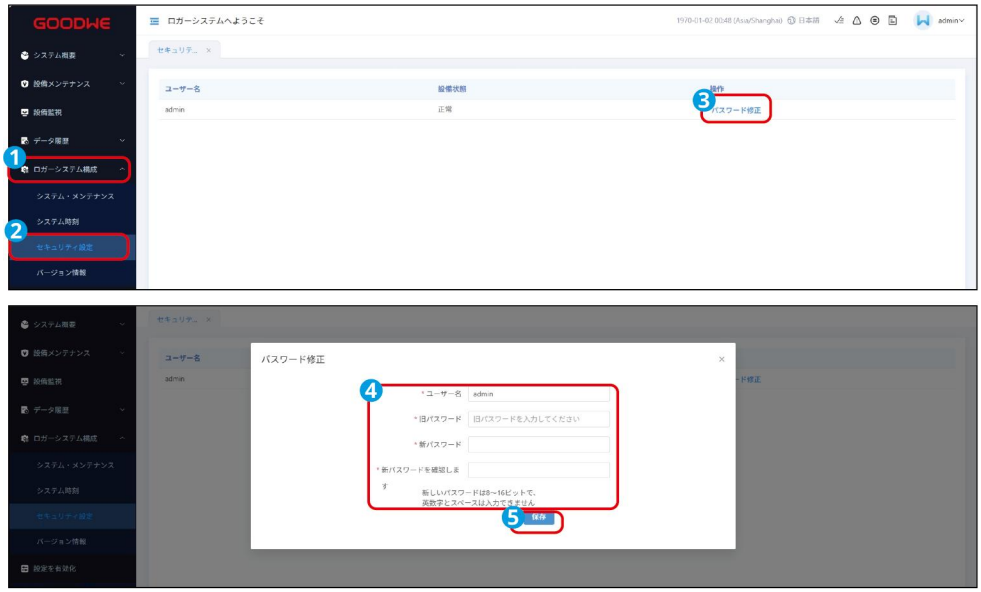
EZU30CON0024

c	パラメータ名	説明
1	タイムゾーン	管理システムとしてクロックソースが選択されている場合にのみ、手動での変更が可能です。
2	日付	
3	時間	
4	時計情報	クロックソースを設定します。サポート:NTP、Modbus-TCP、手動時間同期、GoodWe クラウドプラットフォーム時間同期。

9.5.4. ログインパスワードを変更

ステップ 1：「ロガーシステム構成」>「セキュリティ設定」に移動して、パスワード変更画面に入ります。

ステップ 2：「パスワードの変更」をクリックし、実際の状況に応じて古いパスワードと新しいパスワードを入力して保存します。



EZU30CON0043

9.6. システムメンテナンス（App)

9.6.1. メンテナンスシステム

ステップ 1：「もっと」 > 「システムメンテナンス」設定画面に入ります。

ステップ 2：実際のニーズに応じて、ロガー再起動するか、初期化してください。

EZU30CON0077

番号	パラメータ名	説明
1	ロガー再起動	システムリセットを実行すると、内蔵データ ロガーが自動的にシャットダウンして再起動します。

2	初期化する	● 出荷時設定に復元：設備接続情報、転送設定、ログインパスワードなどの情報を消去します。 ● 通信設定の復元（オプション）：NIC（ネットワークカード）の設定を復元します。 ● データ情報の復元（オプション）：ログ、過去のアラーム、過去のデータなどの情報を消去します。

9.6.2. システム時刻の設定

注記
日付と時刻を変更すると、システムの発電量とパフォーマンスデータレコードの整合性に影響します。タイムゾーンやシステム時間を勝手に変更しないでください。

ステップ 1：「もっと」 > 「システム時刻」からシステム時間設定画面に入ります。

ステップ 2：実際のニーズに応じて「タイムゾーン」を選択し、システム時間を設定して「設定」をクリックします。

EZU30CON0078

番号	パラメータ名	説明
1	タイムゾーン	管理システムとしてクロックソースが選択されている場合にのみ、手動での変更が可能です。
2	日付	
3	時間	

4	時計情報	クロックソースを設定します。サポート:NTP、Modbus-TCP、手動時間同期、GoodWe クラウドプラットフォーム時間同期。

9.6.3. ログインパスワードを変更

ステップ 1：「もっと」>「セキュリティ設定」に移動して、パスワード変更画面に入ります。

ステップ 2：「パスワードの変更」をクリックし、実際の状況に応じて古いパスワードと新しいパスワードを入力して保存します。

EZU30CON0079

9.6.4. バージョン情報の確認

ステップ 1：「もっと」 > 「バージョン情報」をクリックし、データロガーの現在のバージョンを確認します。

EZU30CON0080

9.7. トラブルシューティング

以下の方法でトラブルシューティングを行っても解決しない場合は、アフターサービスセンターまでご連絡ください。アフターサービスセンターにお問い合わせいただく際は、問題を迅速に解決するために次の情報を収集してください。

1. 機器情報（シリアル番号、ソフトウェアバージョン、機器設置時期、障害発生時間、障害発生頻度等。
2. 機器の設置環境：問題の分析に役立つ写真、ビデオ、その他の資料のご提供を勧めます。
3. 電力系統の状態。

番号	故障	故障原因	解決措置
1	EzLogger が電源投入できない	● 電源アダプターの DC 出力が EzLogger のポートに正しく接続されていません。 ● 電源アダプターがコンセントに正しく接続されていません。 ● 電源アダプターが故障しています。 ● 設備の故障。	● 電源アダプターが EzLogger に正しく接続されていることを確認します。 ● 電源アダプターがコンセントに正しく接続されていることを確認します。 ● 電源アダプターを交換します。 ● 販売店またはアフターサービスセンターにご連絡ください。

2	LAN 通信で WEBUI に登録できない	● オペレーティング システムまたはブラウザのバージョンが低すぎます。 ● ネットワーク ケーブルが間違ったポートに接続されています。 ● PC の IP アドレスが正しく設定されていません。 ● Web ログイン アドレスが間違っています。 ● ブラウザが異常あり。 ● 設備の故障。	● オペレーティング システムのバージョンが Windows 7 以降、ブラウザのバージョンが Chrome52、Firefox58 以降であることを確認します。 ● 静的 IP でログインする場合は、ネットワーク ケーブルが ETH2 ポートに接続されていることを確認してください。 ● PC と EzLogger の IP アドレスが同じネットワーク セグメント内にあるかどうかを確認します。 ● ブラウザに http://XX.XX.XX.XX または https://XX.XX.XX.XX:443 (XX.XX.XX.XX は EzLogger の IP) を入力して WEBUI をログインします。 ● ブラウザの履歴またはキャッシュをクリアします。 ● 電源を切って再起動し、2 分待ってから再ログインしてください。3 回再起動してもログインできない場合は、販売店またはアフターサービスセンターにご連絡ください。
3	WIFI で WEBUI に登録できない	● オペレーティング システムまたはブラウザのバージョンが低すぎます。 ● ワイヤレス信号が弱い。 ● ブラウザのログイン Web アドレスが間違っています。 ● ブラウザの異常あり。 ● 設備の故障。	● Windows 7 以降のオペレーティング システムを使用し、ブラウザとして Chrome52、Firefox58 以降を使用します。 ● 障害物がない場合、PC または携帯電話と EzLogger 間の推奨距離は 15m です。距離

			が離れすぎていないか確認してください。 ● ブラウザに http://XX.XX.XX.XX または https://XX.XX.XX.XX:443 と入力します (XX.XX.XX.XX は EzLogger の IP アドレス、443 がデフォルトです) https ポート設定）を使用して Web にログインします。 ● ブラウザの履歴またはキャッシュをクリアします。 ● 電源を切って再起動し、2 分待ってから再ログインしてください。3 回再起動してもログインできない場合は、販売店またはアフターサービスセンターにご連絡ください。
4	EzLogger の Wi-Fi ホットスポットに接続できません	● EzLogger の Wi-Fi ホットスポットがオンになっていません ● Wi-Fi アンテナが取り付けられていないか、正しく取り付けられていません ● EzLogger の距離が Wi-Fi 通信距離を超えています ● 設備の故障。	● 有線ネットワーク経由で Web にログインし、 Wi-Fi ホットスポット機能をオンにして、ホットスポットに再接続します。 ● 付属品バッグ内の Wi-Fi アンテナが正しく取り付けられているかどうかを確認してください。 ● 障害物がない場合、PC または携帯電話と EzLogger 間の距離を 15m 以内におさえてください。距離が離れすぎると故障の原因になる可能性があります。 ● 電源を切って再起動し、2 分待ってから再ログインしてください。3 回再起動してもロ

			グインできない場合は、販売店またはアフターサービスセンターにご連絡ください。
5	自動検索を使用して設備を検索できない	● パワコンは初回でネットワークと接続ではないことが原因、自動設備検索機能は初回のみに適用されます。 ● パワコンの電源が入っていません。 ● RS485 の配線ミス（逆接続、接続抜け、接続緩みなど） ● 設備の故障。	● 新しい設備を追加する必要がある場合は、設備 アクセスを通じて追加してください。 ● パワコンの電源が入っているかどうかを確認してください。 ● RS485 配線をチェックして、配線が正しく、しっかりと接続されており、接続漏れがないことを確認してください。 ● 電源を切って再起動し、2 分待ってから再ログインしてください。3 回再起動してもログインできない場合は、販売店またはアフターサービスセンターにご連絡ください。
6	有線ネットワーク経由でクラウド プラットフォームにデータをアップロードできない	● EzLogger に接続されているルーターまたはネットワークスイッチは、外部ネットワークに接続できません。 ● 取得方法や IP アドレスなどのネットワークパラメータが正しく設定されていません。 ● 設備の故障。	● ルーターまたはスイッチのネットワーク状態を確認してください。 ● ネットワークパラメータの設定を確認してください。 ● 電源を切って再起動し、2 分待ってから再ログインしてください。3 回再起動してもログインできない場合は、販売店またはアフターサービスセンターにご連絡ください。
7	USB メモリ経由でシステムをアップデートできない	● USB メモリのフォーマットが正しくありません。 ● アップグレード パッケージが指定されたディレクトリに保存されていません。 ● 設備故障。	● USB メモリのフォーマットが FAT32 であるかどうかを確認します。 ● USB メモリのルート ディレクトリに新しいフォルダーを作成し、「collector」という

			名前を付けて、設備 アップグレード パッケージを「collector」 フォルダーに保存します。 ● 販売店またはアフターサービスセンターにご連絡ください。
8	WEBUI 経由でパワコンをアップデートできない	● パワコンはリモートアップデート機能に対応していません。 ● アップグレード ファイルが正しくないか、壊れています。 ● アップグレードファイルがパワコンのバージョンと一致しません。 ● RS485 通信線の接続が異常です。 ● 設備故障。	● パワコンがリモートアップデートに対応しているかを確認します。 ● 販売店またはアフターサービスセンターに問い合わせて、正しいアップデートファイルを提供してください。 ● RS485 通信配線が正しく、信頼性があることを確認してください。 ● 販売店またはアフターサービスセンターにご連絡ください。
9	逆潮流防止機能の異常	● EzLogger とパワコンまたは電力メーター間の RS485 通信ラインが緩んでいるか、脱落しています。 ● 逆潮流防止機能が有効になっていない、または機能を有効にしても設定が有効になりません。 ● パワコンのソフトウェアバージョンは逆潮流防止機能に対応していません。 ● 設備故障。	● RS485 通信線が正しくしっかりと接続されているか確認してください。 ● WEBUI で逆潮流防止機能が有効になっているか確認してください。 ● パワコンの機種やソフトウェアのバージョンが逆潮流防止機能に対応しているかどうかは、販売店またはアフターサービスセンターにお問い合わせください。
10	OVGR&RPR 保護機能が異常	● EzLogger とパワコン間の RS485 通信線が緩んでいるか、抜けています。 ● 外部保護装置の配線が間違っ	● RS485 通信線が正しくしっかりと接続されているか確認してください。 ● 外部保護装置の配線が正しく

		ています。 ● Web パラメータの設定が正しくありません。 ● 設備故障。	しっかりと接続されているかどうかを確認してください。 ● パラメータの設定が正しいか確認してください。 ● 販売店またはアフターサービスセンターにご連絡ください。
11	EzLogger は IEC104、Modbus-TCP、 FTP が失敗する、または電子メールシステムにデータがない	● EzLogger と監視プラットフォーム間のネットワークの問題。 ● 転送設定パラメータが正しくありません。 ● 設備の故障。	● EzLogger と監視プラットフォーム間のネットワークが正常かどうかを確認してください。 ● 転送パラメータの設定が正しいか確認してください。 ● 販売店またはアフターサービスセンターにご連絡ください。
12	設備の検索が完了した後、アドレスを設定できません。	パワコンーの ARM バージョンが低すぎます。	販売店またはアフターサービスセンターにお問い合わせください。

10. 技术参数

型番	EzLogger3000C
設備管理	
接続できる設備の数	100
電源	
アダプター	交流出力： 100~240V, 50/60Hz
直流出力： 24V	
直流入力 (V)	24

通信ポート	
イーサネット	2
RS485	COM x 4
WIFI（現地）	802.11 b/g/n， 2.412GHz-2.484GHz
4G	オプション
デジタル/アナログ 入力/出力	DI×4, DO×2, AI×4
PT100/PT1000	PT100×1, PT1000×1
電源出力ポート	12V， 100mA
通信プロトコル	
イーサネット	Modbus-TCP, IEC 60870-5-104
RS485	Modbus-RTU, IEC 60870-5-103 (标准), DL/T645
HCI (ヒューマンコンピュータインタラクション)	
LED	LED×4
WEB	WEBUI
USB	USB 2.0 x 1
機械的パラメータ	
寸法（幅×高さ×厚さ mm）	255*47.5*173
重量(kg)	0.8
設置方法	壁掛け、ガイドレール、テーブル置き
環境パラメータ	
運転温度範囲(℃)	-30~+60
保管温度範囲(℃)	-40~+70

相对湿度	5~95%
最高海拔 (m)	5000
保護等級	IP20

11. 付録

11.1. FAQ（よくある質問）

11.1.1. Web を通じて逆流防止を設定する方法

前提：

- 参考设备用户手册，正确完成系统中逆变器、数据采集器、电表等设备的安装与上电。
- 参考 登录 Web 界面章节，登录 Web 界面。
- 确保系统组网成功，所有逆变器均在线。

步骤 1：在 Web 界面首页，点击菜单列表中的「设备维护」 >「 设备接入」 >「自动搜索」>「组网设置」添加设备。

步骤 2：（可选）如果电表为第三方电表，请返回设备接入界面，点击「手动添加」进入添加设备界面。

步骤 3：（可选）「设备类型」选择为「电表」，并参考界面填入设备实际信息，点击「确认」完成信息填写。

步骤 4：点击菜单列表中的「配置生效」进入配置生效界面，点击生效即可完成添加逆变器与电表。

步骤 5：点击「设备维护」 >「功率调节」 >「功率限制」进入防逆流设置界面。

步骤 6：根据界面提示按照实际防逆流需求填入相关信息。

如对添加设备步骤有疑问，请参考設備管理章节。如对功率限制设置有疑问，请参考出力制限章节。

11.1.2. 如何通过 Web 设置 IEC104 参数

前提条件：

- 設備のユーザーマニュアルを参照し、システム内のパワコンー、データ収集器、電力量計などの機器を正しく設置し、通電を完了させてください。
- 登录 Web 界面を参照し、Web インターフェースにログインしてください。
- システムのネットワーク接続が正常に完了し、すべてのパワコンーがオンラインであることを確認してください。

ステップ 1：Web インターフェースのホームページで、メニューリストから「設備メンテナンス」>「設備接続」>「自動検索で設備を追加」をクリックします。

ステップ 2：（オプション）もし電力量計が第三者製のものであれば、設備接続画面に戻り、「手動追加」をクリックして設備を追加します。

ステップ 3：（オプション）設備タイプとして「電力量計」を選択し、画面に従って設備の実際の情報を入力します。その後、画面の指示に従って情報を入力し、「確認」をクリックして情報の入力を完了します。

ステップ 4：メニュー リストで「設定が有効になる」をクリックして、設定有効の画面に入り、パワコンとメーターの追加を完了します。

ステップ 5：「設備メンテナンス」> 「電力調整」> 「電力制限」をクリックして、逆流防止設定画面に入ります。

ステップ 6：画面の指示に従って、実際の逆流防止の要件に合わせて関連情報を入力します。

"設備追加の手順について疑問がある場合は、8.2.4「設備追加」セクションを参照してください。

電力制限設定について疑問がある場合は、IEC104 パラメータを参照してください。"

11.1.3. Web を通じて Modbus-TCP パラメータを設定する方法

前提条件：

- 機器のユーザーマニュアルを参考にして、システム内のパワコンー、データ収集器、電力計などの機器の設置と電源投入を正しく行ってください。
- 登录 Web 界面を参考にして、Web インターフェースにログインしてください。
- システムのネットワーク接続が成功し、すべてのパワコンーがオンラインであることを確認してください。

ステップ 1：メニューリストから「設備管理」>「ネットワーク設定」をクリックして、ネットワークパラメータ設定画面に入ります。

ステップ 2：LAN タブをクリックし、取得方法を STATIC に設定し、ローカルエリアネットワークを選択して、実際の状況に応じて IP 情報を入力します。

ステップ 3：メニューリストから「設備管理」>「転送設定」をクリックして、転送設定画面に入ります。

ステップ 4：Modbus-TCP 設定画面で「チャネル追加」をクリックし、画面に従って実際の情報を入力し、「確認」をクリックして情報入力を完了します。

ステップ 5：メニューリストから「設定適用」をクリックして設定適用画面に入り、「適用」をクリックして IEC104 機能の設定を完了します。

ステップ 6：実際のニーズに基づいて、第三者ソフトウェアを調整し、データ収集器との接続を確立します。

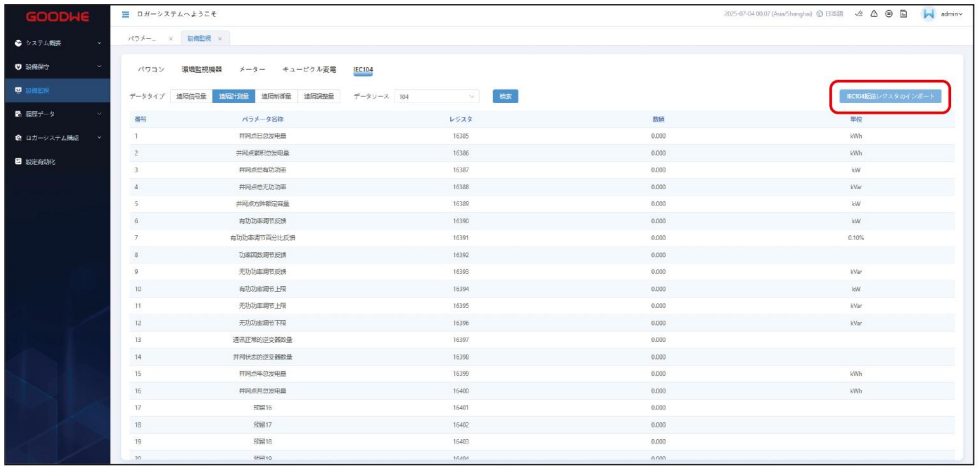
Modbus-TCP 転送設定について疑問がある場合は、Modbus-TCP パラメータを参照してください。

11.1.4. Web で 104 転送点表をエクスポートする方法

ステップ 1：メニューリストの「設備監視」をクリックし、設備監視画面に入ります。

ステップ 2：「IEC104」タブ >「104 転送点表をエクスポート」をクリックします。

ステップ 3：ブラウザのダウンロード内容からエクスポートされた 104 転送点表を確認します。パワコンのシリアル番号で検索することで必要なデータを参照できます。



EZU30CON0054

11.1.5. ネットワーク設備検索後に新しい設備を追加する方法

注記
以下の状況以外のケースが発生した場合は、データ収集器の再充電を行うか、販売サービスセンタ

ーに連絡することをお勧めします。

- シナリオ 1: ネットワーク内の既存の設備に変更は必要なく、ネットワーク設定が適用されていない。
  - Web

ステップ 1：設備接続画面で「自動検索」をクリックし、「検索開始」を選択します。画面の指示に従って新しい設備の検索を完了します。

ステップ 2：新しい設備の検索が完了したら、実際のニーズに応じて新しい設備にアドレスを割り当てるか、手動で端末アドレスを入力します。

ステップ 3：画面の指示に従って、設定を適用します。設定が完了したら、設定画面に戻り、ネットワーク情報が完全で正しいことを確認します。

  - App

ステップ 1：メニューから「設備」>「ネットワーク設定」>「検索開始」を選択し、画面の指示に従って新しい設備の検索を完了します。

ステップ 2：新しい設備の検索が完了したら、実際のニーズに応じて新しい設備にアドレスを割り当てるか、手動で端末アドレスを入力します。

ステップ 3：画面の指示に従って設定を適用します。設定が完了したら、設定画面に戻り、ネットワーク情報が完全で正しいことを確認します。

- シナリオ 2：ネットワーク内の既存の設備を変更する必要はありません。
  - Web

ステップ 1：設備接続画面で「自動検索」をクリックし、「再設定」を選択します。画面の指示に従って再度ログインし、設備接続画面で「自動検索」>「検索開始」を選択して新しい設備の検索を完了します。

ステップ 2：新しい設備の検索が完了したら、新しい設備を選択し、実際のニーズに応じて「一括アドレス割り当て」を選択するか、手動で端末アドレスを入力します。

ステップ 3：画面の指示に従って設定を適用します。設定が完了したら、設備接続画面に戻り、ネットワーク情報が完全で正しいことを確認します。

  - App

ステップ 1：メニューから「設備」>「ネットワーク設定」>「再設定」を選択します。画面の指示に従って再度ログインし、「設備」>「ネットワーク設定」>「検索開始」を選択して新しい設備の検索を完了します。

ステップ 2：新しい設備の検索が完了したら、実際のニーズに応じて新しい設備にアドレスを割り当てるか、手動で端末アドレスを入力します。

ステップ 3：画面の指示に従って設定を適用します。設定が完了したら、設備画面に戻り、ネットワーク情報が完全で正しいことを確認します。

- シナリオ 3：ネットワーク内の既存設備に変更が必要で、ネットワーク設定が適用済みの場合。
  - Web

ステップ 1：設備接続画面で「自動検索」をクリックし、「再設定」を選択します。画面の指示に従って再度ログインし、設備接続画面で「自動検索」>「検索開始」を選択して新しい設備の検索を完了します。

ステップ 2：新しい設備の検索が完了したら、新しい設備を選択し、実際のニーズに応じて「一括アドレス割り当て」を選択するか、手動で端末アドレスを入力します。

ステップ 3：画面の指示に従って設定を適用します。設定が完了したら、設備接続画面に戻り、ネットワーク情報が完全で正しいことを確認します。

  - App

ステップ 1：メニューから「設備」>「ネットワーク設定」>「再設定」を選択します。画面の指示に従って再度ログインし、「設備」>「ネットワーク設定」>「検索開始」を選択して新しい設備の検索を完了します。

ステップ 2：新しい設備の検索が完了したら、実際のニーズに応じて新しい設備にアドレスを割り当てるか、手動で端末アドレスを入力します。

ステップ 3：画面の指示に従って設定を適用します。設定が完了したら、設備画面に戻り、ネットワーク情報が完全で正しいことを確認します。

- シナリオ 4：ネットワーク中に既存設備を変更する必要がある場合、ネットワーク設定はすでに反映されています。
  - Web

ステップ 1：設備接続画面で「自動検索」>「ネットワーク設定」>「再設定」をクリックします。画面の指示に従って再ログインし、設備接続画面で「設備」>「ネットワーク設定」>「検索開始」を選択して新しい設備の検索を完了させます。

ステップ 2：新しい設備の検索が完了したら、新しい設備を選択し、実際のニーズに応じて一括でアドレスを割り当てるか、手動で端末アドレスを入力します。

ステップ 3：画面の指示に従って設定を反映させます。設定完了後、設備接続画面に戻り、ネットワーク情報が正しく完全であることを確認してください。

■ App

ステップ 1：「設備」>「ネットワーク設定」>「再設定」を選択します。画面の指示に従って再ログインし、「設備」>「ネットワーク設定」>「検索開始」を選択して新しい設備の検索を完了させます。

ステップ 2：新しい設備の検索が完了したら、実際のニーズに応じて新しい設備にアドレスを割り当てるか、手動で端末アドレスを入力します。

ステップ 3：画面の指示に従って設定を反映させます。設定完了後、設備画面に戻り、ネットワーク情報が正しく完全であることを確認してください。

11.1.6. 如何通过 web 批量设置逆变器启机/停机

前提条件：

- 参考设备用户手册，正确完成系统中逆变器、数据采集器、电表等设备的安装与上电。設備のユーザーマニュアルを参照し、システム内のパワコン、Ezlogger、電力計などの設置と通電を正しく行ってください。
- 登录 Web 界面を参照して、Web 画面にログインしてください。
- システムのネットワーク構築が成功し、すべてのパワコンがオンラインであることを確認してください。

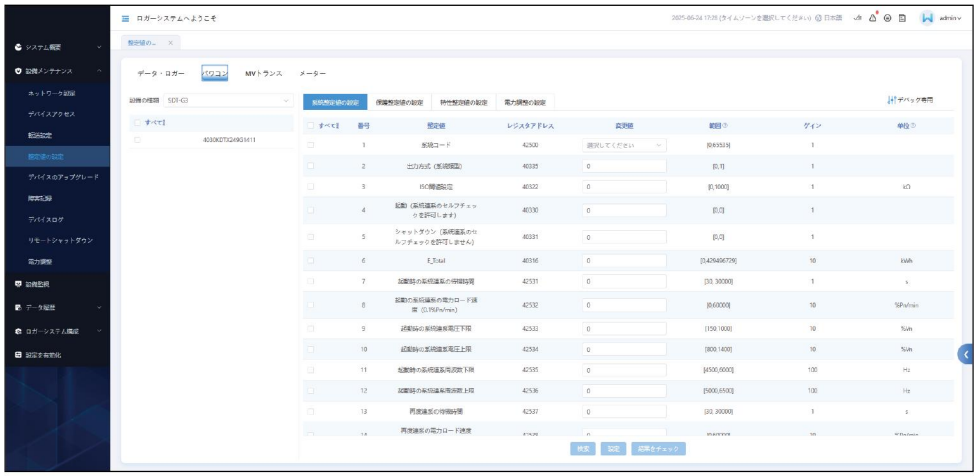
ステップ 1：Web 画面のホームページで、メニューリストの「設備保守」>「パラメータ設定」>「パワコン」をクリックし、現在オンラインのパワコンを確認します。

ステップ 2：「設備タイプ」のドロップダウンリストからパワコンの機種を選択し、シリアル番号に基づいて該当するパワコンを選択します。

ステップ 3：「シャットダウン」または「起動」を選択し、変更値を「1」に設定します。

ステップ 4：「設定」ボタンをクリックし、しばらく待つと変更結果が表示されます。

ステップ 5：ホームページに戻り、パワコンの稼働状態を確認します。



EZU30CON0055

11.1.7. 故障記録の設定およびエクスポート方法

- 手動故障記録

ステップ 1：「設備保守」>「故障記録」から設定画面に入ります。

ステップ 2：記録を実行する設備を選択します。

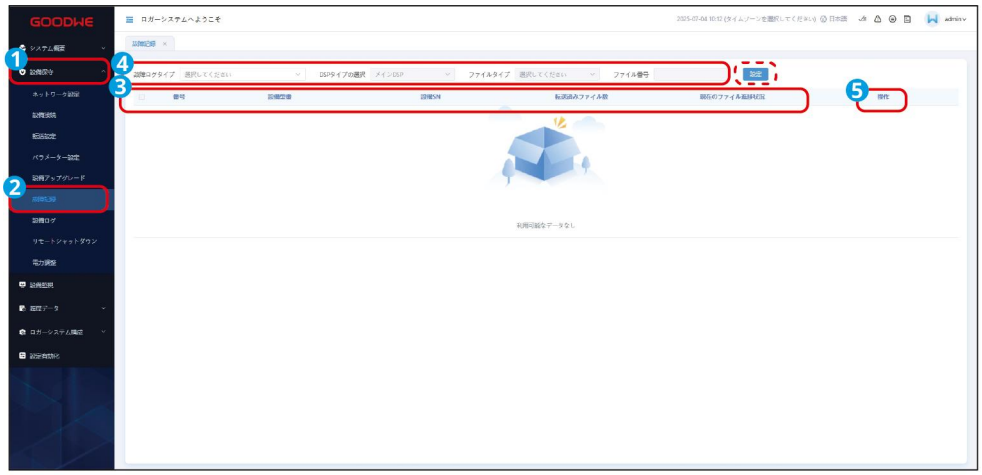
ステップ 3：実際のニーズに応じて、手動トリガーによる波形記録の関連パラメータを設定します。

ステップ 4：必要に応じて、「エクスポート」をクリックして故障ログをエクスポートします。

- 自動故障記録

ステップ 1：自動トリガーによる記録を有効にします。

ステップ 2：必要に応じて、「エクスポート」をクリックして故障ログをエクスポートします。



EZU30CON0053

12. 用語の説明

- 過電圧カテゴリーの説明

過電圧カテゴリー I: 過渡過電圧を比較的低いレベルに制限する手段を備えた回路に接続された機器。

過電圧カテゴリー II: 固定配電設備によって電力が供給されるエネルギー消費機器。このような機器には、電化製品、携帯用工具、その他の家庭用品や類似の荷物が含まれます。このような機器の信頼性と適用性に特別な要件がある場合は、電圧カテゴリー III が使用されます。

過電圧カテゴリー III: 固定配電設備内の機器の場合、機器の信頼性と適用性は特別な要件を満たす必要があります。固定配電設備内のスイッチギアおよび固定配電設備に恒久的に接続された産業機器が含まれます。

過電圧カテゴリー Ⅳ：配電装置の電源に使用される機器（計測器、接頭過電流保護装置などを含む）。

- 湿地のカテゴリーの説明

環境パラメータ	レベル		
	3K3	4K2	4K4H
温度範囲	0~+40℃	-33~+40℃	-33~+40℃
湿度範囲	5%から 85%	15%から 100%	4%から 100%

- 環境カテゴリーの定義：

屋外パワコン：周囲温度範囲は-25～+ 60℃で、汚染レベル 3 の環境に適しています。

屋内型 II パワコン：周囲温度範囲は-25～+40℃で、汚染レベル 3 の環境に適しています。

屋内型 I パワコン：周囲温度範囲は 0～+ 40℃で、汚染レベル 2 の環境に適しています。

- 汚染度のカテゴリーの説明：

汚染度 1: 汚染なし、または乾燥した非導電性の汚染のみ。

汚染度 2: 通常は非導電性の汚染しかありませんが、結露による短期的な導電性の汚染が時々発生する可能性を考慮する必要があります。

汚染度 3: 導電性汚染がある、または非導電性汚染が結露により導電性汚染になる。

- 汚染度 4: 導電性の粉塵や雨、雪などによる汚染などの持続的な導電性汚染。

GoodWe ホームページ

GoodWe Technologies Co., Ltd.
中国・蘇州・高新区・紫金路90号
www.goodwe.com
service@goodwe.com

お問い合わせ先